ムスリムの砦

クルアーンとスンナに則ったズィクル

サイード　ブン　アリー　ブン　ワハフ
アル＝カハターニー

サイード佐藤・ファーティマ佐藤訳
第一版
٢٠٠٧ – ١٤٢٨

ح سعيد بن علي بن وهف القحطاني، ١٤٢٨هـ

فهرسة مكتبة الملك فهد الوطنية أثناء النشر

القحطاني، سعيد بن علي بن وهف

حصن المسلم./ سعيد بن علي بن وهف القحطاني.- الرياض، ١٤٢٨هـ

١٩٢ ص؛ ١٢×١٧ سم

ردمك: ٦ - ٩٩٥ - ٥٧ - ٩٩٦٠

(النص باللغة اليابانية)

١ - الأدعية والأوراد ٢ - القرآن - أدعية أ - العنوان

ديوي ٢١٢،٩٣ ١٤٢٨/٤١٠٣

رقم الإيداع: ١٤٢٨/٤١٠٣

ردمك: ٦ - ٩٩٥ - ٥٧ - ٩٩٦٠

الطبعة الأولى

رمضان ١٤٢٨هـ

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において

はじめに

全ての讃美はアッラーにこそ属します。私たちはアッラーを讃美し、かれにこそご援助を求め、お赦しを請い、私たち自身の悪と悪行からのご加護を求めます。アッラーがお導きになられる者は決して迷うことなく、またアッラーが迷わせられる者は決して導かれることはありません。私は、唯一の並ぶもの無きお方アッラー以外に真に崇拝すべきものは無く、ムハンマド（アッラーよ、彼と彼の一族、教友たち、そして審判の日まで彼らによく従った者たちに祝福と平安を与えたまえ）がアッラーのしもべであり使徒であることを証言します。

さて本書は拙著『クルアーンとスンナに則ったズィクルとドアーと魔除けによる治療』[①]のズィクルの部を、旅行中にも携帯しやすいように要約したものです。またズィクルの本文も短縮し、その出典においても 1、2 冊の文献を挙げるだけに留めました。ですから伝承した教友や出典の詳細を知りたい方は、自分で原典に立ち返る必要があります。

---

① 訳者注：「ズィクル」とは一般にアッラーの唱念、「ドアー」とはアッラーに対する祈願を示します。

私はその美名及び崇高な属性において、本書編纂が高貴なるアッラーのために捧げられたものとなり、私の人生と死後において私自身を始め、読者各位や出版関係者たち、及び本書普及に携わった方々を益することを、至高のアッラーに祈ります。そして唯一無二のアッラーこそがこの件に関しての援助者であられ、その実現を可能にされたお方であられます。アッラーよ、私たちの預言者ムハンマドと彼の一族、教友たち、そして審判の日まで彼らによく従った者たちに祝福と平安を与えたまえ。

ヒジュラ暦 1409 年サファル月
筆者

訳者序文

全ての賞賛は万有の主アッラーにあり。そして預言者ムハンマドとその一族と教友、そして審判の日まで彼らによく従った者たちにアッラーからの平安と祝福あれ。

サイード・アル＝カハターニー師の編纂されたこのドアー・ズィクル集は、ムスリムの毎日の生活に必要不可欠なドアーやズィクルの数々を簡潔に、そして携帯しやすいようにポケットサイズにまとめた小冊子です。その規模の小ささながら、世界中のムスリム一般から好評を博し、現在まで様々な言語に翻訳されてきました。

さて今回この本を日本語訳するにあたっては、幅広い購読層を想定し、基本的な宗教用語や意味が不明瞭に捉えられがちな箇所に関して、可能な限り注釈を施しました。また、原本では著者が引用したハディース（預言者の言行録）の出典箇所が提示されていますが、この邦訳に関してはクルアーン以外の出典箇所は省略しました。それゆえハディースの出

典先を御存知になりたい方は、本書の原本や英語版などを照らし合わせて参照して頂く必要があります。

　また、アラビア語のズィクル・ドアーの本文にはカナ表記を付記しましたが、そもそもアラビア語には日本語に存在しない子音が数多く存在し、忠実な音訳は不可能です。例えば「ア」行はアラビア語の「أ」「ع」の 2 音を兼ねて表すようにし、「ハ」行に関しては「ح」「خ」「ه」の 3 音を兼ねて表記しています。ゆえにカナ表記は飽くまで発音の大まかな目安とし、可能な限り原語であるアラビア語に親しんで頂くことをお願い申し上げます。

　またアラビア語では基本的に、文の最後や区切り目にある母音は発音しません。例を挙げれば：「バーラカッラーフ　ラカ、ワ・・・」という文を途中で切る場合、「バーラカッラーフ　ラク。ワ・・・」となります。また同様に「サーイムン、インニー」という場合も「サーイム。インニー」となります。この辺の法則は少々複雑なので、可能な限りカナ表記の句読点に忠実に読んで頂くことをお勧めします

（尚クルアーンの音訳においては「＊」マークが休止点を表しています)。その他「ラフ。(アラビア語の「ه」)」の休止発音なども独特の音なので、出来ればネイティヴの方に発音してもらうなどして確認して頂くようお願い申し上げます。

ヒジュラ暦 1428 年**シャアバーン**月

2007 年 8 月

翻訳者

ズィクルの徳

至高のアッラーは仰せられた。

﴿ فَاذْكُرُونِي أَذْكُرْكُمْ وَاشْكُرُواْ لِي وَلاَ تَكْفُرُونِ ﴾ .

「だからわれを想念（ズィクル）せよ。そうすればわれもあなた方を御心に留めおくであろう。われに感謝し、恩を忘れてはならない。」【 雌牛章：152】

﴿ يَا أَيُّهَا الَّذِينَ آمَنُوا اذْكُرُوا اللَّهَ ذِكْراً كَثِيراً ﴾ .

「あなた方信者よ、アッラーをよく唱念（ズィクル）せよ。」【部族連合章：41】

﴿ وَالذَّاكِرِينَ اللَّهَ كَثِيراً وَالذَّاكِرَاتِ أَعَدَّ اللَّهُ لَهُم مَّغْفِرَةً وَأَجْراً عَظِيماً ﴾ .

「アッラーを多く唱念（ズィクル）する男と女、これらの者のためにアッラーは彼らの罪の赦しと、この上ない報奨をご準備なされた。」【部族連合章:35】

﴿ وَاذْكُر رَّبَّكَ فِي نَفْسِكَ تَضَرُّعاً وَخِيفَةً وَدُونَ الْجَهْرِ مِنَ الْقَوْلِ بِالْغُدُوِّ وَالآصَالِ وَلاَ تَكُن مِّنَ الْغَافِلِينَ ﴾ .

「またあなたは朝夕に魂を込めて謙虚に、畏れ謹んで、声をひそめながらあなたの主を唱念（ズィクル）せよ。そして（主の恩恵を）おろそかにする輩の仲間となってはならない。」【高壁章：205】

預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）[①]は言った。

「主を念じる者と念じない者との差は、あたかも生者と死人のそれのようである。」

また預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。

「支配者のもとで最も優れかつ清らかで、最もあなた方の位階を上げ、また金貨や紙幣を施すことよりも更に優れ、更には敵と遭遇してあなた方が彼らの首を討ち、彼らがあなた方の首を討つこと以上に優れた行為を教えてやろうか？」教友たちは「ぜひとも。」と答えた。預言者は言った。「至高のアッラーを念じることだ。」そしてこう言った。「至高のアッラーはこう仰せられている：『われはしもべがわれを思うその思いの通りにあり[②]、彼らがわれを念じれば

---

① 訳者注：預言者ムハンマドの名が言及された時に彼に祝福と平安を祈願するのは、155 頁の「預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）のために祈願することの徳」章で触れられている通り、徳の多い行いです。アラビア語では「サッラッラーフ　アライヒ　ワ　サッラム」と言い、これが最も一般な預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）への祈願の仕方です。

② 訳者注：例えば何らかのイバーダ（崇拝行為）を行った上で、アッラーがそれに報奨を与えて下さるということを有望に考える者は、アッラーがその通りに叶えて下さります。一方それに懐疑的な者は、アッ

彼とともにある。もし彼がわれを彼自身の中で念じれば、われも自分自身の中で彼を念じる。もし彼が集団でわれを念じるのであれば、われは彼らよりよい一団（天使たち）において彼を念じる。もし彼がわれに手のひら分だけ近付けばわれは片腕分だけ近付くだろう。そしてもしわれに片腕分だけ近付けば、われは両腕分だけ近付くだろう。もし彼がわれへと歩いてきたらわれは彼へと走っていくだろう。』」

アブドッラー　ブン　ブスル（彼にアッラーのご満悦あれ）はこう伝えている。

「ある男が言った。『アッラーの御使いよ、イスラームの制約は私にとって多すぎます。ですから私が遵守できる範囲のことを教えて下さい。』すると預言者は言った。『あなたの舌を、アッラーの唱念でもって乾かさないようにしなさい。』」

預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。

「クルアーンを読んだ者は、一つの善行を行ったと

ラーもそれ相応のものをもって応じられます。預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は仰られました：「アッラーに対して希望的な観測をもつことなしには、この世を去ってはならない。」（サヒーフ・ムスリム）

される。そして一つの善行にはその 10 倍の報奨がある。『アリフ　ラーム　ミーム』は一文字ではなく、アリフで一文字、ラームで一文字、ミームで一文字なのである。」

ウクバ　ブン　アーミル（彼にアッラーのご満悦あれ）は言った。

「私たちが軒下にいると、アッラーの御使い（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）が出てきて言った。『毎朝ブトゥハーンやアル＝アキーク[1]に出かけていって、そこから罪を犯すでもなく親類関係を切るでもなしに、大きなコブの 2 頭の雌駱駝を得て戻って来たい者はいるか？』そこで私たちはこう言った。『アッラーの使徒よ、私たちはそれを望みます。』すると預言者は言った。『あなた方のある者は朝モスクへ行き、学ぶのではないのか？またはクルアーンの 2 節を読むのではないのか？それらの方がその者にとって、2 頭の雌駱駝よりも優れた物なのだ。3 節は 3 頭より優れ、4 節は 4 頭より優れ、（そして彼の読んだ）節と同数の駱駝より優れている。』」

また預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は

---

[1] どちらもマディーナ近郊の渓谷の名称。

言った。
「アッラーが唱念されなかった場所に座った者はアッラーからのお怒りを受け、アッラーが唱念されなかった場所に横たわった者はアッラーからのお咎めを受ける。」
　また預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）はこうも言った。
「アッラーを念唱しない所に座り、預言者への祈願をしなかった者たちは、アッラーからのお咎めを受ける。もしアッラーが望めば彼らを罰し、あるいは彼らを赦すのである。」
　また預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。
「アッラーを念唱せずに集まりの場から立ち上がる者たちは、ロバの屍（つまり無益なこと）から立ち上がることと同じである。それは彼らにとって損失である。」

1. 目覚めのズィクル

١-((الحَمْدُ للهِ الَّذِي أَحْيَانَا بَعْدَ مَا أَمَاتَنَا وَإِلَيْهِ النُّشُورُ)) .

アルハムドゥリッラーヒッラズィー　アハヤーナー　バァダ　マー　アマータナー　ワ　イライヒンヌシ

ュール。

「私たちを死なせた後に生き返らせ、また死後、かれの御許に私たちを復活させるお方アッラーに称えあれ。」

2-((لا إِلهَ إِلاّ اللهُ وَحْدَهُ لا شَرِيكَ لَهُ ، لَهُ المُلْكُ وَلَهُ الحَمْدُ ، وَهُوَ عَلَى كُلِّ شَيْءٍ قَدِيرٌ . سُبْحَانَ الله، والحَمْدُ لله ، ولا إِلهَ إِلاَّ اللهُ ، واللهُ أَكْبَرُ ولا حَوْلَ ولا قُوَّةَ إِلاَّ بِالله الْعَلِيِّ الْعَظِيمِ ، رَبِّ اغْفِرْ لِي)) .

ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ワハダフ　ラー　シャリーカ　ラフ。ラフルムルク　ワ　ラフルハムドゥ、ワ　フワ　アラー　クッリ　シャイイン　カディール。スブハーナッラー。ワルハムドゥリッラー。ワ　ラー　イラーハ　イッラッラー。ワッラーフ　アクバル。ワ　ラー　ハウラ　ワ　ラー　クウワタ　イッラー　ビッラーヒルアリーイルアズィーム。ラッビグフィル　リー。

「唯一で並ぶもの無きお方アッラー以外に真に崇拝すべきものはありません。主権と讃美はかれのもので、かれは全能です。アッラーに称えあれ。全ての讃美はアッラーにあります。アッラー以外に真に崇拝すべきものは無く、アッラーは偉大で、至高至大のアッラーの他にいかなる威力も強大なるものもあ

りません。主よ私をお赦し下さい。」

٣-((اَلْحَمْـدُ للهِ الَّـذِي عَافَـانِي فِي جَسَـدِي ، ورَدَّ عَـلَيَّ رُوحِـي، وأَذِنَ لِي بِذِكْرِهِ)) .

アルハムドゥリッラーヒッラズィー　アーファーニー　フィー　ジャサディー。ワ　ラッダ　アライヤルーヒー。ワ　アズィナ　リー　ビズィクリヒ。

「私の体を守り、私の魂を私に戻し、かれの唱念の仕方を教えたアッラーに称えあれ。」

٤-﴿إِنَّ فِي خَلْقِ السَّمَاوَاتِ وَالأَرْضِ وَاخْتِلاَفِ اللَّيْلِ وَالنَّهَارِ لآيَـاتٍ لِّأُوْلِي الألْبَابِ * الَّذِينَ يَذْكُرُونَ اللّهَ قِيَامًـا وَقُعُـودًا وَعَـلَىَ جُنُـوبِهِمْ وَيَتَفَكَّـرُونَ فِي خَلْقِ السَّمَاوَاتِ وَالأَرْضِ رَبَّنَا مَا خَلَقْتَ هَذا بَاطِلاً سُـبْحَانَكَ فَقِنَـا عَـذَابَ النَّارِ*رَبَّنَا إِنَّكَ مَن تُدْخِلِ النَّارَ فَقَدْ أَخْزَيْتَهُ وَمَا لِلظَّالِمِينَ مِنْ أَنصَارٍ*رَّبَّنَا إِنَّنَا سَمِعْنَا مُنَادِيًا يُنَادِي لِلإِيمَانِ أَنْ آمِنُواْ بِرَبِّكُمْ فَآمَنَّا رَبَّنَا فَاغْفِرْ لَنَا ذُنُوبَنَا وَكَفِّـرْ عَنَّا سَيِّئَاتِنَا وَتَوَفَّنَا مَعَ الأبْرَارِ*رَبَّنَا وَآتِنَا مَا وَعَدتَّنَا عَلَى رُسُلِكَ وَلاَ تُخْزِنَا يَوْمَ الْقِيَامَةِ إِنَّكَ لاَ تُخْلِفُ الْمِيعَادَ*فَاسْتَجَابَ لَهُمْ رَبُّهُمْ أَنِّي لاَ أُضِيعُ عَمَـلَ عَامِـلٍ مِّنكُم مِّن ذَكَرٍ أَوْ أُنثَى بَعْضُكُم مِّن بَعْضٍ فَالَّـذِينَ هَـاجَرُواْ وَأُخْرِجُـواْ مِـن دِيَارِهِمْ وَأُوذُواْ فِي سَبِيلِي وَقَاتَلُواْ وَقُتِلُواْ لأُكَفِّرَنَّ عَنْهُمْ سَيِّئَاتِهِمْ وَلأُدْخِلَـنَّهُمْ جَنَّاتٍ تَجْرِي مِن تَحْتِهَا الأَنْهَارُ ثَوَابًا مِّن عِندِ اللّهِ وَاللّهُ عِندَهُ حُسْنُ الثَّوَابِ*لاَ يَغُرَّنَّكَ تَقَلُّبُ الَّذِينَ كَفَرُواْ فِي الْبِلاَدِ*مَتَاعٌ قَلِيلٌ ثُمَّ مَـأْوَاهُمْ جَهَـنَّمُ وَبِـئْسَ

الْمِهَادُ*لَكِنِ الَّذِينَ اتَّقَوْاْ رَبَّهُمْ لَهُمْ جَنَّاتٌ تَجْرِي مِن تَحْتِهَا الأَنْهَارُ خَالِدِينَ فِيهَا نُزُلاً مِّنْ عِندِ اللّهِ وَمَا عِندَ اللّهِ خَيْرٌ لِّلأَبْرَارِ*وَإِنَّ مِنْ أَهْلِ الْكِتَابِ لَمَن يُؤْمِنُ بِاللّهِ وَمَا أُنزِلَ إِلَيْكُمْ وَمَآ أُنزِلَ إِلَيْهِمْ خَاشِعِينَ لِلّهِ لاَ يَشْتَرُونَ بِآيَاتِ اللّهِ ثَمَنًا قَلِيلاً أُوْلَـئِكَ لَهُمْ أَجْرُهُمْ عِندَ رَبِّهِمْ إِنَّ اللّهَ سَرِيعُ الْحِسَابِ*يَا أَيُّهَا الَّذِينَ آمَنُواْ اصْبِرُواْ وَصَابِرُواْ وَرَابِطُواْ وَاتَّقُواْ اللّهَ لَعَلَّكُمْ تُفْلِحُونَ﴾.

インナ　フィー　ハルキッサマーワーティ　ワルアルディ　ワフティラーフィッライリ　ワンナハーリラ　アーヤーティッリ　ウリルアルバーブ＊アッラズィーナ　ヤズクルーナッラーハ　キヤーマン　ワクウーダン　ワ　アラー　ジュヌービヒム　ワ　ヤタファッカルーナ　フィー　ハルキッサマーワーティ　ワルアルディ　ラッバナー　マー　ハラクタハーザー　バーティラン　スブハーナカ　ファキナー　アザーバンナール＊ラッバナー　インナカ　マン　トゥドゥヒリンナーラ　ファカド　アハザイタフ　ワ　マー　リッザーリミーナ　ミン　アンサール＊ラッバナー　インナナー　サミァナー　ムナーディヤン　ユナーディー　リルイーマーニ　アンアーミヌー　ビラッビクム　ファ　アーマンナーラッバナー　ファグフィル　ラナー　ズヌーバナー

ワ　カッフィル　アンナー　サイイアーティナー
ワ　タワッファナー　マアルアブラール　＊ラッバ
ナー　ワ　アーティナー　マー　ワアッタナー　ア
ラー　ルスリカ　ワ　ラー　トゥフズィナー　ヤウ
マルキヤーマティ　インナカ　ラー　トゥフリフル
ミーアードゥ＊ファスタジャーバ　ラフム　ラッブ
フム　アンニー　ラー　ウディーウ　アマラ　アー
ミリン　ミンクム　ミン　ザカリン　アウ　ウンサ
ー　バァドゥクム　ミン　バァディン　ファッラズ
ィーナ　ハージャルー　ワ　ウフリジュー　ミン
ディヤーリヒム　ワ　ウーズー　フィー　サビーリ
ー　ワ　カータルー　ワ　クティルー　ラ　ウカッ
フィランナ　アンフム　サイイアーティヒム　ワ
ラ　ウドゥヒランナフム　ジャンナーティン　タジ
ュリー　ミン　タハティハルアンハール　サワーバ
ン　ミン　インディッラーヒ　ワッラーフ　インダ
フ　フスヌッサワーブ＊ラー　ヤグッランナカ　タ
カッルブッラズィーナ　カファルー　フィルビラー
ドゥ＊マターウン　カリールン　スンマ　マアワー
フム　ジャハンナム　ワ　ビイサルミハードゥ＊ラ
ーキニッラズィーナッタカウ　ラッバフム　ラフム

ジャンナートゥン　タジュリー　ミン　タハティハルアンハール　ハーリディーナ　フィーハー　ヌズラン　ミン　インディッラーヒ　ワ　マー　インダッラーヒ　ハイルッリルアブラール＊ワ　インナミン　アハリルキタービ　ラマン　ユウミヌ　ビッラーヒ　ワ　マー　ウンズィラ　イライクム　ワ　マー　ウンズィラ　イライヒム　ハーシイーナ　リッラーヒ　ラー　ヤシュタルーナ　ビ　アーヤーティッラーヒ　サマナン　カリーラン　ウラーイカ　ラフム　アジュルフム　インダ　ラッビヒム　インナッラーハ　サリーウルヒサーブ＊ヤー　アイユハッラズィーナ　アーマヌスビルー　ワ　サービルー　ワ　ラービトゥー　ワッタクッラーハ　ラアッラクム　トゥフリフーン。

「本当に天と地の創造、また夜と昼の交替の中には、思慮ある者への印がある。（彼らは）立ち、または座り、または横たわって（不断に）アッラーを唱念する者たち。そして天と地の創造に就いて考える者たち。彼らは言う。『主よ、あなたはいたずらにこれらを御創りになったのではないのです。あなたの栄光を讃えます。業火の懲罰から私たちを救って下さい。

主よ、本当にあなたは業火に投げ込まれた者を、必ず屈辱で覆われます。不正の徒には援助者はないのです。主よ、本当に私たちは《あなたがたの主を信仰しなさい。》と信仰に呼ぶ者の呼び声を聞いて、信仰に入りました。主よ、私たちの罪を赦し、私たちの罪業を抹消し、信仰の達成者たちと一緒にあなたに召して下さい。主よ、あなたの使徒たちによって私たちに約束されたものを授け、また審判の日には屈辱から救って下さい。本当にあなたは、決して約束を反故になさいません。』主は彼ら（の祈り）を聞き入れられ、仰せられた。『本当にわれは、男であろうと女であろうと、あなた方の成した行いを徒労にすることはないであろう。あなた方は互いに同士である。それで移住した者、故郷から追放された者、わが道のために迫害され、また奮戦して殺害された者は、われが彼らの全ての罪業を抹消して、川がその下を流れる楽園に入らせよう。』これはアッラーの御許からの報奨である。アッラーの御許にこそ、最も優れた報奨がある。あなたは、不信者が地上でのさばりはびこっていることに惑わされてはならない。これは片時の歓楽であるが、やがて地獄が彼らの住

まいとなろう。それは何と悪い臥床であろうか。だが主を畏れる者には、川がその下を流れる楽園があり、彼らは永遠にその中に住むであろう。これはアッラーの御許からの歓待である。アッラーの御許にあるものこそは、敬虔な者にとって最良のものである。しかし啓典の民の中にもアッラーを信仰し、あなた方に下されたものと彼らに下されたものを信じてアッラーに謙虚に仕え、僅かな代価で啓示を売ったりしない者がいる。これらの者には、アッラーの御許で報奨があろう。本当にアッラーは清算に迅速であられる。あなた方信仰する者よ、耐え忍ぶのだ。忍耐し、敵の前に堅固であれ。そしてアッラーを畏れよ。そうすればあなた方は成功するであろう。」【イムラーン家章：190～200 】

2．着衣時のドアー

٥-((الحَمْدُ للهِ الَّذِي كَسَانِي هَذَا(الثَّوبَ)وَرَزَقنِيهِ مِنْ غَـيرِ حَـوْلٍ مِنِّـي وَلا قُوَّةٍ)).

アルハムドゥリッラーヒッラズィー　カサーニー　ハーザ（ッサウバ）　ワ　ラザカニーヒ　ミン　ガイリ　ハウリン　ミンニー　ワ　ラー　クウワ。

「無力な私にこの服を着させ、恵み与えて下さった

アッラーに讃えあれ。」

3．新しい服を着た時のドアー

٦-((اللَّهُمَّ لَكَ الْحَمْدُ أَنْتَ كَسَوْتَنِيهِ ، أَسْأَلُكَ مِنْ خَيْرِهِ وَخَيْرِ مَا صُنِعَ لَهُ وَأَعُوذُ بِكَ مِنْ شَرِّهِ وَشَرِّ مَا صُنِعَ لَهُ)) .

アッラーフンマ　ラカルハムドゥ　アンタ　カサウタニーヒ　アスアルカ　ミン　ハイリヒ　ワ　ハイリ　マー　スニア　ラフ。ワ　アウーズ　ビカ　ミン　シャッリヒ　ワ　シャッリ　マー　スニア　ラフ。

「アッラーよ、全ての讃美はあなたにこそあれ。あなたこそが私にそれを着せて下さいました。そこにある良きものと、それによって得られる良きものを与えて下さいますように。そしてあなたにそこにある悪しきものと、それによって得られる悪しきものからのご加護を求めます。[1]」

4．新しい服を着た人へのドアー

٧-((تُبْلِي وَيُخْلِفُ اللهُ تَعَالَى)) .

トゥブリー　ワ　ユフリフッラーフ　タアーラー。

[1] 訳者注：つまりその衣服をアッラーへの服従や崇拝行為に用いれば、それによって報奨が得られますが、その衣服をアッラーへの反逆行為や不服従に用いれば、それによって罪が得られることになります。

「(その服が) 着古され、その後更にアッラーが新しい物を与えて下さいますよう。[1]」

٨-((الْبسْ جَدِيدًا ، وَعِشْ حَمِيدًا ، وَمُتْ شَهِيدًا)) .

イルビス　ジャディーダン、ワ　イシュ　ハミーダン、ワ　ムトゥ　シャヒーダー。

「新しい物を着なさい。誉れ高く生きなさい。そして殉教者として死になさい。」

5. 服を置いた時の言葉

٩-((بِسْمِ الله)) .

ビスミッラー。

「アッラーの御名において。」

6. トイレに入る時のドアー

١٠-((بِسْمِ الله اللَّهُمَ إِنِّي أَعُوذُ بِكَ مِنَ الْخُبْثِ وَالْخَبَائِثِ)) .

ビスミッラー。アッラーフンマ　インニー　アウーズ　ビカ　ミナルフブスィ　ワルハバーイス。

「アッラーの御名において。アッラーよ、私は男女の悪魔からあなたにご加護を求めます。」

7. トイレから出た時のドアー

١١-((غُفْرَانَكَ)) .

[1] 訳者注：つまりその衣服が着古され、その後別の新しい衣服を得る時が来るまで長生きしますように、という意味。

グフラーナカ。

「あなたにお赦しを求めます。[1]」

8. ウドゥーの前のズィクル

١٢-((بِسْمِ اللهِ)) .

ビスミッラー。

「アッラーの御名において。」

9. ウドゥーが終わった後のズィクル

١٣-((أَشْهَدُ أَنَّ لاَ إِلَهَ إلا الله وَحْدَهُ لاَ شَرِيكَ لَه ُ، وَأَشْهَدُ أَنَّ مُحَمَّـدًا عَبْـدُهُ وَرَسُولُه)) .

アシュハドゥ　アッラー　イラーハ　イッラッラーフ　ワハダフ　ラー　シャリーカ　ラフ。ワ　アシュハドゥ　アンナ　ムハンマダン　アブドゥフ　ワラスールフ。

「かれに並ぶ者なきアッラー以外に真に崇拝すべきものはなく、ムハンマドは彼のしもべであり、使徒であることを証言します。」

١٤-((اللَّهُمَّ اجْعَلْنِي مِنَ التَّوَّابِين وَاجْعَلْنِي مِنَ الْمُتَطَهِّرِين)) .

アッラーフンマジュアルニー　ミナッタウワービーナ　ワジュアルニー　ミナルムタタッヒリーン。

[1] 訳者注：排便により身体的に清められた後、更に精神的な汚れである罪の赦しを請うという意味が含まれています。

「アッラーよ、私をよく悔悟する者に、そしてよく心身を清める者として下さい。」

١٥-((سُبْحَانك اللَّهُمَّ وَبِحَمْدِك ، أَشْـهَدُ أَن لاَ إِلـهَ إلا أَنْـتَ ، أَسْـتَغْفِرُك وَأَتُوبُ إلَيك)) .

スブハーナカッラーフンマ　ワ　ビハムディク。アシュハド　アッラー　イラーハ　イッラー　アントゥ。アスタグフィルカ　ワ　アトゥーブ　イライク。

「アッラーよ、あなたに賞賛と讃美あれ。私はあなた以外に真に崇拝すべきものはないと証言し、あなたにお赦しを請い、悔悟します。」

10. 家を出る時のズィクル

١٦-((بِسْم الله ، تَوَكَّلْتُ علَىَ الله ، وَلاَ حَوْلَ وَلاَ قُوَّةَ إِلاَّ بِالله)) .

ビスミッラー。　タワッカルトゥ　アラッラー。ワ　ラー　ハウラ　ワ　ラー　クウワタ　イッラー　ビッラー。

「アッラーの御名において。私はアッラーにこの身を委ねます。至高至大のアッラーの他にいかなる威力も強大なるものもありません。」

١٧-((اللَّهُمَّ إِنِّي أَعُوذُ بِكَ أَنْ أَضِلَّ ، أَو أُضَل ، أَو أَزِلَّ ، أَو أُزَل ، أَو أَظْلِم، أَو أُظْلَم ، أَو أَجْهَل ، أَو يُجهَل عَلَيَّ)) .

アッラーフンマ　インニー　アウーズ　ビカ　アン　アディッラ、アウ　ウダッラ、アウ　アズィッラ、アウ　ウザッラ、アウ　アズリマ、アウ　ウズラマ、アウ　アジュハラ、アウ　ユジュハラ　アライヤ。

「アッラーよ、私は自分が迷い迷わされることから、また過ちを犯し犯されることから、また不正を働き働かれることから、また無知に陥り無知に陥らされることから、あなたにご加護を求めます。」

11. 家に入る時のズィクル

١٨-((بِسْمِ الله وَلَجْنا ، وَبِسْمِ الله خَرَجْنا ، وَعَلَى رَبِّنا تَوَكَّلْنَا)) ثُـمَّ لِيُسَـلِّم عَلَى أَهْلِهِ .

ビスミッラーヒ　ワラジュナー。ワ　ビスミッラーヒ　ハラジュナー。ワ　アラー　ラッビナー　タワッカルナー。

「『アッラーよ、アッラーの御名において私たちは入り、アッラーの御名において私たちは出ました。そして私たちの主に全てをお任せしました。』こう言って、それから家族に挨拶をする。」

12. モスクへ行く時のドアー

١٩-((اللَّهُمَّ اجْعَل فِي قَلْبِي نُوراً ، وَفِي لِسَانِي نُوراً ، وَفِي سَـمْعِي نُـوراً وَفِي

بَصَرِي نُوراً ، وَمِنْ فَوْقِي نُوراً ، وَمِنْ تَحْتِي نُوراً ، وَعَنْ يَمِينِي نُـوراً ، وَعَـنْ شِمَالِي نُوراً ، وَمِنْ أَمَامِي نُوراً ، وَمِنْ خَلفِي نُوراً ، وَاجْعَـل فِي نَفْسِي ـ نُـوراً ، وَأَعْظِم لِي نُوراً ، وَعَظِم لِي نُوراً ، وَاجْعَل لِي نُوراً ، وَاجْعَلنِـي نُـوُراً ، اللَّهُـمَّ أَعْطِنِي نُوراً ، وَاجْعَل فِي عَصَبِي نُوراً ، وَفِي لَحْمِـي نُـوراً ، وَفِي دَمِـي نُـوراً ، وَفِي شَعْرِي نُوراً ، وَفِي بَشَرِي نُوراً)) ((اللَّهُمَّ اجْعَـل لِي نُـوراً فِي قَـبْرِي .. وَنُوراً فِي عِظَامِي)) ((وَزِدْنِي نُوراً ، وَ زِدْنِي نُوراً ، وَزِدْنِي نُوراً)) ((وَهَـبْ لِي نُوراً عَلَى نُورٍ)) .

アッラーフンマジュアル フィー カルビー ヌーラン、ワ フィー リサーニー ヌーラン、ワ フィー サムイー ヌーラン、ワ フィー バサリー ヌーラン、ワ ミン ファウキー ヌーラン、ワ ミン タハティー ヌーラン、ワ アン ヤミーニー ヌーラン、ワ アン シマーリー ヌーラン、ワ ミン アマーミー ヌーラン、ワ ミン ハルフィー ヌーラン、ワジュアル フィー ナフスィー ヌーラン、ワ アァズィム リー ヌーラン、ワ アッズィム リー ヌーラン、ワジュアル リー ヌーラン、ワジュアルニー ヌーラー。アッラーフンマ アァティニー ヌーラン、ワジュアル フィー アサビー ヌーラン、ワ フィー ラハミー ヌーラ

ン、ワ　フィー　ダミー　ヌーラン、ワ　フィー　シャアリー　ヌーラン、ワ　フィー　バシャリー　ヌーラー。アッラーフンマジュアル　リー　ヌーラン　フィー　カブリー・・・ワ　ヌーラン　フィー　イザーミー。ワ　ズィドゥニー　ヌーラン、ワ　ズィドゥニー　ヌーラン、ワ　ズィドニー　ヌーラー。ワ　ハブ　リー　ヌーラン　アラー　ヌール。

「アッラーよ、私の心に光を、私の舌に光を、私の聴覚に光を、私の視覚に光を、私の上から光を、私の下から光を、私の右に光を、私の左に光を、私の前から光を、私の後ろから光を、私の魂に光をお与え下さい。そして私のために光を強くして下さい。光を強くして下さい。私のために光をお与え下さい。私を光にして下さい。私に光をお与え下さい。私の神経に光を、肉に光を、血に光を、髪に光を、皮膚に光をお与え下さい。」

「アッラーよ、私のために私の墓に光を・・・私の骨に光をお与え下さい。」

　「そして光をお増やし下さい。そして光をお増やし下さい。そして光をお増やし下さい。」

　「そして光の上に光をお与え下さい。」

13. モスクに入る時のドアー

٢٠-((أَعُوذُ بِالله الْعَظِيم، وَبِوَجْهِهِ الْكَرِيم ، وَسُلْطَانِهِ الْقَدِيم ، مِنَ الشَّيطَان الرَّجِيم ، بِسْمِ الله ، وَالصَّلاَة وَالسَّلاَم عَلَىَ رَسولِ الله ،اللَّهُمَّ افْتَح لِي أَبْوَاب رَحْمَتِكَ)) .

アウーズ　ビッラーヒルアズィーミ、ワ　ビワジュヒヒルカリーミ、ワ　スルターニヒルカディーミ、ミナッシャイターニッラジーム。ビスミッラーヒ、ワッサラートゥ　ワッサラーム　アラー　ラスーリッラー。アッラーフンマフタフ　リー　アブワーバラハマティク。

「私は偉大なるアッラーに、その尊い御顔に、そして原初よりのかれの権威において、呪われるべきシャイターンからのご加護を与えて下さるよう求めます。アッラーの御名において、そしてアッラーの使徒に祝福と平安あれ。アッラーよ、あなたのご慈悲の扉を私にお開き下さい。」

14. モスクから出る時のドアー

٢١-((بِسْمِ الله وَالصَّلاةُ وَالسَّلامُ عَلى رَسُولِ الله، اللَّهُمَّ إِنِّي أَسْأَلُكَ مِنْ فَضْلِكَ ، اللَّهُمَّ اعْصِمْنِي مِنَ الشَّيْطانِ الرَّجيم)) .

ビスミッラーヒ　ワッサラートゥ　ワッサラーム

アラー　ラスーリッラー。アッラーフンマ　インニー　アスアルカ　ミン　ファドゥリク。アッラーフンマァスィムニー　ミナッシャイターニッラジーム。
「アッラーの御名において、アッラーの使徒に祝福と平安がありますように。アッラーよ、私にあなたの恩恵をお恵み下さい。アッラーよ、私を呪われるべき悪魔からお守り下さい。」

15. アザーン[1]を聞いた時のズィクル

22－ムアッズィン（アザーンを呼びかける者）が言う通りに、後を次いで繰り返して言う。ただし、

((حَيَّ عَلَى الصَّلاةِ وَحَيَّ عَلَى الفَلاحِ)).

「ハイヤ　アラッサラーティ　ワ　ハイヤ　アラルファラーハ（いざ礼拝に来たれ、いざ成功に来たれ）」の部分だけ、

((لا حَوْلَ وَلا قُوَّةَ إلا بِاللهِ)).

ラー　ハウラ　ワ　ラー　クウワタ　イッラー　ビッラー。

---

[1] 訳者注：礼拝を呼びかける一連の文句のこと。「アッラーフ　アクバル（2回）、アッラーフ　アクバル（2回）、アシュハドゥ　アッラー　イラーハ　イッラッラー（2回）、　アシュハドゥ　アンナ　ムハンマダッラスールッラー（2回）、ハイヤー　アラッサラー（2回）、ハイヤー　アラルファラーハ（2回）、アッラーフ　アクバル（2回）、ラー　イラーハ　イッラッラー。」

「至高至大のアッラーの他にいかなる威力も強大なるものもありません。」と言う。

٢٣-((وَأَنَا أَشْهَدُ أَنْ لا إِلَهَ إِلا اللهُ وَحْـدَهُ لا شَرِيـكَ لَـهُ وَأَنَّ مُحَمَّـداً عَبْـدُهُ وَرَسُولُهُ ، رَضِيتُ بِاللهِ رَباً وَبِمُحَمَّدٍ رَسُولاً وَبِالإِسْلامِ دِيناً)) .

ワ　アナ　アシュハドゥ　アッラー　イラーハ　イッラッラーフ　ワハダフ　ラー　シャリーカ　ラフ、ワ　アンナ　ムハンマダン　アブドゥフ　ワ　ラスールフ、ラディートゥ　ビッラーヒ　ラッバン、ワビムハンマディッラスーラン、ワ　ビルイスラーミディーナー。

「『そして私は、並ぶ者無き唯一のアッラー以外に真に崇拝すべきものは無く、ムハンマドは彼のしもべであり使徒であると証言します。私はアッラーが私たちの主であり、イスラームが私たちの宗教であり、そしてムハンマドが私たちの使徒であることに満足しました。』これを*ムアッズィン*の*タシャッフド*（信仰告白）[1]の後に言う。」

24ー「*ムアッズィン*の呼びかけに答えた後に、預言

[1] 訳者注：「アシュハドゥ　アッラー　イラーハ　イッラッラー、アシュハドゥ　アンナ　ムハンマダッラスールッラー」の言葉。

者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）への祝福と平安を願う。[①]」

٢٥ –((اللَّهُـمَّ رَبِّ هَـذِهِ الـدَّعْوَةِ التَّامَـةِ ، وَالصَّـلاةِ القائِمَـةِ ، آتِ مُحَمَّـداً الوَسِيلَةَ وَالفَضِيلَةَ ، وَابْعَثْهُ مَقاماً مَحْمُـوداً الـذي وَعَدْتَـهُ،(إنَّـكَ لا تُخْلِـفُ المِيعَادَ) .

アッラーフンマ　ラッバ　ハーズィヒッダアワティッターンマティ、ワッサラーティルカーイマ。アーティ　ムハンマダニルワスィーラタ　ワルファディーラ。ワブアスフ　マカーマン　マハムーダニッラズィー　ワアッタフ、(インナカ　ラー　トゥフリフルミーアードゥ)。

「アッラーよ、この完成された呼びかけと繰り返し続く礼拝の主よ、ムハンマドに天国における高い位階と栄誉を与え、あなたが彼に約束されたところの賞賛に溢れた位階に彼を蘇らせたまえ（本当にあなたは約束を反故にされる事がありません)。」

26－「*アザーン*と*イカーマ*[②]の間に任意のドアーをす

---

① 訳者注：12 頁の訳者注①及び 155 頁の「預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）のために祈願することの徳」章を参照のこと。

② 訳者注：礼拝開始直前の呼びかけの言葉。31 頁脚注のアザーンの言葉を各 1 回ずつ言います（ただしハナフィー法学派はアザーン同様 2 回ずつ)。尚、「ハイヤー　アラルファラーハ」の後には「カドゥ　カ

る。この間に行われたドアーは、必ず受け入れられる。」

16. *イスティフターフ*（礼拝開始）のドアー

٢٧ –((اللَّهُمَّ بَاعِدْ بَيْنِي وَبَيْنَ خَطايَايَ كَمَا بَاعَدْتَ بَيْنَ المَشْرِقِ وَالمَغْرِبِ اللَّهُمَّ نَقِّنِي مِنْ خَطايَايَ ، كَمَا يُنَقَّى الثَوْبَ الأَبْيَضَ مِنَ الدَّنَسِ ، اللَّهُمَّ اغْسِلْنِي مِنْ خَطايَايَ بِالثلْجِ وَالمَاءِ وَالبَرَدِ)) .

アッラーフンマ　バーイド　バイニー　ワ　バイナ　ハターヤーヤ　カマー　バーアッタ　バイナルマシュリキ　ワルマグリブ。アッラーフンマ　ナッキニー　ミン　ハターヤーヤ、カマー　ユナッカッサウブルアブヤドゥ　ミナッダナス。アッラーフンマグスィルニー　ミン　ハターヤーヤ　ビッサルジ　ワルマーイ　ワルバラドゥ。

「アッラーよ、私と私の過ちの間を東西の間を遠ざけたように遠ざけて下さい。アッラーよ、白い服が汚れから清められるように私を私の過ちから清めて下さい。アッラーよ、雪と水と雹で私を私の過ちから清めて下さい。」

٢٨–((سُبْحَانَكَ اللَّهُمَّ وَبِحَمْدِكَ ، وَتَبَارَكَ اسْمُكَ ، وَتَعَالَى جَدُّكَ ، وَلا

ーマティッサラー（礼拝はまさに始まった）」という文句を 2 回入れます。

إلهَ غَيْرُكَ)) .

スブハーナカッラーフンマ　ワ　ビハムディカ、ワ　タバーラカスムカ、ワ　タアーラー　ジャッドゥカ、ワ　ラー　イラーハ　ガイルカ。

「アッラーよ、あなたに賞賛と讃美あれ。あなたの御名は祝福に溢れ、あなたのご偉力は至高です。あなたの他に真に崇拝すべきものはありません。」

٢٩-((وَجَّهْتُ وَجْهِيَ لِلذي فَطَرَ السَّمَاوَاتِ وَالأَرْضِ حَنِيفاً وَمَا أَنَا مِنَ الْمُشْرِكِينَ ، إنَّ صَلاتِي ، وَنُسُكِي ، وَمَحْيَايَ ، وَمَمَاتِي لله رَبِّ العَالَمِينَ ، لا شَرِيكَ لَهُ وَبِذَلِكَ أُمِرْتُ وَأنا مِنَ الْمُسْلِمِينَ . اللَّهُمَّ أَنْتَ المَلِكُ لا إلهَ إلا أنتَ. أَنْتَ رَبِّي وَأنا عَبْدُكَ ، ظَلَمْتُ نَفْسِي وَاعْتَرَفْتُ بِذَنْبِي فَاغْفِرْ لِي ذنوبِي جَمِيعاً إنَّهُ لا يَغْفِرُ الذنوبَ إلا أنتَ . وَاهْدِنِي لأَحْسَنِ الأخلاقِ لا يَهْدِي لأَحْسَنِهَا إلا أنتَ ، وَاصْرِفْ عَنِّي سَيِّئَهَا لا يَصْرِفُ عَنِّي سَيِّئَهَا إلا أنتَ ، لَبَّيْكَ وَسَعْدَيْكَ، وَالخَيْرُ كُلُّهُ بِيَدَيْكَ ، وَالشَّرُّ لَيْسَ إلَيْكَ ، أنا بِكَ وَإِلَيْكَ ، تَبَارَكْتَ وَتَعَالَيْتَ ، أَسْتَغْفِرُكَ وَأَتُوبُ إِلَيْكَ)) .

ワッジャフトゥ　ワジュヒヤ　リッラズィー　ファタラッサマーワーティ　ワルアルダ　ハニーファン　ワ　マー　アナ　ミナルムシュリキーン。インナ　サラーティー、ワ　ヌスキー、ワ　マフヤーヤ、ワ　ママーティー　リッラーヒ　ラッビルアーラミーナ、

ラー　シャリーカ　ラフ　ワ　ビザーリカ　ウミルトゥ　ワ　アナ　ミナルムスリミーン。アッラーフンマ　アンタルマリク　ラー　イラーハ　イッラーアントゥ。アンタ　ラッビー　ワ　アナ　アブドゥク。ザラムトゥ　ナフスィー　ワァタラフトゥ　ビザンビー　ファグフィル　リー　ズヌービー　ジャミーアン　インナフ　ラー　ヤグフィルッズヌーバイッラー　アントゥ。ワハディニー　リアフサニルアフラーキ　ラー　ヤハディー　リアフサニハーイッラー　アントゥ。ワスリフ　アンニー　サイイアハー、ラー　ヤスリフ　アンニー　サイイアハーイッラー　アントゥ。ラッバイカ　ワ　サアダイカ、ワルハイル　クッルフ　ビヤダイカ、ワッシャッルライサ　イライク。アナ　ビカ　ワ　イライク。タバーラクタ　ワ　タアーライトゥ。アスタグフィルカ　ワ　アトゥーブ　イライク。

「私は天地の創造主に、*シルク*[1]を犯す者ではなく純

[1] 訳者注：シルクとは、全宇宙の創造や所有や管理などアッラーのみが専有する性質においてアッラー以外の何かをかれに共有・参与させたり、あるいはアッラーのみに向けられるべき崇拝行為を、かれ以外の他のものに向けて行うこと。イスラームの根本教義であるタウヒードの反対語であり、ゆえに厳しく禁じられています。

正な信徒[①]として顔を向けました。私の礼拝、献身行為、生、そして死は並ぶ者なきお方である全世界の主アッラーにこそ捧げられます。私は実にそのように命じられ、そして服従した者たちの 1 人です。アッラーよ、あなたはあなた以外に真に崇拝すべきものがないところの王です。あなたは私の主で私はあなたのしもべです。私は自分自身に不正を働きました。そして自分の罪を認めました。ですから私の罪全てをお赦し下さい。罪を赦されるお方はあなた以外にいないのです。私を最も良い人格へと導いて下さい。そこへ導くのはあなた以外にいません。私から悪い人格を取り除いて下さい。悪い人格を取り除くお方はあなた以外にいません。私はあなたに常に仕え、あなたの御許に馳せ参じます。全ての善はあなたの御手の内にあります。悪い事があなたに帰せられることはありません。私はあなたによって存在するもので、あなたの御許へと帰ります。あなたは祝福に溢れ、いと高くおわしますお方。私はあなた

[①] 訳者注：ヌーフからイブラーヒーム、ムーサー、イーサーらから最後の預言者ムハンマド（彼らにアッラーからの祝福と平安あれ）にまで至る全ての預言者が人々をそれに誘ってきたところの、アッラーのみに崇拝行為を向けるという純正な一神教のことです。

に罪の赦しを請い、あなたに悔悟します。」

٣٠-((اللَّهُـمَّ رَبَّ جِبْرَائِيـلَ ، وَمِيكَائِيـلَ ، وَإِسْرَافِيـلَ فَـاطِرَ السَّـماوَاتِ وَالأرْضِ، عَالِمَ الغَيْبِ وَالشّهَادَةِ ، أنـتَ تَحْكُـمُ بَـيْنَ عِبَـادِكَ فِـيمَا كَـانُوا فِـيهِ يَخْتَلِفُونَ . اِهْدِنِي لِمَا اخْتُلِفَ فِيهِ مِنَ الحَقِّ بِإِذْنِـكَ إنّـكَ تَهْـدِي مَـنْ تَشَـاءُ إِلَى صِرَاطٍ مُسْتَقِيم)) .

アッラーフンマ　ラッバ　ジブラーイーラ、ワ　ミーカーイーラ、ワ　イスラーフィーラ　ファーティラッサマーワーティ　ワルアルドゥ。アーリマルガイビ　ワッシャハーダ。アンタ　タハクム　バイナイバーディカ　フィーマー　カーヌー　フィーヒヤフタリフーン。イヒディニー　リマフトゥリファフィーヒ　ミナルハッキ　ビイズニク。インナカタハディー　マン　タシャーウ　イラー　スィラーティン　ムスタキーム。

「アッラーよ、*ジブリール*と*ミーカーイール*と*イスラーフィール*[1]の主、天地の創造主よ、不可視なる世界と可視なる世界をご存知なられるお方よ、あなた

---

[1] 訳者注：全て大天使の名。ジブリール（ガブリエル）は諸預言者や使徒たちに対して、アッラーからの啓示伝達を担い、ミーカーイール（ミカエル）は雨と作物を委任されています。またイスラーフィールは角笛を吹いてこの世の終焉を告げ、またもう一吹きで全てのものの復活を知らせる役割を任されています。

こそあなたのしもべたちが以前意見を異にしていたことに関して彼らの裁決を下されるお方。真理から反れたことに関して、あなたのお許しをもって私をお導き下さい。あなたこそあなたがお望みになる者を真っ直ぐな道へとお導きになられるお方です。

٣١-((اللهُ أَكْبَرُ كَبِيراً ، اللهُ أَكْبَرُ كَبيراً ، اللهُ أَكْبَرُ كَبيراً ، وَالحَمْدُ لله كَثيراً ، وَالحَمْدُ لله كَثيراً ، وَالحَمْدُ لله كَثيراً ، وَسُبْحَانَ اللهِ بُكْرَةً وَأَصِيلاً)) ثَلاثاً ((أَعُوذُ بِاللهِ مِنَ الشَّيْطَانِ : مِنْ نَفْخِهِ ، وَنَفْثِهِ ، وَهَمْزِهِ)) .

アッラーフ　アクバル　カビーラー。アッラーフ　アクバル　カビーラー。アッラーフ　アクバル　カビーラー。ワルハムドゥ　リッラーヒ　カスィーラー。ワルハムドゥ　リッラーヒ　カスィーラー。ワルハムドゥ　リッラーヒ　カスィーラー。ワ　スブハーナッラーヒ　ブクラタン　ワ　アスィーラー。（×3回）アウーズ　ビッラーヒ　ミナッシャイターニ　ミン　ナフヒヒ、ワ　ナフスィヒ、ワ　ハムズィヒ。

「アッラーは偉大なり。アッラーは偉大なり。アッラーは偉大なり。アッラーを限りなく称えます。アッラーを限りなく称えます。アッラーを限りなく称えます。朝に夕にアッラーを称えます。」(×3回)「私

はアッラーに、シャイターンとその息と唾の吹きかけ、そしてその囁き[1]からのご加護を求めます。」

٣٢-((اللَّهُمَّ لَكَ الحَمْدُ أنتَ نُورُ السَّماوَاتِ وَالأرْضِ وَمَنْ فِيهِنَّ ، وَلَكَ الحَمْدُ أنتَ قَيِّمُ السَّماواتِ وَالأرْضِ وَمَنْ فِيهِنَّ ، وَلَكَ الحَمْدُ أنتَ رَبُّ السَّماواتِ وَالأرْضِ وَمَنْ فِيهِنَّ ، وَلَكَ الحَمْدُ لَكَ مُلْكُ السَّماواتِ وَالأرْضِ وَمَنْ فِيهِنَّ، وَلَكَ الحَمْدُ أنتَ مَلِكُ السَّماواتِ وَالأرْضِ ، وَلَكَ الحَمْدُ ، أنتَ الحَقُّ ، وَوَعْدُكَ الحَقُّ ، وَقَوْلُكَ الحَقُّ ، وَلِقَاؤُكَ الحَقُّ ، وَالجَنَّةُ حَقٌّ ، وَالنَّارُ حَقٌّ ، وَالنَّبِيُّونَ حَقٌّ، وَمُحَمَّدٌ صَلَّى اللهُ عَلَيْهِ وَسَلَّمَ حَقٌّ، وَالسَّاعَةُ حَقٌّ ، اللَّهُمَّ لَكَ أسْلَمْتُ ، وَعَلَيْكَ تَوَكَّلْتُ ، وَبِكَ آمَنْتُ ، وَإلَيْكَ أنَبْتُ ، وَبِكَ خَاصَمْتُ ، وَإلَيْكَ حَاكَمْتُ ، فَاغفِرْ لِي مَا قَدَّمْتُ ، وَمَا أخَّرْتُ ، وَمَا أسْرَرْتُ ، وَمَا أعْلَنْتُ ، أنتَ المُقَدِّمُ ، وَأنتَ المُؤَخِّرُ لا إلهَ إلا أنتَ ، أنتَ إلَهِي لا إلهَ إلا أنتَ)) .

アッラーフンマ　ラカルハムドゥ、アンタ　ヌールッサマーワーティ　ワルアルディ　ワ　マン　フィーヒンヌ。ワ　ラカルハムドゥ　アンタ　カイイムッサマーワーティ　ワルアルディ　ワ　マン　フィーヒンヌ。ワ　ラカルハムドゥ　アンタ　ラッブッサマーワーティ　ワルアルディ　ワ　マン　フィー

[1] 訳者注：これらは全て人を迷わせ、地獄への道連れにしようとするシャイターンの策略を示しています。

ヒンヌ。ワ　ラカルハムドゥ　ラカ　ムルクッサマーワーティ　ワルアルディ　ワ　マン　フィーヒンヌ。ワ　ラカルハムドゥ　アンタ　ムルクッサマーワーティ　ワルアルディ、ワ　ラカルハムドゥ。アンタルハック。ワ　ワァドゥカルハック。ワ　カウルカルハック。ワ　リカーウカルハック。ワルジャンナトゥ　ハック。ワンナール　ハック。ワンナビィユーナ　ハック。ワ　ムハンマドゥン　サッラッラーフ　アライヒ　ワ　サッラマ　ハック。ワッサーアトゥ　ハック。アッラーフンマ　ラカ　アスラムトゥ。ワ　アライカ　タワッカルトゥ。ワ　ビカアーマントゥ。ワ　イライカ　アナブトゥ。ワ　ビカ　ハーサムトゥ。ワ　イライカ　ハーカムトゥ。ファグフィル　リー　マー　カッダムトゥ、ワ　マー　アッハルトゥ、ワ　マー　アスラルトゥ、ワ　マー　アァラントゥ。アンタルムカッディム、ワ　アンタルムアッヒル。ラー　イラーハ　イッラー　アンタ、アンタ　イラーヒー　ラー　イラーハ　イッラー　アントゥ。」

「アッラーよ、讃美はあなたのもので、あなたは天地とそこにある者たちの光です。あなたに称えあれ。

あなたは天地とそこにある者たちを司るお方です。あなたに称えあれ。あなたは天地とそこにある者たちの主です。あなたに称えあれ。天地とそこにある者たちの主権はあなたの御許にあります。あなたに称えあれ。あなたは天地の王です。あなたに称えあれ。あなたは真実であり、あなたの約束は真実であり、あなたの御言葉は真実であり、あなたとの謁見は真実であり、天国は真実であり、地獄は真実であり預言者たちは真実であり、ムハンマド（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は真実であり、審判の時は真実であります。アッラーよ、私はあなたにこそ帰依しました。あなたにこそ全てをお委ねしました。私はあなたを信じ、あなたに悔悟しました。私はあなたによって議論し、あなたにこそ裁決を求めます。既に私が犯し、またこれから犯す過ちを、そして密に犯し、また露わに犯した過ちをお赦し下さい。あなたこそは事を進め遅らせるお方で、あなたの他に真に崇拝すべきものはありません。あなたこそは私の崇拝するお方であり、あなた以外に真に崇拝すべきものはありません。」

17．*ルクーウ*（立礼）[1]のドアー

٣٣-((سُبْحَانَ رَبِّيَ العَظِيمِ)) .

スブハーナ　ラッビヤルアズィーム。（×3 回）

「偉大なる私の主を称えます。」（×3 回）

٣٤-((سُبْحَانَكَ اللَّهُمَّ رَبَنا وَبِحَمْدِكَ اللَّهُمَّ اغفِرْ لِي))

スブハーナカッラーフンマ　ラッバナー　ワ　ビハムディカ　アッラーフンマグフィル　リー。

「私たちの主アッラー、あなたに賞賛と讃美あれ。アッラーよ、私をお赦し下さい。」

٣٥-((سُبُّوحٌ ، قُدُّوسٌ ، رَبُّ المَلائِكَةِ وَالرُّوحِ)) .

スッブーフン、クッドゥースッラッブルマラーイカティ　ワッルーフ。

「讃美されるべき崇高なお方、聖なるお方、天使たちと*ジブリール*の主よ。」

٣٦-((اللَّهُمَّ لَكَ رَكَعْتُ ، وَبِكَ آمَنْتُ ، وَلَكَ أسْلَمْتُ خَشَعَ لَكَ سَمْعِي ، وَبَصَرِي ، وَمُخِّي ، وَعَظْمِي ، وَعَصَبِي ، وَمَا اسْتَقَلَّ بِهِ قَدَمِي)) .

アッラーフンマ　ラカ　ラカァトゥ、ワ　ビカ　アーマントゥ、ワ　ラカ　アスラムトゥ。ハシャア　ラカ　サムイー、ワ　バサリー、ワ　ムッヒー、ワ　ア

[1] 訳者注：礼拝中の一動作。立ったまま、上半身をお辞儀をするように前方に傾ける状態。

ズミー、ワ　アサビー、ワマスタカッラ　ビヒ　カダミー。

「アッラーよ、あなたのためにルクーウ（立礼）し、あなたのみを信仰し、あなたに服従しました。私の耳も、目も、脳も、骨も、神経も、そして私の足が運ぶもの[①]も、全てはあなたを屈んで畏敬します。」

٣٧-((سُبْحَانَ ذِي الجَبَرُوتِ ، وَالمَلَكُوتِ ، وَالكِبْرِيَاءِ ، وَالعَظَمَةِ)) .

スブハーナ　ズィルジャバルーティ、ワルマラクーティ、ワルキブリヤーイ、ワルアザマ。

「この上なき権勢と王国、強大さと偉大さの持ち主に称えあれ。」

18. *ルクーウ*から起き上がる時のドアー

٣٨-((سَمِعَ اللهُ لِمَنْ حَمِدَهُ)) .

サミアッラーフ　リマン　ハミダフ。

「アッラーは、かれを賛美する者の声をお聞きになられる。」

٣٩-((رَبَّنَا وَلَكَ الحَمْدُ ، حَمْدًا كَثِيراً طَيِّباً مُبَارَكاً فِيهِ)) .

ラッバナー　ワ　ラカルハムドゥ、ハムダン　カスィーラン　タイイバン　ムバーラカン　フィーヒ。

---

① 訳者注：身体のこと。

「私たちの主よ、あなたにこそ賞賛あれ。この上なく沢山の、素晴らしい、祝福に溢れた賞賛あれ。」

٤٠-((مِلْءَ السَّمَاوَاتِ وَمِلْءَ الأَرْضِ وَمَا بَيْنَهُمَا ، وَمِلْءَ مَا شِئْتَ مِنْ شَيْءٍ بَعْدُ . أَهْلَ الثَّنَاءِ وَالمَجْدِ ، أَحَقُّ مَا قالَ العَبْدُ ، وَكُلُّنَا لَكَ عَبْدٌ . اللَّهُمَّ لا مَانِعَ لِمَا أَعْطَيْتَ ، وَلا مُعْطِيَ لِمَا مَنَعْتَ ، وَلا يَنْفَعُ ذَا الجَدِّ مِنْكَ الجَدُّ)) .

ミルアッサマーワーティ　ワ　ミルアルアルディ　ワ　マー　バイナフマー、ワ　ミルア　マー　シウタ　ミン　シャイイン　バアドゥ。アハラッサナーイ　ワルマジュディ、アハック　マー　カーラルアブドゥ、ワ　クッルナー　ラカ　アブドゥ。アッラーフンマ　ラー　マーニア　リマー　アァタイタ、ワ　ラー　ムゥティヤ　リマー　マナァタ、ワ　ラー　ヤンファウ　ザルジャッディ　ミンカルジャッドゥ。

「あなたへの讃美は天地とその間にあるもの、そしてあなたの望むその他全ての物を満たします。讃美と栄光の主よ、私たち全員がそうであるところのあなたのしもべが（次のように）言う言葉は、至極の真理です：『アッラーよ、あなたが与えたものを禁じる者はなく、あなたが禁じれば他に与える者はおりません。（現世における）どんな優れた境遇も、あな

たの御許での真の幸福を益することはありません。[1]』」

19. サジダ（平伏礼）[2]の時のドアー

٤١-((سُبْحَانَ رَبِّيَ الأَعْلَى)) .

スブハーナ　ラッビヤルアァラー。（×3 回）

「崇高な私の主に称えあれ。」（×3 回）

٤٢-((سُبْحَانَكَ اللَّهُمَّ رَبَّنَا وَبِحَمْدِكَ اللَّهُمَّ اغْفِرْ لِي)) .

スブハーナカッラーフンマ　ラッバナー　ワ　ビハムディカ　アッラーフンマグフィル　リー。

「私たちの主アッラー、あなたを称えます。アッラーよ、私をお赦し下さい。」

٤٣-((سُبُّوحٌ ، قُدُّوسٌ ، رَبُّ الْمَلَائِكَةِ وَالرُّوحِ)) .

スッブーフン、クッドゥースッラッブルマラーイカティ　ワッルーフ。

「讃美すべき崇高なお方、聖なるお方、天使たちと*ジブリール*の主。」

---

[1] 訳者注：現世における権力、財産、子孫などの幸運は、それ自体ではアッラーの御許での真の幸運、つまり天国という報奨を獲得することには直接つながらない、ということ。至高のアッラーは仰られました：《財産と子孫は現世の生活の飾り物であるが、永遠に残る善行こそはあなたの主の御許で最も優れた報奨であり、希望である》（洞窟章：46）

[2] 訳者注：礼拝の中の 1 動作。いわゆる跪拝のこと。

٤٤-((اللَّهُمَّ لَكَ سَجَدْتُ وَبِكَ آمَنْتُ ، وَلَكَ أَسْلَمْتُ ، سَجَدَ وَجْهِيَ لِلذي خَلَقَهُ ، وَصَوَّرَهُ ، وَشَقَّ سَمْعَهُ وَبَصَرَهُ ، تَبَارَكَ اللهُ أَحْسَنَ الخَالِقِينَ)) .

アッラーフンマ　ラカ　サジャットゥ　ワ　ビカ　アーマントゥ、ワ　ラカ　アスラムトゥ。サジャダ　ワジュヒヤ　リッラズィー　ハラカフ、ワ　サウワラフ、ワ　シャッカ　サムアフ　ワ　バサラフ、タバーラカッラーフ　アハサヌルハーリキーン。

「アッラーよ、私はあなたにサジダし、あなたを信仰し、あなたに従いました。私の顔はそれを創造し、形造り、そこから耳と目を刻み分けたお方に平伏します。最高の創造主アッラーに称えあれ。」

٤٥-((سُبْحَانَ ذِي الجَبَرُوتِ،وَالمَلَكُوتِ ، وَالكِبْرِيَاءِ ، وَالعَظَمَةِ)) .

スブハーナ　ズィルジャバルーティ、ワルマラクーティ、ワルキブリヤーイ、ワルアザマ。

「この上なき権勢と王国、強大さと偉大さの持ち主に称えあれ。」

٤٦-((اللَّهُمَّ اغْفِرْ لِي ذَنْبِي كُلَّهُ ، دِقَّهُ وَجَلَّهُ ، وَأَوَّلَهُ وَآخِرَهُ وَعَلانِيَتَهُ وَسِرَّهُ)) .

アッラーフンマグフィル　リー　ザンビー　クッラフ、ディッカフ　ワ　ジッラフ、ワ　アウワラフ　ワ

アーヒラフ、ワ　アラーニヤタフ、ワ　スィッラフ。

「アッラーよ、大きいものも小さいものも、最初のものも最後のものも、知られているものもまだ知られていないものも、私の罪を全てお赦し下さい。」

٤٧-((اللَّهُمَّ إِنِّي أَعُوذُ بِرِضَاكَ مِنْ سَخَطِكَ ، وَبِمُعَافَاتِـكَ مِـنْ عُقُوبَتِـكَ ، وَأَعُوذُ بِكَ مِنْكَ ، لا أُحْصِي ثَنَاءً عَلَيْكَ أَنتَ كَمَا أَثْنَيْتَ عَلَى نَفْسِكَ)) .

アッラーフンマ　インニー　アウーズ　ビリダーカ　ミン　サハティク。ワ　ビムアーファーティカ　ミン　ウクーバティク。ワ　アウーズ　ビカ　ミンク。ラー　ウフスィー　サナーアン　アライカ　アンタ　カマー　アスナイタ　アラー　ナフスィク。

「アッラーよ、私はあなたのご満悦によってあなたの怒りからの、そしてあなたのお赦しによってあなたの懲罰からの、あなたによってあなたからのご加護を求めます。私はあなたが御自身を讃美されたようにあなたを讃美することは出来ません。」

20．2回の *サジダ*の間、座っている時のドアー

٤٨-((رَبِّ اغفِرْ لِي رَبِّ اغفِرْ لِي)) .

ラッビグフィル　リー、ラッビグフィル　リー。

「主よ私を赦したまえ、主よ私を赦したまえ。」

٤٩-((اللَّهُمَّ اغفِرْ لِي،وَارْحَمْنِي ،وَاهْدِنِي ، وَاجْـبُرْنِي ، وَعَـافِنِي ، وَارْزُقْنِـي، وَارْفَعْنِي)) .

アッラーフンマグフィル　リー、ワルハムニー、ワハディニー、ワジュブルニー、ワ　アーフィニー、ワルズクニー、ワルファアニー。

「アッラーよ、私を赦し、私にお慈悲をかけ、私を導き、私を正し、私を守り、私に恩恵を与え、私の位階を上げて下さい。」

21．クルアーン読誦によるサジダの時のドアー

٥٠-((سَجَدَ وَجْهِيَ لِلذي خَلَقَهُ، وَشَـقَّ سَـمْعَهُ وَبَصَرَـهُ بِحَوْلِـهِ وَقُوَّتِـهِ ، ﴿فَتَبَارَكَ اللهُ أَحْسَنَ الخَالِقِينَ﴾)) .

サジャダ　ワジュヒヤ　リッラズィー　ハラカフ、ワ　シャッカ　サムアフ　ワ　バサラフ　ビハウリヒ　ワ　クウワティヒ。ファタバーラカッラーフアハサヌルハーリキーン。

「私の顔はそのお力によってそれを創造し、形造り、そこから耳と目を刻み分けたお方に平伏します。『最高の創造主アッラーに称えあれ。』」

٥١-((اللَّهُمَّ اكْتُبْ لِي بِهَا عِنْدَكَ أَجراً ، وَضَعْ عَنِّـي بِهَـا وِزْراً ، وَاجْعَلْهَـا لِي عِنْدَكَ ذُخْراً ، وَتَقَبَّلْهَا مِنِّي كَمَا تَقَبَّلْتَهَا مِنْ عَبْدِكَ دَاودَ)) .

アッラーフンマクトゥブ　リー　ビハー　インダカ　アジュラー。ワ　ダァ　アンニー　ビハー　ウィズラー。ワジュアルハー　リー　インダカ　ズフラー。ワ　タカッバルハー　ミンニー　カマー　タカッバルタハー　ミン　アブディカ　ダーウード。

「アッラーよ、私のために（クルアーン読誦の）報奨をあなたの御許に書き留めて下さい。そしてそれによって私の罪という重荷を取り除いて下さい。そして私のためにそれをあなたの御許に蓄えて下さい。そしてあなたがあなたのしもべであるダーウードからそれを受け入れられたように、私からも受け入れて下さい。」

22. タシャッフド（信仰告白）[1]

٥٢-((التَّحِيَاتُ لله ، وَالصَّلَوَاتُ ، وَالطَّيِبَاتُ ، السَّلامُ عَلَيْكَ أيُّهَا النَّبِّيُ وَرَحْمَةُ الله وَبَرَكَاتُهُ ، السَّلامُ عَلَيْنَا وَعَلَى عِبَادِ الله الصَّالِحِينَ . أشْهَدُ أنْ لا إلَهَ إلا اللهُ وَأشْهَدُ أنَّ مُحَمَّداً عَبْدُهُ وَرَسُولُهُ)) .

アッタヒーヤートゥ　リッラーヒ、ワッサラワートゥ、ワッタイイバートゥ。アッサラーム　アライカ　アイユハンナビーユ　ワ　ラハマトゥッラーヒ　ワ

[1] 礼拝の中の義務行為の内の１つ。礼拝の２ラクア、あるいは３・４ラクア目を終えた時に、座ったまま無言でこの言葉を唱えます。

バラカートゥフ。アッサラーム　アライナー　ワアラー　イバーディッラーヒッサーリヒーン。アシュハドゥ　アッラー　イラーハ　イッラッラーフワ　アシュハドゥ　アンナ　ムハンマダン　アブドゥフ　ワ　ラスールフ。

「全ての讃美と祈りとよき言葉はアッラーに（捧げられます）。預言者よ、あなたの上に平安とアッラーのご慈悲と祝福がありますように。私たちに、そしてアッラーの敬虔なしもべたちに平安あれ。私はアッラー以外に真に崇拝すべきものは無いことを証言します。私はムハンマドがアッラーのしもべであり使徒であることを証言します。」

23. タシャッフド後の 預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）への祈願

٥٣-((اللَّهُمَّ صَلِّ عَلَى مُحَمَّدٍ وَعَلَى آلِ مُحَمَّدٍ ، كَمَا صَلَّيْتَ عَلَى إِبْرَاهِيمَ وَعَلَى آلِ إِبْرَاهِيمَ ، إِنَّكَ حَمِيدٌ مَجِيدٌ ، اللَّهُمَّ بَارِكْ عَلَى مُحَمَّدٍ وَعَلَى آلِ مُحَمَّدٍ كَمَا بَارَكْتَ عَلَى إِبْرَاهِيمَ وَعَلَى آلِ إِبْرَاهِيمَ ، إِنَّكَ حَمِيدٌ مَجِيدٌ)) .

アッラーフンマ　サッリ　アラー　ムハンマディンワ　アラー　アーリ　ムハンマドゥ。カマー　サッライタ　アラー　イブラーヒーマ　ワ　アラー　アーリ　イブラーヒーマ、インナカ　ハミードゥン

マジードゥ。アッラーフンマ　バーリク　アラー　ムハンマディン　ワ　アラー　アーリ　ムハンマドゥ。カマー　バーラクタ　アラー　イブラーヒーマ　ワ　アラー　アーリ　イブラーヒーマ、インナカ　ハミードゥン　マジードゥ。

「アッラーよ、あなたがイブラーヒームと彼の一族に栄光をお与えになったように、ムハンマドとムハンマドの一族にも栄光をお与え下さい。あなたこそ全ての讃美と栄光の主です。アッラーよ、あなたがイブラーヒームと彼の一族を祝福されたように、ムハンマドとムハンマドの一族を祝福して下さい。あなたこそ全ての讃美と栄光の主です。」

٥٤-((اللَّهُمَّ صَلِّ عَلى مُحَمَّدٍ وَعَلَى أَزْوَاجِهِ وَذرِّيَّتِهِ ، كَمَا صَلَّيْتَ عَلَى آلِ إِبْرَاهِيمَ ، وَبَارِكْ عَلَى مُحَمَّدٍ وَعَلَى أَزْوَاجِهِ وَذُرِّيَّتِهِ ، كَمَا بَارَكْتَ عَلَى آلِ إِبْرَاهِيمَ ، إِنَّكَ حَمِيدٌ مَجِيدٌ)) .

アッラーフンマ　サッリ　アラー　ムハンマディン　ワ　アラー　アズワージヒ　ワ　ズッリーヤティヒ。カマー　サッライタ　アラー　アーリ　イブラーヒーム。ワ　バーリク　アラー　ムハンマディン　ワ　アラー　アズワージヒ　ワ　ズッリーヤティヒ。カマー　バーラクタ　アラー　アーリ　イブラーヒー

ム。インナカ　ハミードゥン　マジードゥ。

「アッラーよ、あなたがイブラーヒームと彼の一族に栄光をお与えになったように、ムハンマドとムハンマドの妻たちと子孫たちに栄光をお与え下さい。アッラーよ、あなたがイブラーヒームと彼の一族を祝福したように、ムハンマドとムハンマドの妻たちと子孫たちを祝福して下さい。あなたこそ全ての讃美と栄光の主です。」

24. サラーム[①]の前の最後のタシャッフド後のドアー

٥٥-((اللَّهُمَّ إِنِّي أعُوذ بِكَ مِنْ عَذابِ القَبْرِ ، وَمِنْ عَذابِ جَهَنَّمَ ، وَمِنْ فِتْنَةِ المَحْيَا وَالمَمَاتِ ، وَمِنْ شَرِّ فِتْنَةِ المَسِيحِ الدَّجَّالِ)) .

アッラーフンマ　インニー　アウーズ　ビカ　ミン　アザービルカブル。ワ　ミン　アザービ　ジャハンナム。ワ　ミン　フィトゥナティルマハヤー　ワルママートゥ。ワ　ミン　シャッリ　フィトゥナティルマスィーヒッダッジャール。

「アッラーよ、私はあなたに墓の懲罰、地獄の懲罰、生と死の試練、偽メシアの災難からのご加護を願います。」

---

① 訳者注：礼拝の締めくくりの時の動作。タスリームのこと。

٥٦-((اللَّهُمَّ إنِّي أعُوذ بِكَ مِنْ عَذابِ القَبْرِ ، وَأعُوذ بِـكَ مِـنْ فِتْنَـةِ المَسِـيحِ الدَّجَّالِ ، وَأعُوذ بِكَ مِنْ فِتْنَةِ المَحْيَا وَالمَمَاتِ . اللَّهُمَّ إنِّي أعُوذ بِكَ مِـنْ المَـأْثَمِ وَالمَغْرَمِ)) .

アッラーフンマ　インニー　アウーズ　ビカ　ミン　アザービルカブル。ワ　アウーズ　ビカ　ミン　フィトゥナティルマスィーヒッダッジャール。ワ　アウーズ　ビカ　ミン　フィトゥナティルマハヤーワルママートゥ。アッラーフンマ　インニー　アウーズ　ビカ　ミナルマアサミ　ワルマグラム。

「アッラーよ、私はあなたに墓の懲罰、偽メシアからの災難、生と死の試練からのご加護を求めます。アッラーよ、私はあなたに罪を犯すことと負債からのご加護を求めます。」

٥٧-((اللَّهُمَّ إنِّي ظَلَمْتُ نَفْسِي ظُلْماً كَثيراً ، وَلا يَغفِرُ الـذنُوبَ إلا أنـتَ ، فَاغفِرْ لِي مَغفِرَةً مِنْ عِنْدِكَ وَارْحَمْنِي إنّكَ أنتَ الغَفورُ الرَّحيمُ)) .

アッラーフンマ　インニー　ザラムトゥ　ナフスィー　ズルマン　カスィーラン、ワ　ラー　ヤグフィルッズヌーバ　イッラー　アントゥ。ファグフィルリー　マグフィラタン　ミン　インディカ　ワルハムニー、インナカ　アンタルガフールッラヒーム。

「アッラーよ、私は自分自身に沢山の不正を働きました。そして罪を赦されるお方は、あなたをおいて他にありません。ですから私を赦し、私にご慈悲を垂れて下さい。あなたこそよく赦すお方、慈悲深きお方であられます。」

٥٨-((اللَّهُمَّ اغْفِرْ لِي مَا قَدَّمْتُ ، وَمَا أَخَّرْتُ ، وَمَا أَسْرَرْتُ ، وَمَا أَعْلَنْـتُ ، وَمَا أَسْرَفْتُ ، وَمَا أَنتَ أَعْلَمُ بِهِ مِنِّي . أَنتَ الْمُقَدِّمُ ، وَأَنتَ الْمُـؤَخِّرُ لا إِلـهَ إِلا أَنتَ)) .

アッラーフンマグフィル　リー　マー　カッダムトゥ、ワ　マー　アッハルトゥ、ワ　マー　アスラルトゥ、ワ　マー　アァラントゥ、ワ　マー　アスラフトゥ、ワ　マー　アンタ　アァラム　ビヒ　ミンニー。アンタルムカッディム　ワ　アンタルムアッヒル　ラー　イラーハ　イッラー　アントゥ。

「アッラーよ、私が既に犯してしまった、そしてこれから犯すであろう過ちをお赦し下さい。また私が密に、露わに犯した過ちと私の行き過ぎ、そしてあなたが私よりもそれらをよくご存知であるところの私の罪をお赦し下さい。あなたこそ事を先立たせ、遅らせるお方。あなた以外に真に崇拝すべきものはありません。」

٥٩-((اللَّهُمَّ أعِنّي عَلَى ذِكْرِكَ ، وَشُكْرِكَ ، وَحُسْنِ عِبَادَتِكَ)) .

アッラーフンマ　アインニー　アラー　ズィクリカ、ワ　シュクリカ、ワ　フスニ　イバーダティク。

「アッラーよ、あなたを唱念すること、あなたへの感謝、あなたをよく崇拝することにおいて私に力をお貸し下さい。」

٦٠-((اللَّهُمَّ إنِّي أعُوذُ بكَ مِنَ البُخْلِ ، وَأعُوذ بِكَ مِنَ الجُبْنِ ، وَأعُوذُ بِكَ مِنْ أنْ أُرَدَّ إلَى أرْذَلِ العُمْرِ ، وَأَعُوذُ بِكَ مِنْ فِتْنَةِ الدُّنْيَا وَعَذابِ القَبْرِ)) .

アッラーフンマ　インニー　アウーズ　ビカ　ミナルブフル。ワ　アウーズ　ビカ　ミナルジュブン。ワ　アウーズ　ビカ　ミン　アン　ウラッダ　イラー　アルザリルウムル。ワ　アウーズ　ビカ　ミン　フィトゥナティッドゥンヤー　ワ　アザービルカブル。

「アッラーよ、私はあなたに吝嗇と臆病、厭わしい年齢に戻らされること[①]、そして現世の試練と墓の懲罰からのご加護を求めます。」

٦١-((اللَّهُمَّ إنِّي أَسْأَلُكَ الجَنَّةَ وَأَعُوذُ بِكَ مِنَ النَّارِ)).

アッラーフンマ　インニー　アスアルカルジャンナ

[①] 訳者注：老衰して身体的に脆弱で知性も衰えた、幼児期のような状態に舞い戻ること。

タ　ワ　アウーズ　ビカ　ミナンナール。

「アッラーよ、私はあなたに天国を請い願い、あなたに地獄の業火からのご加護を求めます。」

٦٢-((اللَّهُمَّ بِعِلْمِكَ الغَيْبِ وَقُدْرَتِكَ عَلَى الخَلْقِ أَحْيِنِي مَا عَلِمْتَ الحَيَاةَ خَيْراً لِي وَتَوَفَّنِي إِذَا عَلِمْتَ الوَفَاةَ خَيْراً لِي ، اللَّهُمَّ إِنِّي أَسْأَلُكَ خَشْيَتَكَ فِي الغَيْبِ وَالشَّهَادَةِ ، وَأَسْأَلُكَ كَلِمَةَ الحَقِّ فِي الرِّضَا وَالغَضَبِ ، وَأَسْأَلُكَ القَصْدَ فِي الغِنَى وَالفَقْرِ ، وَأَسْأَلُكَ نَعِيماً لا يَنْفَدُ ، وَأَسْأَلُكَ قُرَّةَ عَيْنٍ لا تَنْقَطِعُ، وَأَسْأَلُكَ الرِّضَا بَعْدَ القَضَاءِ ، وَأَسْأَلُكَ بَرْدَ العَيْشِ بَعْدَ المَوْتِ ، وَأَسْأَلُكَ لَذَّةَ النَّظَرِ إِلَى وَجْهِكَ وَالشَّوْقَ إِلَى لِقَائِكَ فِي غَيْرِ ضَرَّاءَ مُضِرَّةٍ وَلا فِتْنَةٍ مُضِلَّةٍ، اللَّهُمَّ زَيِّنَّا بِزِينَةِ الإِيمَانِ وَاجْعَلْنَا هُدَاةً مُهْتَدِينَ)) .

アッラーフンマ　ビイルミカルガイバ　ワ　クドゥラティカ　アラルハルキ　アハイニー　マー　アリムタルハヤータ　ハイラッリー。ワ　タワッファニー　イザー　アリムタルワファータ　ハイラッリー。アッラーフンマ　インニー　アスアルカ　ハシヤタカ　フィルガイビ　ワッシャハーダ。ワ　アスアルカ　カリマタルハッキ　フィッリダー　ワルガダブ。ワ　アスアルカルカスダ　フィルギナー　ワルファクル。ワ　アスアルカ　ナイーマッラー　ヤンファドゥ。ワ　アスアルカ　クッラタ　アイニッラー

タンカティィゥ。ワ　アスアルカッリダー　バァダルカダー。ワ　アスアルカ　バルダルアイシ　バァダルマウトゥ。ワ　アスアルカ　ラッザタンナザリイラー　ワジュヒカ　ワッシャウカ　イラー　リカーイカ　フィー　ガイリ　ダッラーア　ムディッラティン　ワ　ラー　フィトゥナティン　ムディッラ。アッラーフンマ　ザイインナー　ビズィーナティルイーマーニ　ワジュアルナー　フダータン　ムフタディーン。

「アッラーよ、不可視なる世界を知るあなたの知識によって、創造の力によって、私にとって生が良いとご判断される限り私を生かせて下さい。そしてもし私にとって死が良いとご判断されるならば、私を死なせて下さい。アッラーよ、私は不可視なる世界と可視なる世界においてあなたを畏れる事を求めます。そして満足においても怒りにおいても真理の言葉を求めます。そして裕福さにおいても貧しさにおいても控えめであることを求めます。私は絶えることのない恩恵を求め、不断の喜びを請い願います。そして既に定められた運命に対しての満足を、死後の（天国での）涼しい生活を、あなたのお顔を拝見

する喜びと、害する者の害悪と迷妄の災難を被ることなくあなたに謁見することへの切望を求めます。アッラーよ、信仰という宝飾によって私を飾り、私たちを導き導かれる者として下さい。」

٦٣-((اللَّهُمَّ إِنِّي أَسْأَلُكَ يَا اللهُ بِأَنَّكَ الوَاحِدُ الأَحَدُ الصَّمَدُ الذي لَمْ يَلِدْ وَلَمْ يُولَدْ وَلَمْ يَكُنْ لَهُ كُفُواً أَحَدٌ ، أَنْ تَغْفِرَ لِي ذُنُوبِي إِنَّكَ أنتَ الغَفُورُ الرَّحِيمُ)) .

アッラーフンマ　インニー　アスアルカ　ヤー　アッラーフ　ビアンナカルワーヒドゥルアハドゥッサマドゥッラズィー　ラム　ヤリドゥ　ワ　ラム　ユーラドゥ　ワ　ラム　ヤクッラフ　クフワン　アハドゥン、アン　タグフィラ　リー　ズヌービー。インナカ　アンタルガフールッラヒーム。

「生むことも生まれることもなく、比べ得る何者もなく、唯一で自存されるアッラーよ、私はあなたに私の罪を赦して下さることを求めます。実にあなたこそよく赦される慈悲深き方であられます。」

٦٤-((اللَّهُمَّ إِنِّي أَسْأَلُكَ بِأَنَّ لَكَ الحَمْدَ لا إلهَ إلا أنتَ وَحْدَكَ لا شَرِيكَ لَكَ، المَنَّانُ يَا بَدِيعَ السَّمَاوَاتِ وَالأَرْضِ يَا ذَا الجَلالِ وَالإِكْرَامِ ، يَا حَيُّ يَا قَيُّومِ إِنِّي أَسْأَلُكَ الجَنَّةَ وَأَعُوذُ بِكَ مِنَ النَّارِ)) .

アッラーフンマ　インニー　アスアルカ　ビアンナ

ラカルハムダ　ラー　イラーハ　イッラー　アンタ ワハダカ　ラー　シャリーカ　ラク。アルマンナーヌ、ヤー　バディーアッサマーワーティ　ワルアルドゥ。　ヤー　ザルジャラーリ　ワルイクラーム。ヤー　ハイユ　ヤー　カイユーム。インニー　アスアルカルジャンナタ　ワ　アウーズ　ビカ　ミナンナール。

「アッラーよ、あなたにこそ賞賛があり、あなた以外に真に崇拝すべきものはなく、他に並ぶものもないお方。恵み深きお方、天地の創造者、崇高さと栄誉の主、永遠に生き、自存されるお方。私はあなたに天国を希求し、地獄の業火からのご加護を求めます。」

٦٥-((اللَّهُمَّ إِنِّي أَسْأَلُكَ بِأَنِّي أَشْهَدُ أَنَّكَ أنتَ اللهُ لا إلهَ إلا أنتَ الأحَدُ الصَّمَدُ الذِي لَمْ يَلِدْ وَلَمْ يُولَدْ وَلَمْ يَكُنْ لَهُ كُفُواً أَحَدٌ)) .

アッラーフンマ　インニー　アスアルカ　ビアンニー　アシュハドゥ　アンナカ　アンタッラーフ　ラー　イラーハ　イッラー　アンタルアハドゥッサマドゥッラズィー　ラム　ヤリドゥ　ワ　ラム　ユーラドゥ　ワ　ラム　ヤクッラフー　クフワン　アハドゥ。

「アッラーよ、生むことも生まれることもなく、比べ得る何者もなく、唯一で自存されるあなた以外に真に崇拝すべきものはないことを私は証言します。」

25. 礼拝のサラーム後のズィクル

٦٦-((أَسْتَغْفِرُ اللهَ (ثَلاثاً)اللَّهُمَّ أَنْتَ السَّلامُ وَمِنْكَ السَّلامِ، تَبَارَكْتَ يَا ذَا الجَلالِ وَالإِكْرَامِ)) .

アスタグフィルッラー(×3 回)。アッラーフンマ　アンタッサラーム、ワ　ミンカッサラーム、タバーラクタ　ヤー　ザルジャラーリ　ワルイクラーム。

「私はアッラーにお赦しを請います(×3 回)。アッラーよ、あなたこそが平安の主で、平安はあなたからのものです。崇高さと栄誉の主に称えあれ。」

٦٧-((لا إِلَهَ إِلا اللهُ وَحْدَهُ لا شَرِيكَ لَهُ ، لَهُ المُلْكُ وَلَهُ الحَمْدُ وَهُوَ عَلَى كُلِّ شَيْءٍ قَدِيرٌ ، اللَّهُمَّ لا مَانِعَ لِمَا أَعْطَيْتَ ، وَلا مُعْطِيَ لِمَا مَنَعْتَ ، وَلا يَنْفَعُ ذَا الجَدِّ مِنْكَ الجَدُّ)) .

ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ワハダフ　ラー　シャリーカ　ラフ、ラフルムルク　ワ　ラフルハムドゥ　ワ　フワ　アラー　クッリ　シャイイン　カディール。アッラーフンマ　ラー　マーニア　リマー　アァタイタ、ワ　ラー　ムゥティヤ　リマー

マナァタ、ワ　ラー　ヤンファウ　ザルジャッディミンカルジャッドゥ。

「唯一で並ぶ者無きお方、アッラー以外に真に崇拝すべきものはいません。主権と讃美はかれの御許にあり、かれは全能のお方です。アッラーよ、あなたが与えたものを禁じる者はなく、あなたが禁じれば他に与える者はおりません。（現世における）どんな優れた境遇も、あなたの御許での真の幸福を益することはありません。[①]」

٦٨-((لا إلهَ إلا اللهُ وَحْدَهُ لا شَرِيكَ لَهُ ، لَهُ الْمُلْكُ وَلَهُ الحَمْدُ وَهُوَ عَلَى كُلِّ شَىْءٍ قَدِيرٌ ، لا حَوْلَ وَلا قُوَّةَ إلا بِالله ، لا إلهَ إلا اللهُ ، وَلا نَعْبُدُ إلا إِيَاهُ ، لَهُ النِّعْمَةُ وَلَهُ الفَضْلُ وَلَهُ الثَّنَاءُ الحَسَنُ ، لا إلهَ إلا اللهُ مُخْلِصِينَ لَهُ الدِّينَ وَلَوْ كَرِهَ الكَافِرُونَ)) .

ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ワハダフ　ラー　シャリーカ　ラフ、ラフルムルク、ワ　ラフルハムドゥ　ワ　フワ　アラー　クッリ　シャイン　カディール。ラー　ハウラ　ワ　ラー　クウワタ　イッラー　ビッラー。ラー　イラーハ　イッラッラーフ、ワ　ラー　ナァブドゥ　イッラー　イーヤーフ。ラ

[①]訳者注：46 頁の脚注①参照のこと。

フンニァマトゥ　ワ　ラフルファドゥル　ワラフッサナーウルハサン。ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ムフリスィーナ　ラフッディーナ　ワ　ラウカリハルカーフィルーン。

「唯一で並ぶ者無きお方、アッラー以外に真に崇拝すべきものはいません。主権と讃美はかれの御許にあり、かれは全能のお方です。至高至大のアッラーの他にいかなる威力も強大なるものもありません。アッラー以外に真に崇拝すべきものはなく、私たちはかれ以外を崇拝しません。恩恵と超越性はかれにこそ属し、そしてかれにこそよき誉れがあります。アッラー以外に真に崇拝すべきものはいません。例え不信者たちが忌み嫌おうとも、私たちはアッラーに誠意を尽して仕えます。」

٦٩-((سُبْحَانَ الله ، وَالحَمْدُ لله ، وَاللهُ أَكْبَرُ(ثلاثاً وَثلاثِين)لا إلـهَ إلا اللهُ وَحْدَهُ لا شَرِيكَ لَهُ ، لَهُ المُلْكُ وَلَهُ الحَمْدُ ، وَهُوَ عَلَى كُلِّ شَيْءٍ قَدِيرٌ)) .

スブハーナッラーヒ、ワルハムドゥ　リッラーヒ、ワッラーフ　アクバル（×33 回）。ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ワハダフ　ラー　シャリーカ　ラフ、ラフルムルク　ワ　ラフルハムドゥ　ワ　フワアラー　クッリ　シャイイン　カディール。

「アッラーに称えあれ、そしてアッラーにこそ全ての賞賛があり、アッラーは偉大です（各 33 回)。唯一で並ぶ者無きお方、アッラー以外に真に崇拝すべきものはありません。主権と讃美はかれの御許にあり、かれは全能のお方です。」

٧٠-بِسْمِ اللهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ﴿قُلْ هُوَ اللهُ أَحَدٌ*اللهُ الصَّمَدُ*لَمْ يَلِدْ وَلَمْ يُولَدْ*وَلَمْ يَكُن لَّهُ كُفُوًا أَحَد﴾ .

بِسْمِ اللهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ﴿قُلْ أَعُوذُ بِرَبِّ الْفَلَقِ*مِن شَرِّ مَا خَلَقَ*وَمِن شَرِّ غَاسِقٍ إِذَا وَقَبَ*وَمِن شَرِّ النَّفَّاثَاتِ فِي الْعُقَدِ*وَمِن شَرِّ حَاسِدٍ إِذَا حَسَدَ﴾ .

بِسْمِ اللهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ﴿قُلْ أَعُوذُ بِرَبِّ النَّاسِ*مَلِكِ النَّاسِ*إِلَهِ النَّاسِ*مِن شَرِّ الْوَسْوَاسِ الْخَنَّاسِ* الَّذِي يُوَسْوِسُ فِي صُدُورِ النَّاسِ*مِنَ الْجِنَّةِ وَ النَّاسِ﴾ .

ビスミッラーヒッラハマーニッラヒーム『クルフワッラーフ　アハドゥ＊アッラーフッサマドゥ＊ラム　ヤリドゥ　ワ　ラム　ユーラドゥ　＊ワ　ラム　ヤクッラフ　クフワン　アハドゥ』

ビスミッラーヒッラハマーニッラヒーム『クルアウーズ　ビラッビルファラク＊ミン　シャッリマー　ハラク＊ワ　ミン　シャッリ　ガースィキンイザー　ワカブ＊ワ　ミン　シャッリンナッファー

サーティ　フィルウカドゥ＊ワ　ミン　シャッリハースィディン　イザー　ハサドゥ』

ビスミッラーヒッラハマーニッラヒーム『クルアウーズ　ビラッビンナース＊マリキンナース＊イラーヒンナース＊ミン　シャッリルワスワースィルハンナース＊アッラズィー　ユワスウィス　フィースドゥーリンナース＊ミナルジンナティ　ワンナース』（各礼拝後に言う）

「慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。『言え、《かれはアッラー、唯一なる御方。＊ アッラーは、自存される御方。＊ 御産みなさらないし、御産れになられたのでもない。 ＊かれに比べ得る何ものもない。》』【純正章：1～4】慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。『言え，《黎明の主にご加護を乞う。＊かれが創られるものの悪から。＊更けゆく夜の闇の悪から。＊結び目に息を吹き込む女たちの悪から。[1]＊ また、嫉妬する者の嫉妬の悪から。》』【黎明章：1～5】慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。『言え、《ご加護を乞う、人間

[1] 訳者注：当時の呪術の典型的な形として、縄に結び目を施し、そこに息を吹き込むものがありました。

の主に。＊ 人間の王、＊人間の崇拝するお方に。＊頻繁に忍び込んでは囁きかける者の悪から。＊それは人間の胸に囁きかける。＊ジンであろうと、人間であろうと。》』【人間章：1～6】

٧١- ﴿اللهُ لاَ إِلَـهَ إِلاَّ هُوَ الْحَيُّ الْقَيُّومُ لاَ تَأْخُذُهُ سِنَةٌ وَلاَ نَوْمٌ لَّهُ مَا فِي السَّمَاوَاتِ وَمَا فِي الأَرْضِ مَن ذَا الَّذِي يَشْفَعُ عِنْدَهُ إِلاَّ بِإِذْنِهِ يَعْلَمُ مَا بَيْنَ أَيْدِيهِمْ وَمَا خَلْفَهُمْ وَلاَ يُحِيطُونَ بِشَيْءٍ مِّنْ عِلْمِهِ إِلاَّ بِمَا شَاء وَسِعَ كُرْسِيُّهُ السَّمَاوَاتِ وَالأَرْضَ وَلاَ يَؤُودُهُ حِفْظُهُمَا وَهُوَ الْعَلِيُّ الْعَظِيمُ﴾ .

『アッラーフ　ラー　イラーハ　イッラー　フワルハイユルカイユーム。　ラー　タアフズフ　スィナトゥン　ワ　ラー　ナウム。ラフ　マー　フィッサマーワーティ　ワ　マー　フィルアルドゥ。マンザッラズィー　ヤシュファウ　インダフ　イッラービイズニヒ。ヤァラム　マー　バイナ　アイディーヒム　ワ　マー　ハルファフム。ワ　ラー　ユヒートゥーナ　ビシャイイン　ミン　イルミヒ　イッラー　ビマー　シャー。　ワスィア　クルスィーユフッサマーワーティ　ワルアルダ　ワ　ラー　ヤウードゥフ　ヒフズフマー。ワ　フワルアリーユルアズィーム』（各礼拝後に言う）

「アッラー、かれはかれの他に真に崇拝すべきもの

はなく、永生し自存される御方。まどろみも熟睡も、かれをとらえることはない。天にあり地にある全てのものは、かれのものである。かれのお許しなくして、誰がかれの御許で執り成すことが出来ようか。かれは（人々の）以前のことも以後のことをも知っておられる。かれの御意に適ったことの他、彼らはかれの御知識に就いて、何も会得するところはないのである。かれの玉座は、全ての天と地を覆って広がり、この 2 つを守って、疲れも覚えられない。かれは至高にして至大であられる。」【雌牛章：255】

٧٢-((لا إلهَ إلا اللهُ وَحْدَهُ لا شَرِيكَ لَهُ، لَهُ المُلْكُ وَلَهُ الحَمْدُ يُحْيِي وَيُمِيتُ، وَهُوَ عَلَى كُلِّ شَيْءٍ قَدِيرٌ)) .

ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ワハダフ　ラー　シャリーカ　ラフ、ラフルムルク　ワ　ラフルハムドゥ　ユフイー　ワ　ユミートゥ　ワ　フワ　アラー　クッリ　シャイイン　カディール。（マグリブとファジュルの礼拝後 10 回言う）

「唯一で並ぶ者無きお方、アッラー以外に真に崇拝すべきものはなし。主権と讃美はかれにこそ属します。かれは生と死を与えるお方。そしてかれこそは全能のお方です。」

٧٣-((اللَّهُمَّ إِنِّي أَسْأَلُكَ عِلْماً نَافِعاً ، وَرِزْقاً طَيِّباً ، وَعَمَلا مُتَقَبَّلا)).

アッラーフンマ　インニー　アスアルカ　イルマン　ナーフィアー。ワ　リズカン　タイイバー。ワ　アマラン　ムタカッバラー。（ファジュルの礼拝後サラームの後に言う）

「アッラーよ、私はあなたに有益な知識を、よい糧を、そして（アッラーに）受け入れられる行為を求めます。」

26. *イスティハーラ*の礼拝[1]のドアー

٧٤-اللَّهُمَّ إِنِّي أَسْتَخِيرُكَ بِعِلْمِكَ، وَأَسْتَقْدِرُكَ بِقُدْرَتِكَ، وَأَسْأَلُكَ مِنْ فَضْلِكَ الْعَظِيمِ، فَإِنَّكَ تَقْدِرُ وَلاَ أَقْدِرُ، وَتَعْلَمُ وَلاَ أَعْلَمُ، وَأَنْتَ عَلاَّمُ الْغُيُوبِ. اللهم إِنْ كُنْتَ تَعْلَمُ أَنَّ هٰذَا الأَمْرَ خَيْرٌ لِي فِي دِينِي وَمَعَاشِي وَعَاقِبَةِ أَمْرِي (أَوْ قَالَ : عَاجِلِه وَآجِلِهِ) ، فَاقْدُرْهُ لِي وَيَسِّرْهُ لِي، ثُمَّ بَارِكْ لِي فِيهِ، وَإِنْ كُنْتَ تَعْلَمُ أَنَّ هٰذَا الأَمْرَ شَرٌّ لِي فِي دِينِي وَمَعَاشِي وَعَاقِبَةِ أَمْرِي(أَوْ قَالَ : عَاجِله وَآجِلِهِ)،فَاصْرِفْهُ عَنِّي، وَاصْرِفْنِي عَنْهُ ، وَاقْدُرْ لِي الْخَيْرَ حَيْثُ كَانَ، ثُمَّ رَضِّنِي بِه .

アッラーフンマ　インニー　アスタヒールカ　ビイルミカ、ワ　アスタクディルカ　ビクドゥラティカ、

[1] 訳者注：何かを決断・選択する際に、アッラーに最善のものを請うための礼拝。

ワ　アスアルカ　ミン　ファドゥリカルアズィーム。ファインナカ　タクディル　ワ　ラー　アクディル、ワ　タァラム、ワ　ラー　アァラム、ワ　アンタ　アッラームルグユーブ。アッラーフンマ　イン　クンタ　タァラム　アンナ　ハーザルアムラ（ここで最善の決断や選択を求めるところの問題を述べる）ハイルッリー　フィー　ディーニー　ワ　マアーシー　ワ　アーキバティ　アムリー（あるいはこう言う：アージリヒ　ワ　アージリヒ）ファクドゥルフ　リー　ワ　ヤッスィルフ　リー　スンマ　バーリクリー　フィーヒ。ワ　イン　クンタ　タァラム　アンナ　ハーザルアムラ（ここで最善の決断や選択を求めるところの問題を述べる）シャッルッリー　フィー　ディーニー　ワ　マアーシー　ワ　アーキバティ　アムリー（あるいはこう言う：アージリヒ　ワ　アージリヒ）ファスリフフ　アンニー　ワスリフニー　アンフ。ワクドゥル　リヤルハイラ　ハイスカーナ　スンマ　ラッディニー　ビヒ。

　ジャービル　ブン　アブドゥッラー（彼らにアッラーのご満悦あれ）は次のように伝える：

「アッラーの使徒はクルアーンの章を私たちに教え

るように、全ての物事においてイスティハーラをすることを教えました。そして彼は仰るのでした。『もしあなた方が何かに迷ったら任意の 2 ラクアの礼拝をし、それからこう言うのだ：《アッラーよ、私はあなたの知識による選択を求めます。あなたのお力を求めます。私は偉大なるあなたの恩恵を求めます。あなたこそは何事も可能なお方で、私は無力です。あなたこそご存知で、私は無知です。あなたは不可視なる世界をご存知の御方です。アッラーよ、しかじか（ここで最善の決断や選択を求めるところの問題を述べる）が私の宗教と生活と事の結末にとって最善であるとご存知ならば（あるいは次のように言う：「私の現世と来世にとって最善であるとご存知ならば」）、私にそれを可能にし、容易くして下さい。それからそれにおいて私を祝福して下さい。そしてもししかじか（ここでまた最善の決断や選択を求めるところの問題を述べる）が私の宗教と生活と事の結末にとって悪いとご存知ならば（あるいはこう言う：「私の現世と来世にとって悪いとご存知ならば」）、それを私から遠ざけ、そして私をそれから遠ざけて下さい。そしてそれがどんなことであろうと、最善

の事を私に可能にして下さい。それからそれによって私を満足させて下さい。》』」

　創造主にイスティハーラし、信仰者たちに相談し、それから事を決定した者は後悔しない。至高のアッラーはこう仰せられた。

『そして諸事にわたり、彼らと相談しなさい。そして一旦決心したならば、アッラーに身を委ねなさい。』【イムラーン家章：159】

27. 朝・晩のズィクル

٧٥-((أَعُوذُ بِاللهِ مِنَ الشَّيْطَانِ الرَّجِيمِ﴿اللهُ لاَ إِلَـهَ إِلاَّ هُـوَ الْحَـيُّ الْقَيُّـومُ لاَ تَأْخُذُهُ سِنَةٌ وَلاَ نَوْمٌ لَّهُ مَا فِي السَّمَاوَاتِ وَمَـا فِي الأَرْضِ مَـن ذَا الَّـذِي يَشْـفَعُ عِنْدَهُ إِلاَّ بِإِذْنِهِ يَعْلَمُ مَا بَيْنَ أَيْدِيهِمْ وَمَا خَلْفَهُمْ وَلاَ يُحِيطُونَ بِشَيْءٍ مِّـنْ عِلْمِـهِ إِلاَّ بِمَا شَاء وَسِعَ كُرْسِيُّهُ السَّمَاوَاتِ وَالأَرْضَ وَلاَ يَؤُودُهُ حِفْظُهُمَا وَهُوَ الْعَـلِيُّ الْعَظِيمُ﴾)) .

アウーズ　ビッラーヒ　ミナッシャイターニッラジーム『アッラーフ　ラー　イラーハ　イッラー　フワルハイユルカイユーム。ラー　タアフズフ　スィナトゥン　ワ　ラー　ナウム。ラフ　マー　フィッサマーワーティ　ワ　マー　フィルアルドゥ。　マン　ザッラズィー　ヤシュファウ　インダフ　イッ

ラー　ビイズニヒ。　ヤァラム　マー　バイナ　アイディーヒム　ワ　マー　ハルファフム。ワ　ラー　ユヒートゥーナ　ビシャイン　ミン　イルミヒ　イッラー　ビマー　シャー。ワスィア　クルスィーユフッサマーワーティ　ワルアルダ　ワ　ラー　ヤウードフ　ヒフズフマー。ワ　フワルアリーユルアズィーム。』

「私はアッラーに呪われるべきシャイターンからのご加護を求めます。『アッラー、かれはかれの他に真に崇拝すべきものはなく、永生し自存される御方。まどろみも熟睡も、かれをとらえることはない。天にあり地にある全てのものは、かれのものである。かれのお許しなくして、誰がかれの御許で執り成すことが出来ようか。かれは（人々の）以前のことも以後のことをも知っておられる。かれの御意に適ったことの他、彼らはかれの御知識に就いて、何も会得するところはないのである。かれの玉座は、全ての天と地を覆って広がり、この 2 つを守って、疲れも覚えられない。かれは至高にして至大であられる。』」【雌牛章：255】

٧٦- بِسْمِ اللهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ﴿قُلْ هُوَ اللهُ أَحَدٌ*اللهُ الصَّمَدُ*لَمْ يَلِدْ وَلَمْ

يُولَدْ*وَلَمْ يَكُن لَّهُ كُفُوًا أَحَدٌ﴾ .

بِسْمِ اللهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ﴿قُلْ أَعُوذُ بِرَبِّ الْفَلَقِ*مِن شَرِّ مَا خَلَقَ*وَمِـن شَرِّ غَاسِقٍ إِذَا وَقَبَ*وَمِن شَرِّ النَّفَّاثَاتِ فِي الْعُقَدِ*وَمِن شَرِّ حَاسِدٍ إِذَا حَسَدَ﴾ .

بِسْمِ اللهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ﴿قُـلْ أَعُـوذُ بِـرَبِّ النَّـاسِ*مَلِـكِ النَّـاسِ*إِلَـهِ النَّاسِ*مِن شَرِّ الْوَسْوَاسِ الْخَنَّاسِ* الَّذِي يُوَسْوِسُ فِي صُدُورِ النَّاسِ * مِنَ الْجِنَّةِ وَ النَّاسِ ﴾ .

ビスミッラーヒッラハマーニッラーヒーム『クルフワッラーフ　アハドゥ＊アッラーフッサマドゥ＊ラム　ヤリドゥ　ワ　ラム　ユーラドゥ＊ワ　ラム　ヤクッラフ　クフワン　アハドゥ』

ビスミッラーヒッラハマーニッラヒーム『クルアウーズ　ビラッビルファラク＊ミン　シャッリマー　ハラク＊ワ　ミン　シャッリ　ガースィキンイザー　ワカブ＊ワ　ミン　シャッリンナッファーサーティ　フィルウカドゥ＊ワ　ミン　シャッリハースィディン　イザー　ハサドゥ』

ビスミッラーヒッラハマーニッラヒーム『クルアウーズ　ビラッビンナース＊マリキンナース＊イラーヒンナース＊ミン　シャッリルワスワースィルハンナース＊アッラズィー　ユワスウィス　フィー

スドゥーリンナース＊ミナルジンナティ　ワンナース』(×3 回)

「慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。『言え、《かれはアッラー、唯一なる御方。＊ アッラーは、自存される御方。＊ 御産みなさらないし、御産れになられたのでもない。 ＊かれに比べ得る何ものもない。》』 【純正章：1〜4】慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。『言え，《梨明の主にご加護を乞う。 ＊かれが創られるものの悪から。 ＊更けゆく夜の闇の悪から。＊結び目に息を吹き込む女たちの悪から。＊ また、嫉妬する者の嫉妬の悪から。》』【黎明章：1〜5】 慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。『言え、《ご加護を乞う、人間の主に。＊ 人間の王、＊人間の崇拝するお方に。＊頻繁に忍び込んでは囁きかける者の悪から。＊それは人間の胸に囁きかける。＊ジンであろうと、人間であろうと。》』【人間章：1〜6】

٧٧-((أَصْبَحْنَا وَأَصْبَحَ الْمُلْكُ لله وَالحَمْدُ لله ، لا إلهَ إلا اللهُ وَحْدَهُ لا شَرِيكَ لَهُ، لَهُ الْمُلْكُ وَلَهُ الحَمْدُ وَهُوَ عَلَى كُلِّ شَيْءٍ قَدِيرٌ ، رَبِّ أَسْأَلُكَ خَيْرَ مَا فِي هَذَا اليَوْمِ وَخَيْرَ مَا بَعْدَهُ ، وَأَعُوذُ بِكَ مِنْ شَرِّ مَا فِي هَذَا اليَوْمِ وَشَرِّ مَا بَعْدَهُ رَبِّ

أَعُوذُ بِكَ مِنَ الكَسَلِ ، وَسُوءِ الكِبَرِ ، رَبِّ أَعُـوذُ بِـكَ مِـنْ عَـذابِ فِي النَّـارِ وَعَذابِ فِي القَبْرِ)) .

アスバハナー　ワ　アスバハルムルク　リッラー（晩であれば：「アムサイナー　ワ　アムサルムルク　リッラー」と言う）。ワルハムドゥ　リッラー。ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ワハダフ　ラー　シャリーカ　ラフ。ラフルムルク　ワ　ラフルハムドゥ　ワ　フワ　アラー　クッリ　シャイイン　カディール。ラッビ　アスアルカ　ハイラ　マー　フィー　ハーザルヤウミ　ワ　ハイラ　マー　バァダフ（晩であれば：「マー　フィー　ハーズィヒッライリ　ワ　ハイラ　マー　バァダハー」と言う）。　ワ　アウーズビカ　ミン　シャッリ　マー　フィー　ハーザルヤウミ　ワ　シャッリ　マー　バァダフ（晩であれば：「マー　フィー　ハーズィヒッライリ　ワ　ハイラ　マー　バァダハー」と言う）。ラッビ　アウーズ　ビカミナルカサリ、ワ　スーイルキバル。ラッビ　アウーズ　ビカ　ミン　アザービン　フィンナーリ　ワ　アザービン　フィルカブル。

「主権と讃美がアッラーに帰属する中、私たちは朝（あるいは「晩」）を迎えました。唯一で並ぶ者無き

お方、アッラー以外に真に崇拝すべきものはありません。主権と讃美はかれの御許にあり、かれは全能のお方です。主よ、私はあなたに今日（あるいは「今晩」）の良いこととその後の良いことを求めます。そしてあなたに今日（あるいは「今晩」）の悪とその後の悪からのご加護を求めます。主よ、私はあなたに怠惰と老衰からのご加護を求めます。主よ、私はあなたに地獄の業火と墓の懲罰からのご加護を求めます。」

٧٨-((اللَّهُمَّ بِكَ أَصْبَحْنَا ، وَبِكَ أَمْسَيْنَا ، وَبِكَ نَحْيَا، وَبِكَ نَمُـوتُ وَإِلَيْـكَ النُّشُورُ)) .

アッラーフンマ　ビカ　アスバハナー。ワ　ビカ　アムサイナー。ワ　ビカ　ナハヤー、ワ　ビカ　ナムートゥ　ワ　イライカンヌシュール。

「アッラーよ、あなた（のご意志）により朝を迎えました。あなたにより夜を迎えました。あなたにより私たちは生き、あなたにより私たちは死にます。そして（死後蘇らされ）集められる先はあなたの御許です。」

٧٩-((اللَّهُمَّ أنتَ رَبِّي لا إلهَ إلا أنتَ ، خَلَقْتَنِي وَأنَا عَبْدُكَ ، وَأنَا عَلَى عَهْدِكَ

وَوَعْدِكَ مَا اسْتَطَعْتُ ، أَعُوذُ بِكَ مِنْ شَرِّ مَا صَنَعْتُ ، أَبُوءُ لَكَ بِنِعْمَتِكَ عَلَيَّ،
وَأَبُوءُ بِذَنْبِي فَاغْفِرْ لِي فَإِنَّهُ لا يَغْفِرُ الذُّنُوبَ إلا أنتَ)) .

アッラーフンマ　アンタ　ラッビー　ラー　イラーハ　イッラー　アントゥ。ハラクタニー　ワ　アナ　アブドゥク。ワ　アナ　アラー　アハディカ　ワ　ワァディカ　マスタタァトゥ。アウーズ　ビカ　ミン　シャッリ　マー　サナァトゥ。アブーウ　ラカ　ビニァマティカ　アライヤ、ワ　アブーウ　ビザンビー　ファグフィル　リー　ファインナフ　ラー　ヤグフィルッズヌーバ　イッラー　アンタ。

「アッラーよ、あなたは私の主であなたの他に真に崇拝すべきものはありません。あなたは私をあなたのしもべとして創造されました。私は出来る範囲であなたとの契約と約束を守ります。私はあなたに私の成した悪からのご加護を求めます。そして私に対するあなたの恩恵と私自身の罪を認めて、あなたの御許へ帰り行きます。ですから私を御赦し下さい。あなた以外に罪を赦される方はいません。」

٨٠-((اللَّهُمَّ إِنِّي أَصْبَحْتُ أُشْهِدُكَ وَأَشْهَدُ حَمَلَةَ عَرْشِكَ ، وَمَلائِكَتَكَ وَجَمِيعَ خَلْقِكَ ، أَنَّكَ أنتَ اللهُ لا إِلهَ إلا أنتَ وَحْدَكَ لا شَرِيكَ لَكَ ، وَأَنَّ

مُحَمَّداً عَبْدُكَ وَرَسُولُكَ)) .

アッラーフンマ　インニー　アスバハトゥ(晩だったら「アムサイトゥ」と言う)。 ウシュヒドゥカ　ワ　ウシュヒドゥ　ハマラタ　アルシカ、ワ　マラーイカタカ　ワ　ジャミーア　ハルキカ、アンナカ　アンタッラーフ　ラー　イラーハ　イッラー　アンタ　ワハダカ　ラー　シャリーカ　ラク。ワ　アンナ　ムハンマダン　アブドゥカ　ワ　ラスールク。(×4回)

「アッラーよ、私は朝を迎えました。(あるいは「晩を迎えました」) 私は、あなたがあなた以外に真に崇拝すべきものがない唯一の並ぶ者無きアッラーであり、ムハンマドがあなたのしもべでありあなたの使徒であるということを、あなたとあなたの玉座を支える天使たちとその他の天使たち、全てのあなたの創造物の証言でもって証言します。」

٨١-((اللَّهُمَّ مَا أَصْبَحَ بِي مِنْ نِعْمَةٍ أَوْ بِأَحَدٍ مِنْ خَلْقِكَ فَمِنْكَ وَحْدَكَ لا شَرِيكَ لَكَ ، فَلَكَ الحَمْدُ وَلَكَ الشُّكْرُ)) .

アッラーフンマ　マー　アスバハ　ビー(晩だったら「アムサー　ビー」と言う)　ミン　ニァマティン　アウ　ビアハディン　ミン　ハルキク。　ファミンカ

ワハダカ　ラー　シャリーカ　ラク。ファラカルハムドゥ　ワ　ラカッシュクル。

「アッラーよ、私あるいはあなたの創造物の誰かが朝（あるいは「晩」）を迎えた恩恵は、唯一で並ぶもの無きあなたからのものです。ですからあなたを讃美し、あなたに感謝します。」

٨٢-((اللَّهُمَّ عَافِنِي فِي بَدَنِي ، اللَّهُـمَّ عَـافِنِي فِي سَـمْعِي ، اللَّهُـمَّ عَـافِنِي فِي بَصَرِي ، لا إلهَ إلا أنتَ . اللَّهُمَّ إنِّي أَعُوذُ بِكَ مِنَ الكُفْـرِ ، وَالفَقْـرِ ، وَأَعُـوذُ بِكَ مِنْ عَذَابِ القَبْرِ ، لا إلهَ إلا أنتَ)) .

アッラーフンマ　アーフィニー　フィー　バダニー。アッラーフンマ　アーフィニー　フィー　サムイー。アッラーフンマ　アーフィニー　フィー　バサリー。ラー　イラーハ　イッラー　アントゥ。アッラーフンマ　インニー　アウーズ　ビカ　ミナルクフリ、ワルファクル。ワ　アウーズ　ビカ　ミン　アザービルカブル。ラー　イラーハ　イッラー　アントゥ。（×3回）

「アッラーよ、私の肉体を、聴覚を、視覚をお守り下さい。あなたの他に真に崇拝すべきものはありません。アッラーよ、私はあなたに不信仰からのご加護を求めます。そして墓の懲罰からのご加護を求め

ます。あなたの他に真に崇拝すべきものはありません。」

٨٣-((حَسْبِيَ اللهُ لا إلهَ إلا هُوَ عَلَيْهِ تَوَكَّلْتُ وَهُوَ رَبُّ العَرْشِ العَظِيمِ)) .

ハスビヤッラーフ　ラー　イラーハ　イッラー　フワ　アライヒ　タワッカルトゥ　ワ　フワ　ラッブルアルシルアズィーム。（×7回）

「私にはアッラーだけで充分です。かれの他に真に崇拝すべきものはありません。私はかれに身を委ねました。かれは偉大なる玉座の主であられます。」

٨٤-((اللَّهُمَّ إنِّي أَسْأَلُكَ العَفْوَ وَالعَافِيَةَ فِي الدُّنْيَا وَالآخِرَةَ ، اللَّهُمَّ إنِّي أَسْأَلُكَ العَفْوَ وَالعَافِيَةَ فِي دِينِي وَدُنْيَايَ وَأَهْلِي ، وَمَالِي ، اللَّهُمَّ اسْتُرْ عَوْرَاتِي ، وَآمِنْ رَوْعَاتِي ، اللَّهُمَّ احْفَظْنِي مِنْ بَيْنِ يَدَيَّ ، وَمِنْ خَلْفِي ، وَعَنْ يَمِينِي ، وَعَنِ شِمَالِي ، وَمِنْ فَوْقِي ، وَأَعُوذُ بِعَظَمَتِكَ أنْ أُغْتَالَ مِنْ تَحْتِي)) .

アッラーフンマ　インニー　アスアルカルアフワ　ワルアーフィヤタ　フィッドゥンヤー　ワルアーヒラ。アッラーフンマ　インニー　アスアルカルアフワ　ワルアーフィヤタ　フィー　ディーニー　ワ　ドゥンヤーヤ　ワ　アハリー、ワ　マーリー。アッラーフンマストゥル　アウラーティー、ワ　アーミン　ラウアーティー。アッラーフンマハファズニー

ミン　バイニ　ヤダイヤ、ワ　ミン　ハルフィー、ワ　アン　ヤミーニー、ワ　アン　シマーリー、ワ　ミン　ファウキー。ワ　アウーズ　ビアザマティカ　アン　ウグターラ　ミン　タハティー。

「アッラーよ、私はあなたに現世と来世におけるお赦しとご加護を願います。アッラーよ、私はあなたに私の宗教、現世、家族、財産においてお赦しとご加護を願います。アッラーよ、私の恥部を隠し、私の恐れをお沈め下さい。アッラーよ、私の前、後ろ、左右、上から私をお守り下さい。私はあなたの偉大さに、足元から崩壊させられることに対することからのご加護を求めます。」

٨٥-((اللَّهُمَّ عَالِمَ الغَيْبِ وَالشَّهَادَةِ فَاطِرَ السَّمَاوَاتِ وَالأَرْضِ ، رَبَّ كُلِّ شَيْءٍ وَمَلِيكَهُ ، أَشْهَدُ أَنْ لا إِلهَ إِلا أَنتَ ، أَعُوذُ بِكَ مِنْ شَرِّ نَفْسِي ، وَمِنْ شَرِّ الشَّيْطَانِ وَشِرْكِهِ ، وَأَنْ أَقْتَرِفَ عَلَى نَفْسِي سُوءاً ، أَوْ أَجُرَّهُ إِلَى مُسْلِمٍ)) .

アッラーフンマ　アーリマルガイビ　ワッシャハーダティ　ファーティラッサマーワーティ　ワルアルドゥ。ラッバ　クッリ　シャイイン　ワ　マリーカフ。アシュハドゥ　アッラー　イラーハ　イッラー　アントゥ。アウーズ　ビカ　ミン　シャッリ　ナフスィー、ワ　ミン　シャッリッシャイターニ　ワ

シルキヒ。ワ　アン　アクタリファ　アラー　ナフスィー　スーアン、アウ　アジュッラフ　イラー　ムスリム。

「アッラーよ、不可視なる世界と可視なる世界を知るお方よ、天地の創造主よ、万物の主・支配者よ、私はあなた以外に真に崇拝すべきものはないことを証言します。そして自分自身の悪、シャイターンと*シルク*[①]の悪から、あなたにご加護を求めます。そして自分自身を害すること、或いは誰か他のムスリムを害することからの庇護をあなたに求めます。」

٨٦-((بِسْمِ اللهِ الذِي لا يَضُرُّ مَعَ اسْمِهِ شَيْءٌ فِي الأَرْضِ وَلا فِي السَّمَاءِ وَهُوَ السَّمِيعُ العَلِيمُ)) .

ビスミッラーヒッラーズィー　ラー　ヤドゥッル　マアスミヒ　シャイウン　フィルアルディ　ワ　ラー　フィッサマー。ワ　フワッサミーウルアリーム。（×3 回）

「その御名とともにあれば、天地にあるいかなるものも害することのないアッラーの御名において。そしてかれは全てを聞き知るお方です。」

---

① 36 頁の訳注①を参照のこと。

٨٧-((رَضِيتُ بِاللهِ رَبًّا ، وَبِالإِسْلامِ دِيناً ، وَبِمُحَمَّدٍ صَلَّى اللهُ عَلَيْهِ وَسَلَّمَ نَبِياً)) .

ラディートゥ　ビッラーヒ　ラッバン、ワ　ビルイスラーミ　ディーナン、ワ　ビムハンマディン　ナビイヤー。（×３回）

「私はアッラーが主であり、イスラームが宗教であり、そしてムハンマドが使徒であることに満足しました。」

٨٨-((يَا حَيُّ يَا قَيُّومُ بِرَحْمَتِكَ أَسْتَغِيثُ أَصْلِحْ لِي شَأْنِي كُلَّهُ وَلا تَكِلْنِي إِلَى نَفْسِي طَرْفَةَ عَيْنٍ)) .

ヤー　ハイユ　ヤー　カイユーム。　ビラハマティカ　アスタギース　アスリフ　リー　シャアニークッラフ。ワ　ラー　タキルニー　イラー　ナフスィー　タルファタ　アイン。

「永遠に生き、自存するお方よ、私はあなたの慈悲によるお慰めを求めます。私に関する全ての物事を正し、私を一瞬たりとも見放さないで下さい。」

٨٩-((أَصْبَحْنَا وَأَصْبَحَ الْمُلْكُ للهِ رَبِّ الْعَالَمِينَ ، اللَّهُمَّ إِنِّي أَسْأَلُكَ خَيْرَ هَذَا الْيَوْمِ : فَتْحَهُ ، وَنَصْرَهُ وَنُورَهُ ، وَبَرَكَتَهُ ، وَهُدَاهُ ، وَأَعُوذُ بِكَ مِنْ شَرِّ مَا فِيهِ وَشَرِّ مَا بَعْدَهُ)) .

アスバハナー　ワ　アスバハルムルク（晩だったら「アムサイナー　ワ　アムサルムルク」と言う）リッラーヒ　ラッビルアーラミーン。アッラーフンマ　インニー　アスアルカ　ハイラ　ハーザルヤウミ（晩だったら「ハーズィヒッライリ」と言う）：ファトゥハフ、ワ　ナスラフ　ワ　ヌーラフ、ワ　バラカタフ、ワ　フダーフ。ワ　アウーズ　ビカ　ミン　シャッリ　マー　フィーヒ　ワ　シャッリ　マー　バァダフ（晩だったら「ファトゥハハー、ワ　ナスラハー　ワ　ヌーラハー、ワ　バラカタハー、ワ　フダーハー、ワ　アウーズ　ビカ　ミン　シャッリ　マー　フィーハー　ワ　シャッリ　マー　バァダハー」と言う）。

「私たちは朝（あるいは「晩」）を迎えました。主権は全世界の主アッラーのものです。アッラーよ、私はあなたに今日（あるいは「今晩」）の良いこと：勝利、援助、光、祝福、導きを求めます。そして私はあなたに今日（あるいは「今晩」）とその後の悪からのご加護を求めます。」

٩٠-((أَصْبَحْنَا عَلَى فِطْرَةِ الإِسْلامِ وَعَلَى كَلِمَةِ الإِخْلاصِ ، وَعَلَى دِينِ نَبِيِّنَا مُحَمَّدٍ صَلَّى اللهُ عَلَيْهِ وَسَلَّمَ ، وَعَلَى مِلَّةِ أَبِينَا إِبْرَاهِيمَ ، حَنِيفاً مُسْلِمًا وَمَا كَانَ مِنَ الْمُشْرِكِينَ)).

アスバハナー　アラー　フィトゥラティルイスラーム。ワ　アラー　カリマティルイフラース。ワ　アラー　ディーニ　ナビーイナー　ムハンマディン　サッラッラーフ　アライヒ　ワ　サッラム。ワ　アラー　ミッラティ　アビーナー　イブラーヒーマ　ハニーファン　ムスリマン　ワ　マー　カーナ　ミナルムシュリキーン。

「私たちはイスラームという天性のもとに、そして純正の言葉のもとに、そして私たちの預言者ムハンマド（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）の宗教と、純正なムスリムで*シルク*[①]を犯す者ではなかった私たちの祖イブラーヒームの宗教のもとに朝を迎えました。」

٩١-((سُبْحَانَ اللهِ وَبِحَمْدِهِ)) .

スブハーナッラーヒ　ワ　ビハムディヒ。(×100 回)

「アッラーよ、あなたに賞賛と讃美あれ。」

٩٢-((لا إلهَ إلا اللهُ وَحْدَهُ لا شَرِيكَ لَهُ ، لَهُ المُلْكُ وَلَهُ الحَمْدُ ، وَهُوَ عَلَى كُلِّ شَيْءٍ قَدِيرٌ)) .

---

① 36 頁の訳注①を参照のこと。

ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ワハダフ　ラー　シャリーカ　ラフ。ラフルムルク　ワ　ラフルハムドゥ。ワ　フワ　アラー　クッリ　シャイイン　カディール。（夜を迎えた時 10 回言う。そうできない時は 1 回言う）

「唯一で並ぶ者無きアッラー以外に崇拝されるべきものはありません。主権と讃美はかれにこそ属し、かれは全てにおいて全能です。」

٩٣–((لا إلهَ إلا اللهُ وَحْدَهُ لا شَرِيكَ لَهُ ، لَهُ الْمُلْكُ وَلَهُ الحَمْدُ ، وَهُوَ عَلَى كُلِّ شَيْءٍ قَدِيرٌ)) .

ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ワハダフ　ラー　シャリーカ　ラフ。ラフルムルク　ワ　ラフルハムドゥ。ワ　フワ　アラー　クッリ　シャイイン　カディール。（朝を迎えた時 100 回言う）

「唯一で並ぶ者無きアッラー以外に崇拝されるべきものはありません。主権と讃美はかれにこそ属し、かれは全てにおいて全能です。」

٩٤–((سُبْحَانَ اللهِ وَبِحَمْدِهِ : عَدَدَ خَلْقِهِ ، وَرِضَا نَفْسِهِ ، وَزِنَةَ عَرْشِهِ وَمِدَادَ كَلِمَاتِهِ)) .

スブハーナッラーヒ　ワ　ビハムディヒ：アダダハルキヒ、ワ　リダー　ナフスィヒ、ワ　ズィナタ

アルシヒ　ワ　ミダーダ　カリマーティヒ。（朝を迎えた時3回言う）

「創造物の数だけ、（アッラー）御自身の御満悦を得るまで、玉座の装飾の重さだけ、そして御言葉が書かれたインクの量だけ[1]私はアッラーを称賛し、アッラーを讃えます。」

٩٥-((اللَّهُمَّ إِنِّي أَسْأَلُكَ عِلْمًا نَافِعاً، وَرِزْقاً طَيِّباً ، وَعَمَلا مُتَقَبَّلا)) .

アッラーフンマ　インニー　アスアルカ　イルマン　ナーフィアー。ワ　リズカン　タイイバー。ワ　アマラン　ムタカッバラー。（朝を迎えた時）

「アッラーよ、私はあなたに有益な知識と良い糧、そしてあなたによって受け入れられる行為を求めます。」

٩٦-((أَسْتَغْفِرُ اللهَ وَأَتُوبُ إِلَيْهِ)) .

アスタグフィルッラーハ　ワ　アトゥーブ　イライヒ。（1日100回言う）

「私はアッラーにお赦しを求め、かれに心から悔悟します。」

٩٧-((أَعُوذُ بِكَلِمَاتِ اللهِ التَّامَاتِ مِنْ شَرِّ مَا خَلَقَ)) .

---

[1] 訳者注：つまりこれらに共通するものは、その数や量の限りなさです。

アウーズ　ビカリマーティッラーヒッターンマーティ　ミン　シャッリ　マー　ハラク。（夜を迎えた時に3回言う）

「私は完全なるアッラーの御言葉に、かれがお創りになった悪からのご加護を求めます。」

٩٨-((اللَّهُمَّ صَلِّ وَسَلِّمْ عَلَى نَبِينَا مُحَمَّدٍ)) .

アッラーフンマ　サッリ　ワ　サッリム　アラーナビーイナー　ムハンマドゥ。（×10回）

「アッラーよ、私たちの預言者ムハンマドに祝福と平安を与えたまえ。」

28. 就寝時のズィクル

٩٩- بِسْمِ اللهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ﴿قُلْ هُوَ اللهُ أَحَدٌ*اللهُ الصَّمَدُ*لَمْ يَلِدْ وَلَمْ يُولَدْ*وَلَمْ يَكُنْ لَّهُ كُفُوًا أَحَدٌ﴾ .

بِسْمِ اللهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ﴿قُلْ أَعُوذُ بِرَبِّ الْفَلَقِ*مِن شَرِّ مَا خَلَقَ*وَمِن شَرِّ غَاسِقٍ إِذَا وَقَبَ*وَمِن شَرِّ النَّفَّاثَاتِ فِي الْعُقَدِ*وَمِن شَرِّ حَاسِدٍ إِذَا حَسَدَ﴾ .

بِسْمِ اللهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ﴿قُلْ أَعُوذُ بِرَبِّ النَّاسِ*مَلِكِ النَّاسِ*إِلَهِ النَّاسِ*مِن شَرِّ الْوَسْوَاسِ الْخَنَّاسِ*الَّذِي يُوَسْوِسُ فِي صُدُورِ النَّاسِ*مِنَ الْجِنَّةِ وَ النَّاسِ﴾.

「（ドアーの時にするように）両手を合わせ、そこに息を吹きかけ、次の言葉を読む。

『ビスミッラーヒッラハマーニッラーヒーム《ク

ル　フワッラーフ　アハドゥ＊アッラーフッサマドゥ＊ラム　ヤリドゥ　ワ　ラム　ユーラドゥ＊ワラム　ヤクッラフ　クフワン　アハド》

**　ビスミッラーヒッラハマーニッラヒーム《クルアウーズ　ビラッビルファラク＊ミン　シャッリマー　ハラク＊ワ　ミン　シャッリ　ガースィキンイザー　ワカブ＊ワ　ミン　シャッリンナッファーサーティ　フィルウカドゥ＊ワ　ミン　シャッリハースィディン　イザー　ハサドゥ》**

**　ビスミッラーヒッラハマーニッラヒーム《クルアウーズ　ビラッビンナース＊マリキンナース＊イラーヒンナース＊ミン　シャッリルワスワースィルハンナース＊アッラズィー　ユワスウィス　フィースドゥーリンナース＊ミナルジンナティ　ワンナース》』それから頭・顔・そこから近い部分から始め、出来る限りの体の部分をその両手で撫でる。」（これを 3 回繰り返す）**

「慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。『言え、《かれはアッラー、唯一なる御方。＊ アッラーは、自存される御方。＊ 御産みなさらないし、御産れになられたのでもない。 ＊かれに比べ得る何

ものもない。》』【純正章：1～4】慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。『言え，《梨明の主にご加護を乞う。＊かれが創られるものの悪から。＊更けゆく夜の闇の悪から。＊結び目に息を吹き込む女たちの悪から。＊ また、嫉妬する者の嫉妬の悪から。》』【黎明章：1～5】慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。『言え、《ご加護を乞う、人間の主に。＊ 人間の王、＊人間の崇拝するお方に。＊頻繁に忍び込んでは囁きかける者の悪から。＊それは人間の胸に囁きかける。＊ジンであろうと、人間であろうと。》』【人間章：1～6】

١٠٠-﴿اللهُ لاَ إِلَـهَ إِلاَّ هُوَ الْحَيُّ الْقَيُّومُ لاَ تَأْخُذُهُ سِنَةٌ وَلاَ نَوْمٌ لَّهُ مَا فِي السَّمَاوَاتِ وَمَا فِي الأَرْضِ مَن ذَا الَّذِي يَشْفَعُ عِنْدَهُ إِلاَّ بِإِذْنِهِ يَعْلَمُ مَا بَيْنَ أَيْدِيهِمْ وَمَا خَلْفَهُمْ وَلاَ يُحِيطُونَ بِشَيْءٍ مِّنْ عِلْمِهِ إِلاَّ بِمَا شَاء وَسِعَ كُرْسِيُّهُ السَّمَاوَاتِ وَالأَرْضَ وَلاَ يَؤُودُهُ حِفْظُهُمَا وَهُوَ الْعَلِيُّ الْعَظِيمُ﴾ .

『アッラーフ　ラー　イラーハ　イッラー　フワルハイユルカイユーム。　ラー　タアフズフ　スィナトゥン　ワ　ラー　ナウム。ラフ　マー　フィッサマーワーティ　ワ　マー　フィルアルドゥ。マンザッラズィー　ヤシュファウ　インダフ　イッラービイズニヒ。ヤァラム　マー　バイナ　アイディー

ヒム　ワ　マー　ハルファフム。ワ　ラー　ユヒートゥーナ　ビシャイン　ミン　イルミヒ　イッラービマー　シャー。ワスィア　クルスィーユフッサマーワーティ　ワルアルダ　ワ　ラー　ヤウードフヒフズフマー。ワ　フワルアリーユルアズィーム。』
「アッラー、かれはかれの他に真に崇拝すべきものはなく、永生し自存される御方。まどろみも熟睡も、かれをとらえることはない。天にあり地にある全てのものは、かれのものである。かれのお許しなくして、誰がかれの御許で執り成すことが出来ようか。かれは（人々の）以前のことも以後のことをも知っておられる。かれの御意に適ったことの他、彼らはかれの御知識に就いて、何も会得するところはないのである。かれの玉座は、全ての天と地を覆って広がり、この 2 つを守って、疲れも覚えられない。かれは至高にして至大であられる。」【雌牛章：255】

١٠١ -﴿آمَنَ الرَّسُولُ بِمَا أُنزِلَ إِلَيْهِ مِن رَّبِّهِ وَالْمُؤْمِنُونَ كُلٌّ آمَنَ بِاللّهِ وَمَلآئِكَتِهِ وَكُتُبِهِ وَرُسُلِهِ لاَ نُفَرِّقُ بَيْنَ أَحَدٍ مِّن رُّسُلِهِ وَقَالُواْ سَمِعْنَا وَأَطَعْنَا غُفْرَانَكَ رَبَّنَا وَإِلَيْكَ الْمَصِيرُ ۞ لاَ يُكَلِّفُ اللّهُ نَفْسًا إِلاَّ وُسْعَهَا لَهَا مَا كَسَبَتْ وَعَلَيْهَا مَا اكْتَسَبَتْ رَبَّنَا لاَ تُؤَاخِذْنَا إِن نَّسِينَا أَوْ أَخْطَأْنَا رَبَّنَا وَلاَ تَحْمِلْ عَلَيْنَا

إِصْراً كَمَا حَمَلْتَهُ عَلَى الَّذِينَ مِن قَبْلِنَا رَبَّنَا وَلاَ تُحَمِّلْنَا مَا لاَ طَاقَةَ لَنَا بِهِ وَاعْفُ عَنَّا وَاغْفِرْ لَنَا وَارْحَمْنَآ أَنتَ مَوْلاَنَا فَانصُرْنَا عَلَى الْقَوْمِ الْكَافِرِينَ﴾ .

『アーマナッラスール　ビマー　ウンズィラ　イライヒ　ミッラッビヒ　ワルムウミヌーン。クッルン　アーマナ　ビッラーヒ　ワ　マラーイカティヒ　ワ　クトゥビヒ　ワ　ルスリヒ。ラー　ヌファッリク　バイナ　アハディン　ミッルスリヒ。ワ　カールー　サミァナー　ワ　アタァナー　グフラーナカ　ラッバナー　ワ　イライカルマスィール＊ラー　ユカッリフッラーフ　ナフサン　イッラー　ウスアハー。ラハー　マー　カサバトゥ　ワ　アライハー　マクタサバトゥ。ラッバナー　ラー　トゥアーヒズナー　イン　ナスィーナー　アウ　アフタアナー。ラッバナー　ワ　ラー　タハミル　アライナー　イスラン　カマー　ハマルタフ　アラッラズィーナ　ミン　カブリナー。　ラッバナー　ワ　ラー　トゥハンミルナー　マー　ラー　ターカタ　ラナー　ビヒ。ワァフ　アンナー　ワグフィル　ラナー　ワルハムナー　アンタ　マウラーナー　ファンスルナー　アラルカウミルカーフィリーン』

『使徒は、主から下されたものを信じる。信者たち

もまた同じである。(彼らは) 皆、アッラーと天使たち、諸啓典と使徒たちを信じる。「私たちは使徒たちの誰にも差別をつけない」(と言う)。また彼らは (祈って) 言う。《私たちは、(教えを) 聴き、服従します。主よ、あなたの御赦しを願います。(私たちの) 帰り所はあなたの御許であります。》*アッラーは誰にも、その能力以上のものを負わせられない。(人々は) 自分の稼いだもので (自分を) 益し、その稼いだもので (自分を) 損う。《主よ、私たちがもし忘れたり、過ちを犯すことがあっても咎めないで下さい。主よ、私たち以前の者に負わされたような重荷を、私たちに負わせないで下さい。主よ、私たちの力でかなわないものを, 担わせないで下さい。私たちの罪を消し、私たちを赦し、私たちに慈悲をおかけ下さい。あなたこそ私たちの庇護者であられます。不信心の徒に対し、私たちをお助け下さい。》』【雌牛章:285～286】

١٠٢ -((بِاسْمِكَ رَبِّي وَضَعْتُ جَنْبِي ، وَبِكَ أَرْفَعُهُ ، فَإِنْ أَمْسَكْتَ نَفْسِي فَارْحَمْهَا ، وَإِنْ أَرْسَلْتَهَا فَاحْفَظْهَا ، بِمَا تَحْفَظُ بِهِ عِبَادَكَ الصَّالِحِينَ)) .

ビスミカ　ラッビー　ワダァトゥ　ジャンビー、ワビカ　アルファウフ。ファ　イン　アムサクタ　ナ

フスィー　ファルハムハー。ワ　イン　アルサルタハー　ファハファズハー、ビマー　タハファズ　ビヒ　イバーダカッサーリヒーン。

「私の主であるあなたの御名において、私は体を横たえました。そしてあなたによって起き上がります。ですから、もしあなたが私の魂を（その死でもって）引きとめられるのなら、それにお慈悲をおかけ下さい。そしてもしそれを解き放って生き続けさせるというのなら、あなたの敬虔なしもべたちを守るところのものでもって、それをお守り下さい。」

١٠٣ –((اللَّهُمَّ إِنَّكَ خَلَقْتَ نَفْسِي وَأَنْتَ تَوَفَّاهَا ، لَكَ مَمَاتُهَا وَمَحْيَاهَا ، إِنْ أَحْيَيْتَهَا فَاحْفَظْهَا ، وَإِنْ أَمَتَّهَا فَاغْفِرْ لَهَا . اللهُمَّ إِنِّي أَسْأَلُكَ العَافِيَةَ)).

アッラーフンマ　インナカ　ハラクタ　ナフスィー　ワ　アンタ　タワッファーハー。ラカ　ママートゥハー　ワ　マハヤーハー。イン　アハヤイタハー　ファハファズハー。ワ　イン　アマッタハー　ファグフィル　ラハー。アッラーフンマ　インニー　アスアルカルアーフィヤ。

「アッラーよ、あなたこそ私の魂を創造され、そしてそれを死なせるお方です。生かすも殺すもあなた

次第です。もし生かして下さるのであれば、それをお守り下さい。もし御許へ召されるというのであれば、それをお赦し下さい。アッラーよ、私はあなたにご加護を求めます。」

١٠٤-((اللَّهُمَّ قِنِي عَذَابَكَ يَوْمَ تُبْعَثُ عِبَادَكَ)) .

アッラーフンマ　キニー　アザーバカ　ヤウマ　トゥブアス　イバーダク（×3回）

「アッラーよ、あなたのしもべが復活させられるその日、私をあなたの罰からお守り下さい。」

١٠٥-((بِاسْمِكَ اللَّهُمَّ أَمُوتُ وَأَحْيَا)) .

ビスミカッラーフンマ　アムートゥ　ワ　アハヤー。

「アッラーよ、あなたの御名において私は死に、そして生きます。」

١٠٦-((سُبْحَانَ اللهِ(ثَلاثاً وَثَلاثِينَ) وَالحَمْدُ للهِ(ثَلاثاً وَثَلاثِينَ)وَاللهُ أَكْبَرُ(أَرْبَعاً وَثَلاثِينَ)) .

スブハーナッラー（×33回）。ワルハムドゥ　リッラー（×33回）。ワッラーフ　アクバル（×34回）。

「アッラーに称えあれ（33回）。アッラーにこそ全ての賞讃あれ（33回）。アッラーは偉大なり（34回）。」

١٠٧-((اللَّهُمَّ رَبَّ السَّمَاوَاتِ السَّبْعِ وَرَبَّ العَرْشِ العَظِيمِ ، رَبَّنَا وَرَبَّ كُلِّ

شَيْءٍ ، فَالِقَ الحَبِّ وَالنَّوَى، وَمُنْزِلَ التَّوْرَاةِ وَالإنْجِيلِ،وَالفُرْقَانِ ، أَعُوذُ بِـكَ مِنْ شَرِّ كُلِّ شَيْءٍ أنتَ آخِذٌ بِنَاصِيَتِهِ .اللَّهُـمَّ أنـتَ الأَوَّلُ فَلَـيْس قَبْلَـكَ شَيْءٌ وَأَنْتَ الآخِرُ فَلَيْسَ بَعْدَكَ شَيْءٌ ، وَأَنْتَ الظَّاهِرُ فَلَـيْسَ فَوْقَـكَ شَيْءٌ ،وَأَنْـتَ البَاطِنُ فَلَيْسَ دُونَكَ شَيْءٌ ، اِقْضِ عَنَّا الدَّيْنَ وَأَغْنِنَا مِنَ الفَقْرِ)) .

アッラーフンマ　ラッバッサマーワーティッサブイワ　ラッバルアルシルアズィーム。ラッバナー　ワラッバ　クッラ　シャイ。ファーリカルハッビ　ワンナワー、ワ　ムンズィラッタウラーティ　ワルインジーリ、ワルフルカーン。アウーズ　ビカ　ミンシャッリ　クッリ　シャイイン　アンタ　アーヒズン　ビナースィヤティヒ。アッラーフンマ　アンタルアウワル　ファライサ　カブラカ　シャイ。ワアンタルアーヒル　ファライサ　バァダカ　シャイ。ワ　アンタッザーヒル　ファライサ　ファウカカシャイ。ワ　アンタルバーティヌ　ファライサ　ドゥーナカ　シャイ。イクディ　アンナッダイナ　ワアグニナー　ミナルファクル。

「アッラーよ、7層の天の主、偉大なる玉座の主よ、私たちの主、万物の主、実と芽を芽吹かせるお方、*タウラート*（トーラー）と*インジール*（福音）とクルアーンを下したお方よ、私はあなたに全ての物の

悪からのご加護を求めます。あなたはそれらのものの前頭部をお掴みになるお方です[1]。アッラーよ、あなたは過去の永遠から存在されたお方で、あなたの前には何も存在しません。あなたは未来の永劫にかけて存在されるお方で、あなたの後には何も存在しません。あなたは最も高きにおられるお方で、あなたの上には何も存在しません。あなたは最も近くにおられるお方で、あなたより近くには何も存在しません。私たちの負債を返済させ、貧困を取り除いて下さい。」

١٠٨-((الحَمْدُ للهِ الذِي أَطْعَمَنَا وَسَقَانَا ، وَكَفَانَا ، وَآوَانَا ، فَكَمْ مِمَّنْ لا كَافِيَ لَهُ وَلا مُؤْوِيَ)) .

アルハムドゥリッラーヒッラズィー　アトゥアマナー　ワ　サカーナー、ワ　カファーナー、ワ　アーワーナー。ファカム　ミンマッラー　カーフィヤラフ　ワ　ラー　ムウウィー。

「私たちに食べさせ、飲ませ、満足させ、住まいを与えられるアッラーに賞賛あれ。十分に満足することなく、保護され安らぐ場所もない者たちも山ほど

---

[1] 訳者注：被造物は全てアッラーの支配下にあるということを表しています。

いるというのに。」

١٠٩-((اللَّهُمَّ عَالِمَ الغَيْبِ وَالشَّهَادَةِ فَاطِرَ السَّمَاوَاتِ وَالأَرْضِ ، رَبَّ كُلِّ شَيْءٍ وَمَلِيكَهُ ، أَشْهَدُ أَنْ لا إلهَ إلا أنتَ ، أَعُوذُ بِكَ مِنْ شَرِّ نَفْسِي ، وَمِنْ شَرِّ الشَّيْطَانِ وَشِرْكِهِ ، وَأَنْ أَقْتَرِفَ عَلَى نَفْسِي سُوءاً ، أَوْ أَجُرَّهُ إِلَى مُسْلِمٍ)) .

アッラーフンマ　アーリマルガイビ　ワッシャハーダ。ファーティラッサマーワーティ　ワルアルドゥ。ラッバ　クッリ　シャイイン　ワ　マリーカフ。アシュハドゥ　アッラー　イラーハ　イッラー　アントゥ。アウーズ　ビカ　ミン　シャッリ　ナフスィー。ワ　ミン　シャッリッシャイターニ　ワ　シルキヒ。ワ　アン　アクタリファ　アラー　ナフスィー　スーアン、アウ　アジュッラフ　イラー　ムスリム。

「アッラーよ、不可視なる世界と可視なる世界を知るお方よ、天地の創造主よ、万物の主・支配者よ、私はあなた以外に真に崇拝すべきものはないことを証言します。そして自分自身の悪、シャイターンと*シルク*[①]の悪から、あなたにご加護を求めます。そして自分自身を害すること、或いは誰か他のムスリム

① 36 頁の訳注①を参照のこと。

を害することからの庇護をあなたに求めます。」

١١٠-﴿الم*تَنْزِيلُ الكِتَابِ﴾ و ﴿تَبَارَكَ الذِي بِيَدِهِ المُلْكُ﴾.

アッ＝サジダ章（平伏礼章）とアル＝ムルク章（大権章）を読む。

١١١-((اللَّهُمَّ أَسْلَمْتُ نَفْسِي إِلَيْكَ،وَفَوَّضْتُ أَمْرِي إِلَيْكَ،وَوَجَّهْتُ وَجْهِي إِلَيْكَ،وَأَلْجَأْتُ ظَهْرِي إِلَيْكَ، رَغْبَةً وَرَهْبَةً إِلَيْكَ،لا مَلْجَأَ وَلا مَنْجَا مِنْكَ إلا إِلَيْكَ، آمَنْتُ بِكِتَابِكَ الذِي أَنْزَلْتَ وَبِنَبِيّكَ الذِي أَرْسَلْتَ)) .

アッラーフンマ　アスラムトゥ　ナフスィー　イライク。ワ　ファウワドゥトゥ　アムリー　イライク。ワ　ワッジャハトゥ　ワジュヒー　イライク。ワ　アルジャアトゥ　ザハリー　イライク。ラグバタン　ワ　ラハバタン　イライク。ラー　マルジャア　ワ　ラー　マンジャー　ミンカ　イッラー　イライク。アーマントゥ　ビキタービカッラズィー　アンザルトゥ。ワ　ビナビーイカッラズィー　アルサルトゥ。

「アッラーよ、私は我が身をあなたに服従させ、私のことをあなたに委ねました。そして私の顔をあなたに向け、私の背中をあなたの庇護のもとに置きます。あなたを望み、あなたを畏れて[①]。あなたからの

① つまりアッラーの報奨やお赦しを望み、かれのお怒りや懲罰を恐れること。

避難所も救済もあなた以外にはありません。私はあなたが下されたあなたの啓典と、あなたが遣わされたあなたの預言者を信じます。」

29. 夜に寝返りを打った時のドアー

١١٢-((لا إلهَ إلا اللهُ الوَاحِدُ القَهَّارُ ،رَبُّ السَّماوَاتِ وَالأَرْضِ وَمَا بَيْنَهُمَا العَزِيزُ الغَفَّارُ)) .

ラー　イラーハ　イッラッラーフルワーヒドゥルカッハール、ラッブッサマーワーティ　ワルアルディ　ワ　マー　バイナフマルアズィーズルガッファール。

「唯一者で支配者であるアッラーの他に真に崇拝すべきものはありません。天地とその間にあるものの主、威光高く赦し深いお方よ。」

30. 睡眠時の恐怖や寂しさを感じた時のドアー

١١٣-((أَعُوذُ بِكَلِمَاتِ الله التَّامَّاتِ مِنْ غَضَبِهِ وَعِقَابِهِ ، وَشَرِّ عِبَادِهِ ، وَمِنْ هَمَزَاتِ الشَّيَاطِينِ وَأَنْ يَحْضُرُونِ)) .

アウーズ　ビカリマーティッラーヒッターンマーティ　ミン　ガダビヒ　ワ　イカービヒ。ワ　シャッリ　イバーディヒ。ワ　ミン　ハマザーティッシャヤーティーニ　ワ　アン　ヤハドゥルーン。

「私はアッラーの完璧な御言葉をもって、かれのお怒り、懲罰、かれのしもべのもたらす悪、シャイタ

ーンの囁き、そしてシャイターンが私のもとへやって来ることからのご加護を求めます。」

31. 悪夢を見た時にすること

١١٤– أَعُوذُ بِاللهِ مِنَ الشَّيْطَانِ الرَّجِيمِ .

114－「左側に唾を吹く。（×3 回）」
「シャイターンと見た悪夢からのアッラーのご加護を求める（「**アウーズ　ビッラーヒ　ミナッシャイターニッラジーム**（呪われるべきシャイターンからアッラーの御加護を求めます）」と 3 回言う）。」
「そしてそれまでとは逆の方を向いて寝る。」
「誰にもその内容について話さない。」
115－「もしそうしたければ、礼拝のために起き上がる。」

32. *ウィトル*の礼拝時の*クヌート*[①]のドアー

١١٦–((اللَّهُمَّ اهْدِنِي فِيمَنْ هَدَيْتَ،وَعَافِنِي فِيمَنْ عَافَيْتَ،وَتَوَلَّنِي فِيمَنْ تَوَلَّيْتَ،وَبَارِكْ لِي فِيمَا أَعْطَيْتَ ، وَقِنِي شَرَّ مَا قَضَيْتَ ، فَإِنَّكَ تَقْضِي وَلا يُقْضَى عَلَيْكَ ، إِنَّهُ لا يَذِلُّ مَنْ وَالَيْتَ،(وَلا يَعِزُّ مَنْ عَادَيْتَ)، تَبَارَكْتَ رَبَّنَا

---

① 訳者注：「ウィトル」とは、イシャー後からファジュル前までに行うのがスンナ・ムアッカダ（義務ではないが非常に推奨された行為）とされている、奇数回の形式をとる礼拝のことです。「クヌート」は、その最後のラクアのルクーウ前か後に行われるドアーのことを指します。

وَتَعَالَيْتَ)).

アッラーフンマハディニー　フィーマン　ハダイトゥ。ワ　アーフィニー　フィーマン　アーファイトゥ。ワ　タワッラニー　フィーマン　タワッライトゥ。ワ　バーリク　リー　フィーマー　アァタイトゥ。ワ　キニー　シャッラ　マー　カダイトゥ。ファインナカ　タクディー　ワ　ラー　ユクダー　アライク。インナフ　ラー　ヤズィッル　マン　ワーライトゥ。(ワ　ラー　ヤイッズ　マン　アーダイトゥ）タバーラクタ　ラッバナー　ワ　タアーライトゥ。

「アッラーよ、あなたが導かれた者のように私を導いて下さい。あなたが護られた者のように私を護って下さい。あなたがその諸事を引き受けられた者のように、私の諸事をお引き受け下さい。そしてあなたが与えて下さったものにおいて私を祝福して下さい。そしてあなたが運命付けた悪から私を御護り下さい。あなたこそは判決を下されるお方で、判決される者ではありません。あなたは、あなたが保護された者を辱めることはありません。(そしてあなたが敵対した者は、権勢を得ることはありません）私た

ちの主よ、あなたは祝福に溢れた崇高なお方です。」

١١٧-((اللَّهُمَّ إِنِّي أَعُوذُ بِرِضَاكَ مِنْ سَخَطِكَ، وَبِمُعَافَاتِكَ مِنْ عُقُوبَتِكَ ، وَأَعُوذُ بِكَ مِنْكَ ، لا أُحْصِي ثَنَاءً عَلَيْكَ ، أَنْتَ كَمَا أَثْنَيْتَ عَلَى نَفْسِكَ)) .

アッラーフンマ　インニー　アウーズ　ビリダーカ　ミン　サハティク。ワ　ビムアーファーティカ　ミン　ウクーバティク。ワ　アウーズ　ビカ　ミンク。ラー　ウフスィー　サナーアン　アライカ、アンタ　カマー　アスナイタ　アラー　ナフスィク。

「アッラーよ、私はあなたのご満悦によってあなたのお怒りからの、そしてあなたの寛容さによってあなたの懲罰からの、あなたによる、あなたからのご加護を求めます。私たちはあなたが御自身を讃美されたようにあなたを讃美することはできません。」

١١٨-((اللَّهُمَّ إِيَّاكَ نَعْبُدُ ، وَلَكَ نُصَلِّي وَنَسْجُدُ ، وَإِلَيْكَ نَسْعَى وَنَحْفِدُ ، نَرْجُو رَحْمَتَكَ ،وَنَخْشَى عَذَابَكَ ، إِنَّ عَذَابَكَ بِالكَافِرِينَ مُلْحَقٌ.اللَّهُمَّ إِنَّا نَسْتَعِينُكَ ، وَنَسْتَغْفِرُكَ ، وَنُثْنِي عَلَيْكَ الخَيْرَ ، وَلا نَكْفُرُكَ ، وَنُؤْمِنُ بِكَ ، وَنَخْضَعُ لَكَ ، وَنَخْلَعُ مِنْ يَكْفُرُكَ)) .

アッラーフンマ　イーヤーカ　ナァブドゥ。ワ　ラカ　ヌサッリー　ワ　ナスジュドゥ。ワ　イライカ　ナスアー　ワ　ナハフィドゥ。ナルジュー　ラハマ

タカ、ワ　ナフシャー　アザーバク。インナ　アザーバカ　ビルカーフィリーナ　ムルハク。アッラーフンマ　インナー　ナスタイーヌカ、ワ　ナスタグフィルク。ワ　ヌスニー　アライカルハイラ、ワ　ラー　ナクフルク。ワ　ヌウミヌ　ビカ、ワ　ナフダウ　ラク。ワ　ナフラウ　マン　ヤクフルク。

「アッラーよ、あなたを私たちは崇拝し、あなたに祈り跪き、あなたへと向かって奔走し奉仕し、あなたのご慈悲を願い、あなたの懲罰を怖れます。あなたの懲罰は必ずや不信仰者たちに降りかかります。アッラーよ、私たちはあなたにご援助とお赦しを求めます。そしてあなたをよく讃美し、あなたへの不信仰には陥りません。私たちはあなたを信仰します。私たちはあなたに服従し、あなたを信仰しない者から背き去ります。」

33. *ウィトルの礼拝のサラーム後のズィクル*

١١٩ –((سُبْحَانَ المَلِكِ القُدُّوسِ)) ((رَبِّ المَلائِكَةِ وَالرُّوحِ)) .

スブハーナルマリキルクッドゥース（×3 回）（3 回目は声に出して言い、次の言葉を付け足す。）ラッビルマラーイカティ　ワッルーフ。

「聖なる王者に称えあれ（3 回目には「天使たちと

ジブリールの主」と付け足す)。」

34. 苦悩と悲しみの際のドアー

١٢٠-((اللَّهُمَّ إِنِّي عَبْدُكَ ، ابْنُ عَبْدِكَ ، ابْنُ أَمَتِكَ ، نَاصِيَتِي بِيَدِكَ ، مَاضٍ فِيَّ حُكْمِكَ ، عَدْلٌ فِيَّ قَضَاؤُكَ، أَسْأَلُكَ بِكُلِّ اسْمٍ هُوَ لَكَ ، سَمَّيْتَ بِهِ نَفْسَكَ، أَوْ أَنْزَلْتَهُ فِي كِتَابِكَ ، أَوْ عَلَّمْتَهُ أَحَداً مِنْ خَلْقِكَ ، أَوْ اسْتَأْثَرْتَ بِهِ فِي عِلْمِ الغَيْبِ عِنْدَكَ ، أَنْ تَجْعَلَ القُرْآنَ رَبِيعَ قَلْبِي ، وَنُورَ صَدْرِي ، وَجَلاءَ حُزْنِي ، وَذَهَابَ هَمِّي)) .

アッラーフンマ　インニー　アブドゥク。イブヌ　アブディク。イブヌ　アマティク。ナースィヤティー　ビヤディク。マーディン　フィーヤ　フクムカ、アドゥルン　フィーヤ　カダーウク。アスアルカ　ビクッリスミン　フワ　ラカ、サンマイタ　ビヒ　ナフサク。アウ　アンザルタフ　フィー　キタービク。アウ　アッラムタフ　アハダン　ミン　ハルキク。アウィスタアサルタ　ビヒ　フィー　イルミルガイビ　インダク。アン　タジュアラルクルアーナ　ラビーア　カルビー。ワ　ヌーラ　サドゥリー。ワ　ジャラーア　フズニー。ワ　ザハーバ　ハンミー。

「アッラーよ、私はあなたのしもべです。あなたの男のしもべの息子で、あなたの女のしもべの息子で

す。私の前髪はあなたの御手に委ねられています[①]。あなたの私に対する裁定は既に成され、私に関するあなたの判決は公正です。私はあなたが自らそう名付けられた、あるいはあなたの啓典の中で下された、あるいはあなたがあなたの創造物に教えられた、あるいはあなたが不可視なる知識においてそれを占有されている全ての御名において、クルアーンを私の心の春とし、私の胸中の光とし、私の悲しみや不安を取り除くものとして下さい。」

١٢١-((اللَّهُمَّ إِنِّي أَعُوذُ بِكَ مِنَ الهَمِّ وَالحُزْنِ، وَالعَجْزِ وَالكَسَلِ،وَالبُخْلِ وَالجُبْنِ،وَضَلَعِ الدَّيْنِ وَغَلَبَةِ الرِّجَالِ)) .

アッラーフンマ　インニー　アウーズ　ビカ　ミナルハンミ　ワルハザン。ワルアジュズィ　ワルカサル。ワルブフリ　ワルジュブン。ワ　ダライッダイニ　ワ　ガラバティッリジャール。

「アッラーよ、苦悩と悲しみから、無能と怠惰から、吝嗇と臆病から、借金の重みと男たちの圧制からのご加護を求めます」

---

① 訳者注：97 頁の脚注①参照。

35. 心配を除去するドアー

١٢٢-((لا إلهَ إلا اللهُ العَظِيمُ الحَلِيمُ ، لا إلهَ إلا اللهُ رَبُّ العَرْشِ العَظِيمُ ، لا إلهَ إلا اللهُ رَبُّ السَّمَاوَاتِ وَرَبُّ الأَرْضِ وَرَبُّ العَرْشِ الكَرِيمُ)).

ラー　イラーハ　イッラッラーフルアズィームルハリーム。ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ラッブルアルシルアズィーム。ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ラッブッサマーワーティ　ワ　ラッブルアルディ　ワ　ラッブルアルシルカリーム。

「偉大かつ寛大なアッラー以外に真に崇拝すべきものはなく、偉大なる玉座の主であるアッラー以外に真に崇拝すべきものはなく、天地の主・貴い玉座の主アッラーの他に真に崇拝すべきものはありません。」

١٢٣-((اللَّهُمَّ رَحْمَتَكَ أَرْجُو فَلا تَكِلْنِي إِلَى نَفْسِي طَرْفَةَ عَيْنٍ ،وَأَصْلِحْ لِي شَأْنِي كُلَّهُ ،لا إلهَ إلا أَنْتَ)) .

アッラーフンマ　ラハマタカ　アルジュー　ファラー　タキルニー　イラー　ナフスィー　タルファタアイン。ワ　アスリフ　リー　シャアニー　クッラフ。ラー　イラーハ　イッラー　アントゥ。

「アッラーよ、あなたのご慈悲を願います。私を一瞬たりとも見放さないで下さい。私に関すること全

てを正して下さい。あなた以外に真に崇拝すべきものはありません。」

١٢٤-((لا إلهَ إلا أَنْتَ سُبْحَانَكَ إِنِّي كُنْتُ مِنَ الظَّالِمِينَ)) .

ラー　イラーハ　イッラー　アンタ　スブハーナカ　インニー　クントゥ　ミナッザーリミーン。

「あなた以外に真に崇拝すべきものはありません。あなたに称えあれ。私は本当に罪悪者の類でした。」

١٢٥-((اللهُ اللهُ رَبِّي لا أُشْرِكُ بِهِ شَيْئاً)) .

アッラーフ　アッラーフ　ラッビー　ラー　ウシュリク　ビヒ　シャイアー。

「アッラー、アッラーこそ私の主、私はかれに何ものも並べて拝しません。」

36. 敵や暴君に会う時のドアー

١٢٦-((اللَّهُمَّ إِنَّا نَجْعَلُكَ فِي نُحُورِهِمْ وَنَعُوذُ بِكَ مِنْ شُرُورِهِمْ)) .

アッラーフンマ　インナー　ナジュアルカ　フィーヌフーリヒム。　ワ　ナウーズ　ビカ　ミン　シュルーリヒム。

「アッラーよ、私たちはあなたを彼らに対する護りとし、あなたに彼らの諸悪からのご加護を求めます。」

١٢٧ -((اللَّهُمَّ أَنْتَ عَضُدِي ، وَأَنْتَ نَصِيرِي ، بِكَ أَجُولُ ، وَبِكَ أَصُولُ ، وَبِكَ أُقَاتِلُ)) .

アッラーフンマ　アンタ　アドゥディー。ワ　アンタ　ナスィーリー。ビカ　アジュール。ワ　ビカ　アスール。ワ　ビカ　ウカーティル。

「アッラーよ、あなたは私の力で、あなたは私の援助者です。あなたによって遠征し、あなたによって攻め入り、あなたによって戦います。」

١٢٨ -((حَسْبُنَا اللهُ وَنِعْمَ الوَكِيلُ)) .

ハスブナッラーフ　ワ　ニァマルワキール。

「私たちにはアッラーがいれば十分です。アッラーこそ最高の庇護者です。」

37. 暴君の不正を恐れる者のドアー

١٢٩ -((اللَّهُمَّ رَبَّ السَّمَاوَاتِ السَبْعِ ، وَرَبَّ العَرْشِ العَظِيمِ ، كُنْ لِي جَاراً مِنْ فُلانِ بْنِ فُلانٍ ، وَأَحْزَابِهِ مِنْ خَلائِقِكَ ، أَنْ يَفْرُطَ عَلَى أَحَدٌ مِنْهُمْ أَوْ يَطْغَى ، عَزَّ جَارُكَ ، وَجَلَّ ثَنَاؤُكَ ، وَلا إِلَهَ إِلا أَنْتَ)) .

アッラーフンマ　ラッバッサマーワーティッサブイ、ワ　ラッバルアルシルアズィーム。クッリー　ジャーラン　ミン　フラーニブニ　フラーニン（ここに対象となる者の名前をあてはめる)、ワ　アハザービ

ヒ　ミン　ハラーイキカ、アン　ヤフルタ　アライヤ　アハドゥン　ミンフム　アウ　ヤトゥガー。アッザ　ジャールカ、ワ　ジャッラ　サナーウカ。ワラー　イラーハ　イッラー　アントゥ。

「アッラーよ、7 層の天と偉大な玉座の主よ、何某（ここに対象となる者の名前を入れる）とその徒党が私を虐げることのないよう、私の隣人（守護者）になって下さい。あなたの隣人となった者こそ強大で、あなたへの讃美こそ崇高です。あなた以外に真に崇拝すべきものはありません。」

١٣٠ -((اللهُ أَكْبَرُ ، اللهُ أَعَزُّ مِنْ خَلْقِهِ جَمِيعاً ، اللهُ أَعَزُّ مِمَّا أَخَافُ وَأَحْذَرُ، أَعُوذُ بِاللهِ الذِي لا إلهَ إلا هُوَ ، المُمْسِكُ السَّماوَاتِ السَبْعِ أَنْ يَقَعْنَ عَلَى الأَرْضِ إلا بِإِذْنِهِ، مِنْ شَرِّ عَبْدِكِ فُلانٍ،وَجُنُودِهِ وَأَتْبَاعِهِ وَأَشْيَاعِهِ ،مِنَ الجِنِّ وَالإِنْسِ ، اللَّهُمَّ كُنْ لِي جَاراً مِنْ شَرِّهِمْ ، جَلَّ ثَنَاؤكَ وَعَزَّ جَارُكَ ، وَتَبَارَكَ اسْمُكَ،وَلا إلهَ غَيْرُكَ)) .

アッラーフ　アクバル。アッラーフ　アアッズ　ミン　ハルキヒ　ジャミーアー。アッラーフ　アアッズ　ミンマー　アハーフ　ワ　アハザル。アウーズビッラーヒッラーズィー　ラー　イラーハ　イッラーフ。アルムムスィキッサマーワーティッサブイ

アン　ヤカァナ　アラルアルディ　イッラー　ビイズニヒ、ミン　シャッリ　アブディカ　フラーニン（ここに対象となる者の名前を入れる）、ワ　ジュヌーディヒ　ワ　アトゥバーイヒ　ワ　アシュヤーイヒ、ミナルジンニ　ワルインス。アッラーフンマ　クッリー　ジャーラン　ミン　シャッリヒム。ジャッラ　サナーウカ　ワ　アッザ　ジャールカ。ワ　タバーラカスムカ、ワ　ラー　イラーハ　ガイルク。（×3 回）

「アッラーは偉大なり。アッラーは全てのかれの創造物より偉大なり、アッラーは私が恐れ私が警戒するもの以上に強大なり。私はかれ以外に真に崇拝すべきものは無く、かれの許可なしには大地に崩れ落ちてしまうところの 7 層の天を支えるお方アッラーに、人とジンから成るあなたのしもべの何某（ここに対象となる者の名前を入れる）と彼の軍隊・追従者たち・その一派の悪からご加護を求めます。アッラーよ、彼らの悪から私を護る隣人（守護者）になって下さい。あなたへの讃美こそ崇高で、あなたの隣人こそ強大です。あなたの御名は祝福に溢れ、あなた以外に真に崇拝すべきものはありません。」

38. 敵に対するドアー

١٣١-((اللَّهُمَّ مُنْزِلَ الكِتَابِ ،سَرِيعَ الحِسَابِ ،اهْزِمِ الأَحْزَابَ ، اللَّهُمَّ اهْزِمْهُمْ وَزَلْزِلْهُمْ)) .

アッラーフンマ　ムンズィラルキターブ。サリーアルヒサーブ。イフズィミルアハザーブ。アッラーフンマフズィムフム　ワ　ザルズィルフム。

「アッラーよ、啓典を下されたお方よ、清算を敏速になされるお方よ、敵軍を敗走させて下さい。アッラーよ、彼らを揺るがせ敗走させて下さい。」

39. 人々を恐れる時に言うドアー

١٣٢-((اللَّهُمَّ اكْفِنِيهِمْ بِمَا شِئْتَ)) .

アッラーフンマクフィニーヒム　ビマー　シウタ。

「アッラーよ、あなたが望まれる方法で私を彼らからお護り下さい。」

40. 信仰心に疑問が生じた者のドアー

133－「疑いを持ったことからアッラーにご加護を求める。」

١٣٤-((آمَنْتُ بِاللهِ وَرُسُلِهِ)) .

アーマントゥ　ビッラーヒ　ワ　ルスリヒ。

「私はアッラーとかれの預言者たちを信じます。」

١٣٥-﴿هُوَ الأَوَّلُ وَالآخِرُ وَالظَّاهِرُ وَالبَاطِنُ وَهُوَ بِكُلِّ شَيْءٍ عَلِيمٌ﴾ .

フワル　アウワル　ワルアーヒル　ワッザーヒル　ワルバーティヌ　ワ　フワ　ビクッリ　シャイイン　アリーム。

『アッラーよ､あなたは過去の永遠から存在されたお方。未来の永劫にかけて存在されるお方。最も高きにおられるお方。最も近くにおられるお方です。そしてかれは全ての事物を熟知なされます。』【鉄章：3】

41．重い負債を抱えた時のドアー

١٣٦-((اللَّهُمَّ اكْفِنِي بِحَلالِكَ عَنْ حَرَامِكَ وَأَغْنِنِي بِفَضْلِكَ عَمَّنْ سِوَاكَ)).

アッラーフンマクフィニー　ビハラーリカ　アン　ハラーミカ　ワ　アグニニー　ビファドゥリカ　アンマン　スィワーカ。

「アッラーよ、私をハラームのものではなくあなたのハラールのもので充分として下さい。[1] そしてあなたの恩恵によって、私をあなただけで足る者として下さい。」

---

[1] 訳者注：ハラームとはイスラーム法上非合法と規定された物事で、ハラールとはそこにおいて合法と規定された物事。

١٣٧ -((اللَّهُمَّ إِنِّي أَعُوذُ بِكَ مِنَ الهَمِّ وَالحَزَنِ ، وَالعَجْزِ وَالكَسَلِ ، وَالبُخْـلِ وَالجُبْنِ ، وَضَلَعِ الدَّيْنِ وَغَلَبَةِ الرِّجَالِ)) .

アッラーフンマ　インニー　アウーズ　ビカ　ミナルハンミ　ワルハザン。ワルアジュズィ　ワルカサル。ワルブフリ　ワルジュブン。ワ　ダライッダイニ　ワ　ガラバティッリジャール。

「アッラーよ、苦悩と悲しみから、無能と怠惰から、吝嗇と臆病から、借金の重みと男たちの圧制からのご加護を求めます。」

42. 礼拝や読誦時の悪魔の囁きに対するドアー

١٣٨ -((أَعُوذُ بِالله مِنَ الشَّيْطَانِ الرَّجِيمِ)) .

アウーズ　ビッラーヒ　ミナッシャイターニッラジーム。（そして左の方に 3 回唾を吐く）

「私はアッラーに、呪われるべきシャイターンからのご加護を求めます。」

43. 物事に困難を見出した者のドアー

١٣٩ -((اللَّهُمَّ لا سَهْلَ إِلا مَا جَعَلْتَهُ سَهْلا وَأَنْـتَ تَجْعَـلُ الحَـزْنَ إِذَا شِـئْتَ سَهْلا)) .

アッラーフンマ　ラー　サハラ　イッラー　マージャアルタフ　サハラー。　ワ　アンタ　タジュア

ルルハズナ　イザー　シウタ　サハラー。

「アッラーよ、あなたが容易くしたことだけが容易くなるのです。あなたが望めば悲しみも容易くなります。」

44．罪を犯した者が言い、行うこと

140ー「罪を犯したしもべが体をよく清め、立ち上がって 2 ラクアの礼拝をし、それからアッラーにお赦しを乞えば、かれはその罪を赦されないことがない。」

45．悪魔とその囁きを放逐するドアー

141ー「アッラーにシャイターンからのご加護を求める。」

142ー「アザーン[1]を言う。」

143ー「ズィクルの言葉を唱え、クルアーンを読む。」

46．望まないことや止むを得ないことが起こった時のドアー

١٤٤-((قَدَرُ الله وَمَا شَاءَ فَعَلَ)).

カダルッラーヒ　ワ　マー　シャーア　ファアル。

「これこそはアッラーの定められたこと。かれはかれがお望みになることを行われた。」

---

[1] 訳者注：31 ページの脚注参照。

47. 出産祝いの言葉とその返事

١٤٥-((بَارَكَ اللهُ لَكَ فِي المَوْهُوبِ لَكَ ، وَشَكَرْتَ الوَاهِبَ ، وَبَلَغَ أَشُـدَّهُ ، وَرُزِقْتَ بِرَّهُ)) .

バーラカッラーフ　ラカ　フィルマウフービ　ラク。ワ　シャカルタルワーヒブ。ワ　バラガ　アシュッダフ、ワ　ルズィクタ　ビッラフ。

「あなたに授けられた子供に関してアッラーがあなたを祝福して下さいますように。そしてあなたが子供を授けたお方に感謝しますよう。そして彼が成長した暁には、あなたが彼の孝行を受けますように。」

((بَـارَكَ اللهُ لَـكَ وَبَـارَكَ عَلَيْـكَ ، وَجَـزَاكَ اللهُ خَـيْراً ، وَرَزَقَـكَ اللهُ مِثْلَـهُ ، وَأَجْزَلَ ثَوَابَكَ)) .

（そして祝福を受けた者は相手に次のように返す）バーラカッラーフ　ラカ　ワ　バーラカ　アライク。ワ　ジャザーカッラーフ　ハイラー。ワ　ラザカカッラーフ　ミスラフ、ワ　アジュザラ　サワーバク。

「アッラーがそのことを祝福しますように。そしてあなたにも祝福あれ。アッラーがあなたにも良い報奨を授けて下さいますように。そしてアッラーがあなたに同じように子をお恵みになり、あなたへ多くの報奨を授けて下さいますように。」

48. 子供のための魔よけ

アッラーの御使いは孫のアル＝ハサンとアル＝フサインに、次のような御加護の言葉を用いて祈願した：

١٤٦-((أُعِيذُكُمَا بِكَلِمَاتِ اللهِ التَامَّةِ مِنْ كُلِّ شَيْطَانٍ وَهَامَّةٍ ، وَمِنْ كُلِّ عَيْنٍ لامَّةٍ)) .

ウイーズクマー　ビカリマーティッラーヒッターンマ。ミン　クッリ　シャイターニン　ワ　ハーンマ。ワ　ミン　クッリ　アイニン　ラーンマ。

「私はあなた方2人[①]のために、完全なアッラーの御言葉によって、全てのシャイターンと毒を持つ生物から、そして悪をもたらす全ての邪視からのご加護を求めます。」

49. 見舞い時の病人へのドアー

١٤٧-((لا بَأْسَ طَهُورٌ إِنْ شَاءَ اللهُ)) .

ラー　バアサ　タフールン　イン　シャーアッラー。

---

① 「あなた」と単数2人称で言う場合は、冒頭の「ウイーズクマー」を「ウイーズカ（男性）」あるいは「ウイーズキ（女性）」と言い換えます。また「あなた方」と複数2人称で言う場合は、同様に「ウイーズクム（男性、あるいは男女混合）」あるいは「ウイーズクンナ（女性）」と言い換えます。同様に「彼」の場合は「ウイーズフ」、「彼女」の場合は「ウイーズハー」、「彼ら」の場合は「ウイーズフム」、「彼女たち」の場合は「ウイーズフンナ」となります。

「大きな問題ではありません。アッラーがそうお望みであるならば、あなたの（罪という）汚れが清められますように[①]。」

١٤٨-((أَسْأَلُ اللهَ العَظِيمَ رَبَّ العَرْشِ العَظِيمِ أَنْ يَشْفِيَكَ)) .

アスアルッラーハルアズィーマ　ラッバルアルシルアズィーミ　アン　ヤシュフィヤカ。（×7 回）

「私は、偉大なるアッラー、偉大なる玉座の主にあなたを癒して下さることを祈ります。」

50．病人を見舞うことの徳

149ー預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。「ムスリムの兄弟を見舞う者は、彼のもとを訪れてそこに腰を下ろすまで楽園の道を歩んでいる。そして腰を下ろしたときには、慈悲が彼を包み込む。もしそれが朝だったのなら、7 万の天使が夜になるまで彼を祝福する。そしてもし夜だったのなら、やはり 7 万の天使が朝を迎えるまで彼を祝福する。」

[①] 訳者注：病や不幸や苦難などは、ムスリムの贖罪となります。預言者ムハンマドは言いました：「ムスリムに降りかかる災難で、それによって彼の罪が赦されることにならないものはない。例えそれが一本のとげによる痛みだったとしても。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承）

51. 死期が迫った病人のドアー

١٥٠-((اللَّهُمَّ اغْفِرْ لِي وَارْحَمْنِي وَأَلْحِقْنِي بِالرَّفِيقِ الأَعْلَى)) .

アッラーフンマグフィル　リー　ワルハムニー　ワアルヒクニー　ビッラフィーキルアァラー。

「アッラーよ、私を御赦し下さい。私にご慈悲をおかけ下さい。最高の同伴者の御許[1]へと、私をお召し下さい。」

١٥١-((لا إلهَ إلا اللهُ إِنَّ لِلمَوْتِ لَسَكَرَاتٍ)) .

「預言者は自らの死に瀕した時、彼の両手を水につけさせると、その手で顔を撫でて次のように唱えた：

ラー　イラーハ　イッラッラーフ　インナ　リルマウティ　ラサカラートゥ。

『アッラー以外に真に崇拝すべきものはなし。本当に死とは苦しいものである。』」

١٥٢-((لا إلهَ إلا اللهُ وَاللهُ أَكْبَرُ، لا إلهَ إلا اللهُ وَحْدَهُ، لا إلهَ إلا اللهُ وَحْدَهُ لا شَرِيكَ لَهُ، لا إلهَ إلا اللهُ لَهُ المُلْكُ وَلَهُ الحَمْدُ، لا إلهَ إلا اللهُ وَلا حَوْلَ وَلا قُوَّةَ إلا بِاللهِ)).

ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ワッラーフ　アクバル。ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ワハダ

[1] 訳者注：「最高の同伴者」とはアッラー、あるいは以前の預言者たちなどから成る天国の住人、などという解釈の仕方があります。

フ。ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ワハダフラー　シャリーカ　ラフ。ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ラフルムルク　ワ　ラフルハムドゥ。ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ワ　ラー　ハウラワ　ラー　クウワタ　イッラー　ビッラー。

「アッラー以外に真に崇拝すべきものは無し。アッラーは偉大なり。唯一のアッラー以外に真に崇拝すべきものは無し。唯一で並ぶ者無きお方アッラー以外に真に崇拝すべきものは無し。アッラー以外に真に崇拝すべきものは無し。主権と讃美はかれのもの。アッラー以外に真に崇拝すべきものは無し。至高至大のアッラーの他にいかなる威力も強大なるものもなし。」

52．死に瀕した者への言葉

١٥٣-((لا إلهَ إلا اللهُ)) .

ラーイラーハ　イッラッラー（つまり死に瀕した者にこの言葉を口にさせるために、周りの者がこの言葉を唱えること）．

「最後の言葉が「アッラー以外に真に崇拝すべきものは無し」であった者は天国に入る。」

53. 災難に見舞われた者のドアー

١٥٤-((إِنَّا لله وَإِنَّا إِلَيْهِ رَاجِعُونَ اللَّهُمَّ أَجُرْنِي فِي مُصِيبَتِي وَأَخْلِفْ لِي خَيْراً مِنْهَا)) .

インナー　リッラーヒ　ワ　インナー　イライヒ ラージウーン。アッラーフンマアジュルニー　フィー　ムスィーバティー　ワ　アフリフ　リー　ハイラン　ミンハー。

「本当に私たちはアッラーのもの、本当に私たちはアッラーの御許へ帰って行きます。アッラーよ、私が受けた災難において私に報奨を与え、この災難の後にそれより素晴らしいものを私にお授け下さい。」

54. 死人の目を閉じる時のドアー

١٥٥-((اللَّهُمَّ اغْفِرْ لِفُلانٍ(بِاسْمِهِ)وَارْفَعْ دَرَجَتَهُ فِي الْمَهْدِيِّينَ ، وَاخْلُفْهُ فِي عَقِبِهِ فِي الغَابِرِينَ ، وَاغْفِرْ لَنَا وَلَهُ يَا رَبَّ العَالَمِينَ ، وَافْسَحْ لَهُ فِي قَبْرِهِ وَنَوِّرْ لَهُ فِيهِ)) .

アッラーフンマグフィル　リ（ここに故人の名前を入れる）ワルファウ　ダラジャタフ　フィルマハディーイーン。ワフルフフ　フィー　アキビヒ　フィルガービリーン。ワグフィル　ラナー　ワ　ラフ　ヤー　ラッバルアーラミーン。ワフサフ　ラフ　フ

ィー　カブリヒ　ワ　ナウウィル　ラフ　フィーヒ。

「アッラーよ、何某（<u>ここに故人の名前を入れる</u>）を赦したまえ。そして導かれた者たちの中において彼の位階を上げて下さい。彼の後に、私たち残された者たちの中に彼を継ぐ者をお与え下さい。万有の主よ、私たちと彼をお赦し下さい。彼のためにその墓を広げて、その中をお照らし下さい。」

55. 死人のために祈る時のドアー

١٥٦ -((اللَّهُمَّ اغْفِرْ لَهُ وَارْحَمْهُ ،وَعَافِهِ ،وَاعْفُ عَنْهُ ، وَأَكْرِمْ نُزُلَهُ ،وَوَسِّعْ مُدْخَلَهُ ،وَاغْسِلْهُ بِالمَاءِ وَالثَّلْجِ وَالبَرَدِ ، وَنَقِّهِ مِنَ الخَطَايَا كَمَا نَقَّيْتَ الثَّوْبَ الأَبْيَضَ مِنَ الدَّنَسِ ، وَأَبْدِلْهُ دَاراً خَيْراً مِنْ دَارِهِ ، وَأَهْلا خَيْراً مِنْ أَهْلِهِ ، وَزَوْجاً خَيْراً مِنْ زَوْجِهِ ، وَأَدْخِلْهُ الجَنَّةَ ، وَأَعِذْهُ مِنْ عَذَابِ القَبْرِ وَعَذَابِ النَّارِ)) .

アッラーフンマグフィル　ラフ　ワルハムフ。ワアーフィヒ、ワァフ　アンフ。ワ　アクリム　ヌズラフ。ワ　ワッスィァ　ムドゥハラフ。ワグスィルフ　ビルマーイ　ワッサルジ　ワルバラドゥ。ワナッキヒ　ミナルハターヤー　カマー　ナッカイタッサウバルアブヤダ　ミナッダナス。ワ　アブディルフ　ダーラン　ハイラン　ミン　ダーリヒ。ワ

アハラン　ハイラン　ミン　アハリヒ。ワ　ザウジャン　ハイラン　ミン　ザウジヒ。ワ　アドゥヒルフルジャンナ。ワ　アイズフ　ミン　アザービルカブリ　ワ　アザービンナール。

「アッラーよ、彼を赦し、彼にご慈悲を与え、彼を癒し、お守り下さい。そして彼によい住まいを与え、その入り口を広げ、水と雪と雹で彼を清めて下さい。そしてあなたが白い服を汚れから清浄にされたように、彼をその過ちから清めて下さい。そして彼に（生前の）彼の住処よりも素晴らしい住処を、彼の（生前の）家族よりも素晴らしい家族を、彼の（生前の）配偶者より素晴らしい配偶者を引き換えにお与え下さい。そして彼を楽園に入れ、墓の災難と業火の懲罰から彼をお護り下さい。」

١٥٧-((اللَّهُمَّ اغْفِرْ لِحَيِّنَا ،وَمَيِّتِنَا،وَشَاهِدِنَا، وَغَائِبِنَا ، وَصَغِيرِنَا وَكَبِيرِنَا ، وَذَكَرِنَا وَأَنْثَانَا . اللَّهُمَّ مَنْ أَحْيَيْتَهُ مِنَّا فَأَحْيِهِ عَلَى الإِسْلامِ ، وَمَنْ تَوَفَّيْتَهُ مِنَّا فَتَوَفَّهُ عَلَى الإِيمَانِ ، اللَّهُمَّ لا تَحْرِمْنَا أَجْرَهُ وَلا تُضِلَّنَا بَعْدَهُ)) .

アッラーフンマグフィル　リハイイナー、ワ　マイイティナー、ワ　シャーヒディナー、ワ　ガーイビナー、ワ　サギーリナー　ワ　カビーリナー、ワ　ザカリナー　ワ　ウンサーナー。アッラーフンマ　マ

ン　アハヤイタフ　ミンナー　ファアハイヒ　アラルイスラーム。ワ　マン　タワッファイタフ　ミンナー　ファタワッファフ　アラルイーマーン。アッラーフンマ　ラー　タハリムナー　アジュラフ　ワラー　トゥディッラナー　バァダフ。

「アッラーよ、私たちのうち生きている者たちを、亡くなった者たちを、この場に居合わせている者たちを、不在の者たちを、老若男女をお赦し下さい。アッラーよ、あなたが私たちの内で生かす者はイスラームにおいて生かして下さい。あなたが私たちの内で死を与える者は、信仰をもった状態で死なせて下さい。アッラーよ、その報奨[1]を私たちに禁じないで下さい。また私たちをその後で迷わせないで下さい。」

١٥٨-((اللَّهُمَّ إِنَّ فُلانَ بْنَ فُلانٍ فِي ذِمَّتِكَ ، وَحَبْلِ جِوَارِكَ ، فَقِـهْ مِـنْ فِتْنَـةِ القَبْرِ وَعَذَابِ النَّارِ ، وَأَنْتَ أَهْلُ الوَفَاءِ وَالحَقِّ . فَاغْفِرْ لَهُ وَارْحَمْهُ إِنَّـكَ أَنْـتَ الغَفُورُ الرَّحِيمُ)) .

アッラーフンマ　インナ（ここに故人の名前を入れる）フィー　ズィンマティク。ワ　ハブリ　ジワー

---

[1] 訳者注：つまり葬儀の礼拝に参加することによって得られる報奨のこと。

リク。ファキヒ　ミン　フィトゥナティルカブリ　ワ　アザービンナール。ワ　アンタ　アハルルワファーイ　ワルハック。ファグフィル　ラフ　ワルハムフ　インナカ　アンタルガフールッラヒーム。

「アッラーよ、本当に何某（ここに故人の名前を入れる）はあなたの庇護のもとに、あなたを頼みの綱[1]としています。ですから墓の災難と業火の懲罰から彼を御守り下さい。あなたこそ約束を履行する真理のお方です。彼を赦し、彼に慈悲を垂れて下さい。本当にあなたはよく赦される慈悲深いお方です。」

١٥٩ –((اللَّهُمَّ عَبْدُكَ وَابْنُ أَمَتِكَ احْتَاجَ إِلَى رَحْمَتِكَ ، وَأَنْتَ غَنِيٌّ عَنِ عَذَابِهِ، إِنْ كَانَ مُحْسِناً فَزِدْ فِي حَسَنَاتِهِ ، وَإِنْ كَانَ مُسِيئاً فَتَجَاوَزْ عَنْهُ)) .

アッラーフンマ　アブドゥカ　ワブヌ　アマティカハタージャ　イラー　ラハマティク。ワ　アンタ　ガニーユン　アン　アザービヒ。イン　カーナ　ムフスィナン　ファズィドゥ　フィー　ハサナーティヒ。ワ　イン　カーナ　ムスィーアン　ファタジャ

---

[1] 訳者注：当時のアラブの１習慣として、旅人や商人などはある部族の支配地域を安全に通過したい時、その部族の長から庇護を得る習慣がありました。これがここでは「頼みの綱」と意訳した「ハブル・ジワーリカ」という言葉の由来です。ここでは故人がアッラーの庇護のもとにあることを指し、それゆえに来世における諸々の災難や懲罰からの彼の安全を祈っているのです。

ーワズ　アンフ。

「アッラーよ、あなたのしもべ、そしてあなたの女しもべの息子はあなたのご慈悲を必要としています。そしてあなたは彼を罰さずとも済ますことが出来るお方です。もし彼が良い人物であったのなら彼の善行を増やし、もし悪い人であったのならそれを見逃してやって下さい。」

56. 亡くなった子供のために祈る時のドアー

١٦٠ -((اللَّهُمَّ أَعِذْهُ مِنْ عَذَابِ القَبْرِ)) .

アッラーフンマ　アイズフ　ミン　アザービルカブル。

「アッラーよ、彼を墓の苦しみからお助け下さい。」

وَإِنْ قَالَ:((اللَّهُمَّ اجْعَلْهُ فَرَطاً وَذُخْراً لِوَالِدَيْهِ،وَشَفِيعاً مُجَاباً . اللَّهُمَّ ثَقِّلْ بِـهِ مَوَازِينَهُمَا وَأَعْظِمْ بِهِ أُجُورَهُمَا ، وَأَلْحِقْهُ بِصَالِحِ المُؤْمِنِينَ ، وَاجْعَلْـهُ فِي كَفَالَـةِ إِبْرَاهِيمَ ، وَقِهِ بِرَحْمَتِكَ عَذَابَ الجَحِيمِ ، وَأَبْدِلْهُ دَاراً خَيْراً مِـنْ دَارِهِ ، وَأَهْـلا خَيْراً مِنْ أَهْلِهِ ، اللَّهُمَّ اغْفِرْ لأَسْـلافِنَا ، وَأَفْرَاطِنَـا ،وَمَـنْ سَـبَقَنَا بِـالإِيمَانِ)) فَحَسَنٌ .

そしてこう続ければ尚良い：**アッラーフンマジュアルフ　ファラタン　ワ　ズフラン　リワーリダイヒ。ワ　シャフィーアン　ムジャーバー。アッラーフンマ　サッキル　ビヒ　マワーズィナフマー　ワ**

アァズィム　ビヒ　ウジューラフマー。ワ　アルヒクフ　ビサーリヒルムウミニーナ、ワジュアルフフィー　カファーラティ　イブラーヒーム。ワ　キヒ　ビラハマティカ　アザーバルジャヒーム。ワアブディルフ　ダーラン　ハイラン　ミン　ダーリヒ。ワ　アハラン　ハイラン　ミン　アハリヒ。アッラーフンマグフィル　リアスラーフィナー。ワアフラーティナー。ワ　マン　サバカナー　ビルイーマーン。

「アッラーよ、（夭折した子を）彼の両親の先駆[①]、そして来世での報奨とし、必ず受け入れられる執り成し人として下さい。アッラーよ、彼によって両親の善行の秤を重くし、彼らの報奨を偉大なものにして下さい。また（来世において）彼を信仰者たちの中でも敬虔な者の仲間に入れ、そしてイブラーヒームの保護のもとにおいて下さい。あなたのご慈悲で彼を地獄の苦しみからお護り下さい。そして彼に（生前の）彼の住処よりも素晴らしい住処を、彼の（生前の）家族よりも素晴らしい家族を、お与え下さい。アッラーよ、私たちの祖先たち、子孫たち、私たち

① つまり天国に入ることにおいて、両親に先駆けるということ。

に先駆けて信仰に入った者たちをお赦し下さい。」

١٦١-((اللَّهُمَّ اجْعَلْهُ لَنَا فَرَطاً ، وَسَلَفاً ، وَأَجْراً)) .

アッラーフンマジュアルフ　ラナー　ファラタン、ワ　サラファン、ワ　アジュラー。

「アッラーよ、彼を私たちの先駆とし、先人とし、報奨として下さい。」

57. 弔問の際のドアー

١٦٢-((إِنَّ للهِ مَا أَخَذَ ، وَلَهُ مَا أَعْطَى وَكُـلُّ شَيْءٍ عِنْـدَهُ بِأَجَـلٍ مُسَـمَّى … فَلْتَصْبِرْ وَلْتَحْتَسِبْ)).

インナ　リッラーヒ　マー　アハザ、ワ　ラフ　マー　アァター　ワ　クッル　シャイイン　インダフ　ビアジャリン　ムサンマー・・・ファルタスビル　ワ　ルタハタスィブ。

「実にアッラーがお取りになったものとお与えになられたものは、アッラーに属する。そしてかれの御許にあるもの全てには、決められた定命がある。・・・それゆえよく耐え、そこにおいて報奨を求めなさい。」

((أَعْظَمَ اللهُ أَجْرَكَ،وَأَحْسَنَ عَزَاءَكَ وَغَفَرَ لِمَيِّتِكَ)) .

　またこう言えばより良い：**アァザマッラーフ　アジュラカ、ワ　アハサナ　アザーアカ　ワ　ガファ**

ラ　リマイイティカ。

「アッラーがあなたの報奨を比類なく大きなものとして下さいますよう。あなたの哀悼をよきものとし、故人の罪が赦されますよう。」

58. 遺体埋葬時のドアー

١٦٣-((بِسْمِ اللهِ وَعَلَى سُنَّةِ رَسُولِ اللهِ)) .

ビスミッラーヒ　ワ　アラー　スンナティ　ラスーリッラー。

「アッラーの御名において、アッラーの使徒のスンナ[1]に従って。」

59. 遺体埋葬後のドアー

١٦٤-((اللَّهُمَّ اغْفِرْ لَهُ اللَّهُمَّ ثَبِّتْهُ)) .

アッラーフンマグフィル　ラフ。　アッラーフンマサッビトゥフ。

「アッラーよ、彼を赦したまえ。アッラーよ、彼を堅固にしたまえ[2]。」

---

[1] 訳者注：預言者ムハンマド（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）が人生のあらゆる分野において示した、ムスリムの従うべき規範・手法・道のこと。

[2] 訳者注：人は死後、墓の中で彼の主と宗教と使徒について質問されます。その際に、堅固に正しい返答（つまり主はアッラー、宗教はイスラーム、使徒はムハンマドである、と言うこと）が出来ますように、という意味です。

60. 墓地を訪問した際のドアー

١٦٥-((السَّلامُ عَلَيْكُمْ أَهْلَ الدِّيَارِ ، مِنْ الْمُؤْمِنِينَ وَالْمُسْلِمِينَ ، وَإِنَّا إِنْ شَاءَ اللهُ بِكُمْ لاحِقُونَ ، وَيَرْحَمُ اللهُ الْمُسْتَقْدِمِينَ مِنَّا وَالْمُسْتَأْخِرِينَ ،أَسْأَلُ اللهُ لَنَا وَلَكُمْ العَافِيَةَ)).

アッサラーム　アライクム　アハラッディヤーリ、ミナルムウミニーナ　ワルムスリミーン。ワ　インナー　イン　シャーアッラーフ　ビクム　ラーヒクーン。ワ　ヤルハムッラーフルムスタクディミーナミンナー　ワルムスタアヒリーン。アスアルッラーフ　ラナー　ワ　ラクムルアーフィヤ。

「信仰者とムスリムからなる墓の住人たちよ、あなた方の上に平安あれ。私たちはアッラーの思し召しとともに、あなた方に追いつきます。アッラーが私たちの内の先人たちと後人たちに、ご慈悲を垂れて下さいますように。私はアッラーに、私たちとあなた方のご加護を祈ります。」

61. 風が吹いた時のドアー

١٦٦-((اللَّهُمَّ إِنِّي أَسْأَلُكَ خَيْرَهَا ، وَأَعُوذُ بِكَ مِنْ شَرِّهَا)) .

アッラーフンマ　インニー　アスアルカ　ハイラハー。ワ　アウーズ　ビカ　ミン　シャッリハー。

「アッラーよ、私はあなたに風の良きことを願い、

その悪からのご加護を求めます。」

١٦٧-((اللَّهُمَّ إِنِّي أَسْأَلُكَ خَيْرَهَا ، وَخَيْرَ مَا فِيهَا ، وَخَيْرَ مَا أُرْسِلَتْ بِهِ وَأَعُوذُ بِكَ مِنْ شَرِّهَا ، وَشَرِّ مَا فِيهَا ، وَشَرِّ مَا أُرْسِلَتْ بِهِ)) .

アッラーフンマ　インニー　アスアルカ　ハイラハー、ワ　ハイラ　マー　フィーハー、ワ　ハイラ　マー　ウルスィラトゥ　ビヒ。ワ　アウーズ　ビカ　ミン　シャッリハー、ワ　シャッリ　マー　フィーハー、ワ　シャッリ　マー　ウルスィラトゥ　ビヒ。

「アッラーよ、私たちはあなたに風の良き事と、その中にある良きものと、そのために送られたところの良き事を願います。そしてその悪と、その中にある悪と、そのために送られたところの悪からのご加護を求めます。」

62. 雷鳴の時のドアー

١٦٨-((سُبْحَانَ الذِي يُسَبِّحُ الرَّعْدُ بِحَمْدِهِ وَالمَلائِكَةِ مِنْ خِيفَتِهِ)) .

スブハーナッラズィー　ユサッビフッラァドゥ　ビハムディヒ　ワルマラーイカトゥ　ミン　ヒーファティヒ。

「アッラーに称賛あれ、雷はかれを讃えて唱念し，また天使たちもかれを畏れて唱念する。」

63. 雨乞いのドアーより

١٦٩-((اللَّهُمَّ أَسْقِنَا غَيْثاً مُغِيثاً مَرِيئاً مَرِيعاً ، نَافِعاً غَيْرَ ضَارٍّ ، عَاجِلاً غَيْرَ آجِلٍ)) .

アッラーフンマ　アスキナー　ガイサン　ムギーサン　マリーアン　マリーアン、ナーフィアン　ガイラ　ダーッリン、アージラン　ガイラ　アージル。

「アッラーよ、日延べすることなく、私たちに害の無い有益な、祝福された豊穣の恵みの雨を降らせて下さい。」

١٧٠-((اللَّهُمَّ أَغِثْنَا ، اللَّهُمَّ أَغِثْنَا ، اللَّهُمَّ أَغِثْنَا)) .

アッラーフンマ　アギスナー、アッラーフンマ　アギスナー、アッラーフンマ　アギスナー。

「アッラーよ、私たちに恵みの雨を降らせて下さい。アッラーよ、私たちに恵みの雨を降らせて下さい。アッラーよ、私たちに恵みの雨を降らせて下さい。」

١٧١-((اللَّهُمَّ اسْقِ عِبَادَكَ،وَبَهَائِمَكَ، وَانْشُرْ رَحْمَتَكَ ، وَأَحْيِي بَلَدَكَ المَيِّتَ)) .

アッラーフンマスキ　イバーダカ、ワ　バハーイマカ、ワンシュル　ラハマタカ、ワ　アハイー　バラダカルマイイトゥ。

「アッラーよ、あなたのしもべたちと畜獣たちに雨を降らせ、あなたのご慈悲を広く行き渡らせ、あなたの枯れ果てた土地を蘇らせて下さい。」

64. 雨が降った時のドアー

١٧٢-((اللَّهُمَّ صَيِّباً نَافِعاً)) .

アッラーフンマ　サイイバン　ナーフィアー。

「アッラーよ、有益な雨を降らせて下さい。」

65. 雨が降った後のドアー

١٧٣-((مُطِرْنَا بِفَضْلِ اللهِ وَرَحْمَتِهِ)) .

ムティルナー　ビファドゥリッラーヒ　ワ　ラハマティヒ。

「アッラーの恩恵と慈悲によって、私たちは雨に恵まれました。」

66. 雨が止んで欲しい時のドアー

١٧٤-((اللَّهُمَّ حَوَالَيْنَا وَلا عَلَيْنَا.اللَّهُمَّ عَلَى الآكَامِ وَالظِّرَابِ ، وَبُطُونِ الأَوْدِيَةِ ، وَمَنَابِتِ الشَّجَرِ)) .

アッラーフンマ　ハワーライナー　ワ　ラー　アライナー。アッラーフンマ　アラルアーカーミ　ワッズィラービ、ワ　ブトゥーニルアウディヤティ　ワ　マナービティッシャジャル。

「アッラーよ、私たちの真上ではなく私たちの周囲

に[1]。アッラーよ、山や丘に、渓谷に、苗木に。」

67. 三日月を見た時のドアー

١٧٥-((اللهُ أَكْبَرُ،اللَّهُمَّ أَهِلَّهُ عَلَيْنَا بِالأَمْنِ وَالإِيمَانِ ،وَالسَّلامَةِ وَالإِسْلامِ، وَالتَّوْفِيقِ لِمَا تُحِبُّ رَبَّنَا وَتَرْضَى،رَبَّنَا وَرَبُّكَ اللهُ)).

アッラーフ　アクバル。アッラーフンマ　アヒッラフ　アライナー　ビルアムニ　ワルイーマーン。ワッサラーマティ　ワルイスラーム。ワッタウフィーキ　リマー　トゥヒッブ　ラッバナー　ワ　タルダー。ラッブナー　ワ　ラッブカッラー。

「アッラーは偉大なり。アッラーよ、私たちが安寧とその継続、そして平安とその継続の状態にあるまま、月を三日月にして下さい。そしてあなたがお望みになり御満悦されることにおける成功によって。私たちとあなたの主はアッラーです。」

68. *イフタール*（斎戒明けの食事）時のドアー

١٧٦-((ذَهَبَ الظَّمَأُ وَابْتَلَتِ العُرُوقُ ، وَثَبَتَ الأَجْرُ إِنْ شَاءَ اللهُ)) .

ザハバッザマウ　ワブタッラティルウルーク、ワサバタルアジュル　イン　シャーアッラー。

[1] 訳者注：つまり被害を及ぼすような大雨ではなく、適度かつ有益な雨を願います。

「喉の渇きを癒し、血管を湿らせ、そしてアッラーの思し召しならば（斎戒の）報奨を確実なものとされたまえ。」

١٧٧-((اللَّهُمَّ إِنِّي أَسْأَلُكَ بِرَحْمَتِكَ التِي وَسِعَتْ كُلَّ شَيْءٍ أَنْ تَغْفِرَ لِي)) .

アッラーフンマ　インニー　アスアルカ　ビラハマティカッラティー　ワスィアトゥ　クッラ　シャイイン　アン　タグフィラ　リー。

「アッラーよ、私は万有に満ち広がるあなたのご慈悲において、私を赦して下さることを祈ります。」

69. 食前のドアー

١٧٨-((بِسْمِ اللهِ)) .

ビスミッラー。

「もしあなた方が食べ物を食べる時には、『アッラーの御名において。』と唱えよ。そしてもしそれを最初に言い忘れた時には、『その始まりと終わりに、アッラーの御名において。』と言うのだ。」

١٧٩-((اللَّهُمَّ بَارِكْ لَنَا فِيهِ وَأَطْعِمْنَا خَيْراً مِنْهُ)) .

「アッラーによって食べ物を与えられた者は、次のように言う：

アッラーフンマ　バーリク　ラナー　フィーヒ。ワアトゥイムナー　ハイラン　ミンフ。

『アッラーよ、それにおいて私たちを祝福し、それ以上に良いものを私たちに施して下さい。』

((اللَّهُمَّ بَارِكْ لَنَا فِيهِ وَزِدْنَا مِنْهُ)) .

　また、アッラーによってミルクを与えられた者は、次のように言う：

アッラーフンマ　バーリク　ラナー　フィーヒ　ワズィドゥナー　ミンフ。

『アッラーよ、それにおいて私たちを祝福し、それを私たちに増やして下さい。』」

70. 食後のドアー

١٨٠-((الحَمْدُ لله الذِي أَطْعَمَنِي هَذَا ، وَرَزَقَنِيهِ ، مِنْ غَيْرِ حَوْلٍ مِنِّي وَلا قُوَّةٍ)).

アルハムドゥリッラーヒッラズィー　アトゥアマニー　ハーザー、ワ　ラザカニーヒ、ミン　ガイリ　ハウリン　ミンニー　ワ　ラー　クウワ。

「私の力が少しも介在することのないところにおいて、これを私に食べさせ、お恵みになったアッラーに称えあれ。」

١٨١-((الحَمْدُ لله حَمْداً كَثِيراً طَيِّباً مُبَارَكاً فِيهِ ، غَيْرَ مَكْفِيٍّ وَلا مُوَدَّعٍ ، وَلا مُسْتَغْنًى عَنْهُ رَبَّنَا)) .

アルハムドゥリッラーヒ　ハムダン　カスィーラン　タイイバン　ムバーラカン　フィーヒ。ガイラ　マクフィーイン　ワ　ラー　ムワッダイン、ワ　ラー　ムスタグナン　アンフ　ラッバナー。

「限りない、素晴らしい、祝福された讃美で私たちの主アッラーを称えます。私たちの主よ、（かれに対しての）讃美はこれで充分ということはなく、またそれは途絶えることもなく、かつ不可欠です。」

71. 食事を振る舞った者へのドアー

١٨٢-((اللَّهُمَّ بَارِكْ لَهُمْ فِيمَا رَزَقْتَهُمْ ، وَاغْفِرْ لَهُمْ وَارْحَمْهُمْ)).

アッラーフンマ　バーリク　ラフム　フィーマーラザクタフム、ワグフィル　ラフム　ワルハムフム。

「アッラーよ、あなたが彼らに御恵みになったものにおいて、彼らを祝福して下さい。そして彼らを赦し、彼らにご慈悲をおかけ下さい。」

72. 飲み物を与える者、それを行おうとする者へのドアー

١٨٣-((اللَّهُمَّ أَطْعِمْ مَنْ أَطْعَمَنِي وَاسْقِ مَنْ سَقَانِي))

アッラーフンマ　アトゥイム　マン　アトゥアマニー　ワスキ　マン　サカーニー。

「アッラーよ、私に食事を施した者に食事を恵みた

まえ。そして私に飲み物を与えた者に飲み物を与えたまえ。」

73. *イフタール*[1]を施した者へのドアー

١٨٤ – ((أَفْطَرَ عِنْدَكُمُ الصَّائِمُونَ ، وَأَكَلَ طَعَامَكُمُ الأَبْرَارُ ، وَصَلَّتْ عَلَيْكُمُ المَلائِكَةُ)) .

アフタラ　インダクムッサーイムーナ、ワ　アカラ　タアーマクムルアブラール、ワ　サッラトゥ　アライクムルマラーイカ。

「あなた方のもとで*サーイム*[2]たちが*サウム*を解き、正しくよき人々があなた方の食べ物を食べ、あなた方に対し天使たちが祈りますように。」

74. *サウム*中に食事を出された場合のドアー

185－「もしあなた方が食事に招待されたら、それに応じよ。もし斎戒中ならば祈願してやり、もしそうでないなら食べるのだ。」

75. 喧嘩をけしかけられた時に*サーイム*が言うこと

١٨٦ –((إِنِّي صَائِمٌ ، إِنِّي صَائِمٌ)) .

インニー　サーイム、インニー　サーイム。

---

[1] 訳者注：イフタールとは、サウム（いわゆる断食：日の出前から日没まで、飲食や性行為など諸々の行為をアッラーへの崇拝を意図して絶つこと）を行う者が日没後に摂る食事。

[2] 訳者注：つまりスィヤームを行う者。上記の脚注を参照のこと。

「私は斎戒中です。私は斎戒中です。」

76. 植物に実が付き始めたのを見た時のドアー

١٨٧ -((اللَّهُـمَّ بَـارِكْ لَنَـا فِي ثَمَرِنَا،وَبَـارِكْ لَنَـا فِي مَـدِينَتِنَا وَبَـارِكْ لَنَـا فِي صَاعِنَا،وَبَارِكْ لَنَا فِي مُدِّنَا)) .

アッラーフンマ　バーリク　ラナー　フィー　サマリナー。ワ　バーリク　ラナー　フィー　マディーナティナー。ワ　バーリク　ラナー　フィー　サーイナー。ワ　バーリク　ラナー　フィー　ムッディナー。

「アッラーよ、私たちの果実において私たちを祝福して下さい。私たちの町において私たちを祝福して下さい。私たちのサーア（穀物の計量単位）において私たちを祝福して下さい。私たちのムッド（穀物の計量単位）において私たちを祝福して下さい。」

77. くしゃみをした時のドアー

١٨٨ -((الحَمْدُ لله)) .

アルハムドゥリッラー。

「あなた方の誰かがくしゃみをしたら『アッラーに称えあれ。』と言いなさい。

((يَرْحَمُكَ اللهُ)) .

ヤルハムカッラー。

そうしたら彼の同胞、あるいはそばにいた者は、『アッラーがあなたにご慈悲を垂れますよう。』と言いなさい。

((يَهْدِيكُمُ اللهُ وَيُصْلِحُ بَالَكُمْ)) .

ヤハディークムッラーフ　ワ　ユスリフ　バーラクム。

そしてそばに居た者が、『アッラーがあなたにご慈悲を垂れますよう。』と彼に言ったならば、『あなた方にアッラーのお導きがありますように。またあなた方の状態を正して下さいますように。』と言いなさい。」

78. ムスリムでない者がくしゃみをし、アッラーを讃えた時に彼に言うこと

١٨٩-((يَهْدِيكُمُ اللهُ وَيُصْلِحُ بَالَكُمْ)) .

ヤハディークムッラーフ　ワ　ユスリフ　バーラクム。

「あなた方にアッラーのお導きがありますように。またあなた方の状態を正して下さいますように。」と言いなさい。

79. 結婚する者へのドアー

١٩٠-((بَارَكَ اللهُ لَكَ ، وَبَارَكَ عَلَيْكَ ، وَجَمَعَ بَيْنَكُمَا فِي خَيْرٍ)) .

バーラカッラーフ　ラカ、ワ　バーラカ　アライク。

ワ　ジャマア　バイナクマー　フィー　ハイル。

「アッラーが（あなたの結婚において）あなたに祝福を与え、降り注いでくれますように。そしてあなた方二人をよきものにおいて、縁結びして下さいますように。」

80. 結婚する者、及び家畜を買う時のドアー

١٩١-((اللَّهُمَّ إِنِّي أَسْأَلُكَ خَيْرَهَا وَخَيْرَ مَا جَبَلْتَهَا عَلَيْهِ وَأَعُوذُ بِكَ مِنْ شَرِّهَا وَشَرِّ مَا جَبَلْتَهَا عَلَيْهِ)) .

アッラーフンマ　インニー　アスアルカ　ハイラハー　ワ　ハイラ　マー　ジャバルタハー　アライヒ　ワ　アウーズ　ビカ　ミン　シャッリハー　ワ　シャッリ　マー　ジャバルタハー　アライヒ。

「アッラーよ、私はそこにある良きものを求め、あなたがそのように創造されたところの良きものを求めます。そしてそこにある悪から、そしてあなたがそのように創造されたところの悪しきものからのご加護を求めます。」

81. 床入り前のドアー

١٩٢-((بِسْمِ اللهِ . اللَّهُمَّ جَنِّبْنَا الشَّيْطَانَ ، وَجَنِّبِ الشَّيْطَانَ مَا رَزَقْتَنَا)) .

ビスミッラー。アッラーフンマ　ジャンニブナッシャイターナ、ワ　ジャンニビッシャイターナ　マー

ラザクタナー。

「アッラーの御名において。アッラーよ、私たちからシャイターンを退けて下さい。そして私たちに授けて下さったものからシャイターンを退けて下さい。」

82. 怒った時のドアー

١٩٣-((أَعُوذُ بِالله مِنَ الشَّيْطَانِ الرَّجِيمِ)) .

アウーズ　ビッラーヒ　ミナッシャイターニッラジーム。

「私はアッラーに、呪われるべきシャイターンからのご加護を求めます。」

83. 災難に遭った者を見た時のドアー

١٩٤-((الحَمْدُ لله الذِي عَافَانِي مِمَّا ابْتَلاكَ بِهِ وَفَضَّلَنِي عَلَى كَثِيرٍ مِمَّنْ خَلَقَ تَفْضِيلا)).

アルハムドゥリッラーヒッラズィー　アーファーニー　ミンマブタラーカ　ビヒ。ワ　ファッダラニー　アラー　カスィーリン　ミンマン　ハラカ　タフディーラー。

「あなたに降りかかった災難から私を守って下さった、そして私をかれが創造された多くのものより尊んで下さったアッラーに称えあれ。」

84. 集まりにおいて言うドアー

١٩٥-((رَبِّ اغْفِرْ لِي وَتُبْ عَلَيَّ إِنَّكَ أَنْتَ التَّوَّابُ الغَفُورُ)) .

ラッビグフィル　リー　ワ　トゥブ　アライヤ　インナカ　アンタッタウワーブルガフール。(×100回)

「主よ、私をお赦し下さい。私の悔悟を受け入れて下さい。本当にあなたはよく悔悟を受け入れ、よくお赦し下さるお方。」

85. 集まりの解散に際してのドアー

١٩٦-((سُبْحَانَكَ اللَّهُمَّ وَبِحَمْدِكَ ، أَشْهَدُ أَنْ لا إلـهَ إلا أَنْـتَ ، أَسْـتَغْفِرُكَ وَأَتُوبُ إِلَيْكَ)) .

スブハーナカッラーフンマ　ワ　ビハムディカ、アシュハドゥ　アッラー　イラーハ　イッラー　アンタ、アスタグフィルカ　ワ　アトゥーブ　イライカ。

「アッラーよ、あなたに賞賛と讃美あれ。私はあなた以外に真に崇拝すべきものはないことを証言します。私はあなたにお赦しを求め悔悟します。」

86.「アッラーがあなたを赦して下さりますように」と言った者への言葉

١٩٧-((وَلَكَ)) .

ワ　ラク。

「そしてあなたに対しても。」

87. あなたに善いことをした者へのドアー

١٩٨-((جَزَاكَ اللهُ خَيْراً)).

ジャザーカッラーフ　ハイラー。

「アッラーがあなたに良き報奨を与えて下さりますよう。」

88. 偽メシアからの護身

199ー「洞窟章の最初の 10 節を覚えた者は偽メシアの災難から護られる。」そして各礼拝の終わりに悪魔からのご加護をアッラーに請うこと。

89.「私はアッラーゆえにあなたを愛します」と言った者へのドアー

٢٠٠-((أَحَبَّكَ الذِي أَحْبَبْتَنِي لَهُ)).

アハッバカッラズィー　アハバブタニー　ラフ。

「あなたが私を愛した所以となられたそのお方が、あなたを愛されますように。」

90. あなたに財を施した者へのドアー

٢٠١-((بَارَكَ اللهُ لَكَ فِي أَهْلِكَ وَمَالِكَ)).

バーラカッラーフ　ラカ　フィー　アハリカ　ワマーリク。

「アッラーがあなたの家族とあなたの財産に関してあなたを祝福して下さいますよう。」

91．借金返済時の債権者へのドアー

٢٠٢–((بَـارَكَ اللهُ لَـكَ فِي أَهْلِـكَ وَمَالِـكَ، إِنَّـمَا جَـزَاءُ السَّـلَفِ الحَمْـدُ وَالأَدَاءِ)).

バーラカッラーフ　ラカ　フィー　アハリカ　ワ　マーリク。インナマー　ジャザーウッサラフィルハムドゥ　ワルアダー。

「アッラーがあなたの家族とあなたの財産に関してあなたを祝福して下さいますよう。貸付の報奨は、その返済と賞賛です。」

92．不信仰に恐怖を抱いた時のドアー

٢٠٣–((اللَّهُمَّ إِنِّي أَعُوذُ بِكَ أَنْ أُشْرِكَ بِـكَ وَأَنَـا أَعْلَـمُ، وَأَسْـتَغْفِرُكَ لِـمَا لا أَعْلَمُ)).

アッラーフンマ　インニー　アウーズ　ビカ　アン　ウシュリカ　ビカ　ワ　アナー　アァラム。ワ　アスタグフィルカ　リマー　ラー　アァラム。

「アッラーよ、私はあなたに、それと知りながらあなたに他の者を並べて崇める罪からのご加護を求めます。そして、私が知らずに犯した罪へのあなたの御赦しを求めます。」

93. 「アッラーがあなたを祝福して下さいますよう」と言った者へのドアー

٢٠٤-((وَفِيكَ بَارَكَ اللهُ)) .

ワ　フィーカ　バーラカッラー。

「あなたにもアッラーからの祝福がありますよう。」

94. ティヤラ[1]に対する嫌悪のドアー

٢٠٥-((اللَّهُمَّ لا طَيْرَ إلا طَيْرُكَ ، وَلا خَيْرَ إلا خَيْرُكَ ، وَلا إلهَ غَيْرُكَ)) .

アッラーフンマ　ラー　タイラ　イッラー　タイルク。ワ　ラー　ハイラ　イッラー　ハイルク。ワ　ラー　イラーハ　ガイルク。

「アッラーよ、あなたを差し置いて（吉凶の原因となるような）鳥などはいません、あなたの善の他に善はありません、あなた以外に真に崇拝すべきものはありません。」

95. 乗り物に乗る時のドアー

٢٠٦-بِسْمِ اللهِ ، وَالحَمْدُ للهِ ﴿ سُبْحَانَ الَّذِي سَخَّرَ لَنَا هَذَا وَمَا كُنَّا لَهُ مُقْرِنِينَ ۞ وَإِنَّا إِلَى رَبِّنَا لَمُنْقَلِبُونَ ﴾ ((الحَمْدُ للهِ ، الحَمْدُ للهِ ، الحَمْدُ للهِ ، اللهُ أَكْبَرُ،

[1] 訳者注：「ティヤラ」とは、ある種の鳥の出現を物事の吉凶と結びつける、イスラーム以前の時代の迷信。鳥に限らず、アッラー以外の何ものかが何かを益したり害したりすると考えることは、シルクの一種です（36ページの訳者注参照）。

اللهُ أَكْبَرُ ، اللهُ أَكْبَرُ ، سُبْحَانَكَ اللَّهُمَّ إِنِّي ظَلَمْتُ نَفْسِي فَاغْفِرْ لِي ، فَإِنَّهُ لا يَغْفِرُ الذُّنُوبَ إلا أَنْتَ)) .

ビスミッラー。ワルハムドゥ　リッラー。『スブハーナッラズィー　サッハラ　ラナー　ハーザー　ワマー　クンナー　ラフ　ムクリニーン＊　ワ　インナー　イラー　ラッビナー　ラムンカリブーン』アルハムドゥ　リッラー。アルハムドゥ　リッラー。アルハムドゥ　リッラー。アッラーフ　アクバル。アッラーフ　アクバル。アッラーフ　アクバル。スブハーナカッラーフンマ　インニー　ザラムトゥ　ナフスィー　ファグフィル　リー。ファインナフ　ラー　ヤグフィルッズヌーバ　イッラー　アンタ。

「アッラーの御名において、アッラーに称えあれ。『これらのものを私たちに服従させた御方を讃えます。これは私たち自身では出来なかったことです。＊ 本当に私たちは，私たちの主の御許に必ず帰るのです。』【金の装飾章：13～14】アッラーに称えあれ。アッラーに称えあれ。アッラーに称えあれ。アッラーは偉大なり。アッラーは偉大なり。アッラーは偉大なり。アッラーよ、あなたに称えあれ。本当に私は自分自身に不正を働きました。ですから私を御赦

し下さい。本当に罪を御赦しになられるのは、あなたの他におりません。」

96. 旅立ちのドアー

٢٠٧–اللهُ أَكْبَرُ ، اللهُ أَكْبَرُ،اللهُ أَكْبَرُ،﴿سُبْحَانَ الذِي سَخَّرَ لَنَا هَذَا وَمَا كُنَّا لَهُ مُقْرِنِينَ*وَإِنَّا إِلَى رَبِّنَا لَمُنْقَلِبُونَ﴾ ((اللَّهُمَّ إِنَّا نَسْأَلُكَ فِي سَفَرِنَا هَذَا البِرَّ وَالتَّقْوَى، وَمِنَ العَمَلِ مَا تَرْضَى،اللَّهُمَّ هَوِّنْ عَلَيْنَا سَفَرَنَا هَذَا وَاطْوِ عَنَّا بُعْدَهُ،اللَّهُمَّ أَنْتَ الصَّاحِبُ فِي السَّفَرِ، وَالخَلِيفَةُ فِي الأَهْلِ، اللَّهُمَّ إِنِّي أَعُوذُ بِكَ مِنْ وَعْثَاءِ السَّفَرِ، وَكَآبَةِالمَنْظَرِ، وَسُوءِالمُنْقَلَبِ ،فِي المَالِ وَالأَهْلِ))

((آيِبُونَ ، تَائِبُونَ ، عَابِدُونَ ، لِرَبِّنَا حَامِدُونَ)) .

アッラーフ　アクバル。アッラーフ　アクバル。アッラーフ　アクバル。『スブハーナッラズィー　サッハラ　ラナー　ハーザー　ワ　マー　クンナー　ラフ　ムクリニーン＊ワ　インナー　イラー　ラッビナー　ラムンカリブーン』アッラーフンマ　インナー　ナスアルカ　フィー　サファリナー　ハーザルビッラ　ワッタクワー。ワ　ミナルアマリ　マータルダー。アッラーフンマ　ハウウィン　アライナー　サファラナー　ハーザー。ワトゥウィ　アンナー　ブゥダフ。アッラーフンマ　アンタッサーヒブフィッサファル。ワルハリーファトゥ　フィルアハ

ル。アッラーフンマ　インニー　アウーズ　ビカミン　ワァサーイッサファリ、ワ　カアーバティルマンザリ、ワ　スーイルムンカラビ　フィルマーリワルアハル。（旅から帰ってきたらこれらの言葉の他に、更に次の言葉を付け加える）アーイブーナ、ターイブーナ、アービドゥーナ、リラッビナー　ハーミドゥーン。

「アッラーは偉大なり。アッラーは偉大なり。アッラーは偉大なり。『これらのものを私たちに服従させた御方を讃えます。これは私たち自身では出来なかったことです。＊ 本当に私たちは，私たちの主の御許に必ず帰るのです。』【金の装飾章：13～14】アッラーよ、私たちはこの私たちの旅において、善行と敬虔さを請います。そしてあなたのご満悦される行いを求めます。アッラーよ、私たちのこの旅を容易くして下さい。そしてその距離を縮めて下さい。アッラーよ、あなたは旅の道連れであり、（残した）家族の後見人です。アッラーよ、私はあなたに旅の困難と風景がもたらす倦怠さから、そして財産と家族に万一のことがないよう、あなたにご加護を求めます。」（そして帰ってきたら「私たちは帰り、悔悟し、

崇拝します。そして私たちの主を称えます。」と付け加える。）

97. 村や町に入る時のドアー

٢٠٨–((اللَّهُمَّ رَبَّ السَّمَاوَاتِ السَّبْعِ وَمَا أَظْلَلْنَ ، وَرَبَّ الأَرَضِينَ السَّبْعِ وَمَا أَقْلَلْنَ ، وَرَبَّ الشَّيَاطِينِ وَمَا أَضْلَلْنَ ، وَرَبُّ الرِّيَاحِ وَمَا ذَرَيْنَ . أَسْأَلُكَ خَيْرَ هَذِهِ القَرْيَةِ وَخَيْرَ أَهْلِهَا ، وَخَيْرَ مَا فِيهَا ، وَأَعُوذُ بِكَ مِنْ شَرِّهَا ، وَشَرِّ أَهْلِهَا ، وَشَرِّ مَا فِيهَا)) .

アッラーフンマ　ラッバッサマーワーティッサブイ　ワ　マー　アズラルン。ワ　ラッバルアラディーナッサブイ　ワ　マー　アクラルン。ワ　ラッバッシャヤーティーニ　ワ　マー　アドゥラルン。ワ　ラッバッリヤーヒ　ワ　マー　ザライン。アスアルカハイラ　ハーズィヒルカルヤティ　ワ　ハイラ　アハリハー、ワ　ハイラ　マー　フィーハー。ワ　アウーズ　ビカ　ミン　シャッリハー、ワ　シャッリアハリハー、ワ　シャッリ　マー　フィーハー。

「アッラーよ､7層の天とその影が覆うものの主よ、7 層の大地とそれが運ぶものの主よ、多くのシャイターンとそれらが迷わせたものの主よ、風とそれが吹き飛ばしたものの主よ、私はこの村の良きものとその住人の良きものを、そしてそこにある良きもの

を求めます。また私はあなたにその悪とその住人の悪とそこにある悪からのご加護を求めます。」

98. 市場に入る時のドアー

٢٠٩-((لا إلهَ إلا اللهُ وَحْـدَهُ لا شَرِيـكَ لَـهُ، لَـهُ المُلْـكُ وَلَـهُ الحَمْـدُ يُحْيِـي وَيُمِيتُ وَهُوَ حَيٌّ لا يَمُوتُ، بِيَدِهِ الخَيْرِ، وَهُوَ عَلَى كُلِ شَيْءٍ قَدِيرٌ)).

ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ワハダフ　ラー　シャリーカ　ラフ。ラフルムルク　ワ　ラフルハムドゥ。ユフイー　ワ　ユミートゥ　ワ　フワ　ハイユン　ラー　ヤムートゥ。ビヤディヒルハイル、ワ　フワ　アラー　クッリ　シャイイン　カディール。

「唯一のアッラー以外に真に崇拝すべきものはなく、かれに並ぶ何ものもありません。主権はかれに属し讃美もかれに属します。生死を司る御方、かれは死ぬことなく永遠に生きるお方。全ての良いことはかれの手中にあり、かれは全てにおいて全能です。」

99. 乗り物の調子が悪い時のドアー

٢١٠-((بِسْمِ اللهِ)).

ビスミッラー。

「アッラーの御名において。」

100. 旅人の居住者へのドアー

٢١١-((أَسْتَوْدِعُكُمُ اللهَ الذِي لا تَضِيعُ وَدَائِعُهُ)) .

アスタウディウクムッラーハッラズィー　ラー　タディーウ　ワダーイウフ。

「私は、信託を破棄することのないアッラーの御許にあなた方を委ねてお別れします。」

101. 居住者の旅人へのドアー

٢١٢-((أَسْتَوْدِعُ اللهَ دِينَكَ ، وَأَمَانَتَكَ ، وَخَوَاتِيمَ عَمَلِكَ)) .

アスタウディウッラーハ　ディーナカ、ワ　アマーナタカ、ワ　ハワーティーマ　アマリカ。

「私は、あなたの宗教と信託とあなたの行為の集大成をアッラーの御許に委ねてお別れします。」

٢١٣-((زَوَّدَكَ اللهُ التَّقْوَى ، وَغَفَرَ ذَنْبَكَ ، وَيَسَّرَ لَكَ الخَيْرَ حَيْثُ مَا كُنْتَ)).

ザウワダカッラーフッタクワー。ワ　ガファラ　ザンバカ。ワ　ヤッサラ　ラカルハイラ　ハイス　マー　クントゥ。

「アッラーがあなたに敬虔さを増大させ、あなたの罪を赦し、そしてどこにいても善を容易くして下さいますよう。」

102. 旅の道中における*タクビール*と*タスビーフ*[①]

214ージャービル（彼にアッラーのご満悦あれ）は言った。「私たちは乗り物に乗った時は、*タクビール*を口にしたものでした。そしてそこから降りた時には、*タスビーフ*を口にしたものでした。」

103. *サハル*時（夜明け前）の旅人のドアー

٢١٥-((سَمَّعَ سَـامِعٌ بِحَمْـدِ الله ، وَحُسْـنِ بَلائِـهِ عَلَيْنَـا . رَبَّنَـا صَـاحِبْنَا ، وَأَفْضِلْ عَلَيْنَا عَائِذاً بِالله مِنَ النَّارِ)) .

サンマア　サーミウン　ビハムディッラーヒ、ワ　フスニ　バラーイヒ　アライナー。ラッバナー　サーヒブナー、ワ　アフディル　アライナー　アーイザン　ビッラーヒ　ミナンナール。

「（天使たちよ、）私たちへの素晴らしい恩寵に対する私たちのアッラーへの讃美を、アッラーに伝えて下さい。主よ、私たちの同伴者よ、私たちに恩恵を降り注ぎ、そして業火からのご加護をお与え下さい。」

[①] 訳者注：「タクビール」とは「アッラーフ　アクバル（アッラーは偉大なり）」、「タスビーフ」とは「スブハーナッラー（アッラーはあらゆる不完全性や欠陥から無縁な、崇高なお方）」と念じて言うことです。

104. 旅において他の家や場所に泊まる時のドアー

٢١٦-((أَعُوذُ بِكَلِمَاتِ اللهِ التَّامَّاتِ مِنْ شَرِّ مَا خَلَقَ)) .

アウーズ　ビカリマーティッラーヒッターンマーティ　ミン　シャッリ　マー　ハラク。

「私はアッラーの完璧な御言葉に、彼が創造した悪からのご加護を求めます。」

105. 旅から戻った時のズィクル

٢١٧-((لا إلهَ إلا اللهُ وَحْدَهُ لا شَرِيكَ لَهُ ، لَهُ الْمُلْكُ وَلَهُ الحَمْدُ ، وَهُوَ عَلَى كُلِّ شَيْءٍ قَدِيرٌ ، آيِبُونَ ، تَائِبُونَ ، عَابِدُونَ ، لِرَبِّنَا حَامِدُونَ ، صَدَقَ اللهُ وَعْدَهُ، وَنَصَرَ عَبْدَهُ ، وَهَزَمَ الأَحْزَابَ وَحْدَهُ)) .

ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ワハダフ　ラー　シャリーカ　ラフ。ラフルムルク　ワ　ラフルハムドゥ、ワ　フワ　アラー　クッリ　シャイイン　カディール。アーイブーナ、ターイブーナ、アービドゥーナ、リラッビナー　ハーミドゥーン。サダカッラーフ　ワァダフ、ワ　ナサラ　アブダフ、ワ　ハザマルアハザーバ　ワハダフ。

「唯一のアッラー以外に真に崇拝すべきものはなく、かれに並ぶ何ものもありません。王権はかれに属し、讃美もかれに属します。かれは全てにおいて全能です。私たちは帰り、悔悟し、崇拝します。そして私

たちの主を称えます。アッラーは御自身のお約束を履行し、そのしもべを勝利させ、部族連合を敗走させました。」

106. 嬉しい事や嫌な事があった時に言うこと

٢١٨-((الحَمْدُ لله الذِي بِنِعْمَتِهِ تَتِمُّ الصَّالِحَاتُ)) .

アルハムドゥ　リッラーヒッラズィー´ ビニァマティヒ　タティンムッサーリハートゥ。

預言者は彼に嬉しいことがもたらされると、次のように言った：「アッラーに称えあれ。善行はかれの恩恵によって完遂されます。」

((الحَمْدُ لله عَلَى كُلِّ حَالٍ)) .

アルハムドゥリッラーヒ　アラー　クッリ´ハール。

また預言者は、彼に嫌なことがもたらされると次のように言った：「どのような状況であれ、アッラーを称えます。」

107. 預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）のために祈願すること[1]の徳

219ー預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。「私のために１回祈願した者には、アッラー

[1] 具体的な祈願の仕方については、本書 12 頁の脚注①参照のこと。

が彼のために 10 回祈願する。」

220ー預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。「私の墓を*イード*[1]としてはならない。私のために祈願しなさい。あなた方の祈願はあなた方がどこにいようと私に届くのであるから。」

221ー預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。「吝嗇な者とは、私の名を述べた時に私への祈願をしない者である。」

222ー預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。「アッラーのもとには私の*ウンマ*[2]からの*サラーム*を私に伝える、地上を周遊してまわる天使たちがいる。」

223ー預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。「私に挨拶する者にはアッラーが私に私の魂を戻し、そして私は彼への挨拶を返すのである。」

---

[1] 訳者注：「イード」とは定期的に訪れるところのもの、そして時節的なものであれ、場所的なものであれ、何かを定期的に行うことを指します。それゆえ預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は人々が定期的に彼の墓を来訪することを諫めたのであり、本文の後半部分にもあるように、彼への祈願はどこからでも届くのです。

[2] 訳者注：預言者ムハンマド（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）の共同体のこと。

108. サラーム（挨拶）[①]を広めること

224ー預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。「あなた方は信仰するまで天国には入らないだろう。そしてあなた方はお互いに愛し合うようになるまで、信仰したことにはならないだろう。だからもしそれを実行すれば、あなた方がお互いに愛し合うようになる方法を教えてやろう。あなた方の間にサラーム（挨拶）を広めるのだ。」

225ー「次の 3 つの特質を備えた者は信仰を結集したと言える：まず自らに公正であること、人々に対して自分から挨拶を行うこと、困窮の中での施し。」

226ーアブドゥッラー　ブン　ウマル（彼らにアッラーのご満悦あれ）は伝える。「ある男が預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）に『どのようなイスラームが最も優れているのでしょうか？』と尋ねた。

[①] 訳者注：ムスリムの一般的な挨拶の言葉「アッサラーム　アライクム（あなた方に平安がありますよう）」のこと。あるいはそれに続けて「ワ　ラハマトゥッラー（そしてアッラーのご慈悲を）」、更に「ワ　バラカートゥフ（そしてアッラーの祝福を）」と付け足せば尚良いとされます。そして挨拶を受けたムスリムは、それと同様かそれより良いサラームを返すべきとされます。至高のアッラーは仰られた：《そしてあなた方が挨拶を受けたら、それより良い挨拶を返すか、あるいは同じ挨拶を返すのだ。実にアッラーは全てのことを精算されるお方である。》（女人章：86）

預言者は言った。『食事を施し、あなたの知り合いにも知らない者にもサラーム（挨拶）をすることである。』」

109. 不信仰者が挨拶した時の返事

٢٢٧–((وَعَلَيْكُمْ)) .

ワ　アライクム。

「啓典の民があなた方に挨拶した時には『そしてあなた方の上にも。』と返しなさい。」

110. ニワトリとロバの鳴き声を聞いた時のドアー

228ー「あなた方が雄鶏の鳴き声を聞いたらアッラーに彼の恩恵を求めなさい。雄鶏は天使を見たのだから。そしてロバの鳴き声を聞いたら、アッラーにシャイターンからの助けを求めなさい。ロバはシャイターンを見たのだから。」

111. 夜、犬の吠える声を聞いた時のドアー

229ー「あなた方が夜、犬の吠える声やロバの鳴き声を聞いたらアッラーにそれらからのご加護を求めなさい。それらはあなた方に見えないものを見るのだから。」

112. 悪口を言ってしまった者へのドアー

٢٣٠– ((اللَّهُمَّ فَأَيُّمَا مُؤْمِنٍ سَبَبْتُهُ فَاجْعَلْ ذَلِكَ لَهُ قُرْبَةً إِلَيْكَ يَوْمَ القِيَامَةِ)).

アッラーフンマ　ファアイユマー　ムウミニン　サバブトゥフ　ファジュアル　ザーリカ　ラフ　クルバタン　イライカ　ヤウマルキヤーマ。

預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。「アッラーよ、私が悪口を言ってしまった信者に関しては、それを審判の日にかれがあなたに近付くための善行と換えて下さい。」

113．誰か他のムスリムを褒める時に言うこと

٢٣١-((أَحْسِبُ فُلاَنًا وَاللهُ حَسِيبُهُ ، وَلا أُزَكِّي عَلَى اللهِ أَحَداً أَحْسِبُهُ)) .

アハスィブ（ここで名前を言う）ワッラーフ　ハスィーブフ、ワ　ラー　ウザッキー　アラッラーヒ　アハダン　アハスィブフ（ここでその者の誉められるべき性質を言う）。

「誰かを誉めずにはいられない時にはこう言いなさい。『アッラーこそ真の裁定をされるお方であり、アッラーに対して誰のことを称えるつもりもありませんが、私は某（名前を言う）を～（その者の誉められるべき性質を言う）と思います。』」

114．誰かに誉められた時にムスリムが 言うこと

٢٣٢-((اللَّهُمَّ لا تُؤَاخِذْنِي بِمَا يَقُولُونَ ، وَاغْفِرْ لِي مَا لا يَعْلَمُونَ وَاجْعَلْنِي

خَيْراً مِمَّا يَظُنُّونَ)) .

アッラーフンマ　ラー　トゥアーヒズニー　ビマー　ヤクールーン。ワグフィル　リー　マー　ラー　ヤァラムーン。ワジュアルニー　ハイラン　ミンマー　ヤズンヌーン。

「アッラーよ、彼らが言うことに関して私を咎めないで下さい。そして彼らが知らないことに関して私を御赦し下さい。そして私を、彼らが思っている以上に良い者として下さい。」

115. *ハッジ・ウムラ*中の*タルビヤ*[1]の仕方

٢٣٣-((لَبَّيْـكَ اللَّهُـمَّ لَبَّيْـكَ ، لَبَّيْـكَ لا شَرِيـكَ لَـكَ لَبَّيْـكَ ، إِنَّ الحَمْـدَ ، وَالنِّعْمَةَ، لَكَ وَالْمُلْكُ ، لا شَرِيكَ لَكَ)) .

ラッバイカッラーフンマ　ラッバイク。ラッバイカ　ラー　シャリーカ　ラカ　ラッバイク。インナルハムダ、ワンニァマタ、ラカ　ワルムルカ、ラー　シ

[1] 訳者注：「ハッジ」とはヒジュラ暦 12 月上旬にマッカで行われるいわゆる大巡礼のことで、イスラームの 5 柱の 1 つです。一方「ウムラ」もやはりマッカ巡礼ですが、特定の時期は定められておらず、かつ行われる宗教儀式もハッジに比べて軽減されています。ウムラはハナフィー・マーリキー学派でスンナ（推奨行為）、シャーフィイー・ハンバリー学派では義務とされています。また「タルビヤ」とは巡礼の禁忌状態にある特定の時期に念じることを推奨、あるいは義務付けられている（学派によって相違あり）一連の言葉のことを指します。

ャリーカ　ラク。

「アッラーよ、あなたの御許に馳せ参じました。あなたの御許に馳せ参じました。あなたに並ぶ者はいません。讃美と恩恵と主権は、並ぶ者無きあなたの物です。」

116. 黒石のある柱[①]に来た時の*タクビール*

234ー「預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は*カアバ*神殿の周りを駱駝に乗って*タワーフ*[②]し、黒石のある柱に辿り着くたびに持っていた物でそれを指し示し、*タクビール*をした。」

117. *イエメン柱*[③]と黒石のある柱の間のドアー

٢٣٥–((رَبَّنَا ءَاتِنَا فِي الدُّنْيَا حَسَنَةً وَفِي الآخِرَةِ حَسَنَةً وَقِنَا عَذَابَ النَّارِ)).

ラッバナー　アーティナー　フィッドゥニヤー　ハサナ。ワ　フィルアーヒラティ　ハサナ。ワ　キナー　アザーバンナール。

---

① 訳者注：イスラーム第一の聖地マッカのハラーム・モスクの中心にあるカアバ神殿は立方体に近い形をしており、その4つの角には支柱がありますが、各々の支柱には名称があります。「黒石のある柱」は文字通り黒い石のはまっている柱で、タワーフ（下記訳者注参照）するときの出発点です。

② 訳者注：「タワーフ」は巡礼の諸義務行為の内の1つ。アッラーを崇拝するためにカアバ神殿の周囲を7回逆時計回りに廻ることです。

③ 訳者注：「イエメン柱」とは、黒石のある柱からタワーフを始めたとき最後に通る柱。

「私たちの主よ，現世で私たちに良きものを与え，また来世でも良きものを与えたまえ。そして業火の懲罰から私たちを守りたまえ。」

118. サファーと マルワの丘[1]に立った時のドアー

٢٣٦-((﴿إِنَّ الصَّفَا وَالْمَرْوَةَ مِنْ شَعَائِرِ اللهِ﴾أَبْدَأُ بِمَا بَدَأَ اللهُ بِهِ)) .

『インナッサファー　ワルマルワタ　ミン　シャアーイリッラー。』アブダウ　ビマー　バダアッラーフビヒ。

「預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）はサファーの丘に近づいた時、言った。『《本当にサファーとマルワは，アッラーのみしるしの内の１つである。》私はアッラーがそれでもって始められたものにおいて、始める。』

((لا إلهَ إلا اللهُ وَحْدَهُ لا شَرِيكَ لَهُ ، لَهُ الْمُلْكُ وَلَهُ الحَمْدُ وَهُوَ عَلَى كُلِّ شَيْءٍ قَدِيرٌ ، لا إلهَ إلا اللهُ وَحْدَهُ، أَنْجَزَ وَعْدَهُ ، وَنَصَرَ عَبْدَهُ ، وَهَزَمَ الأَحْزَابَ وَحْدَهُ)) .

ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ワハダフ　ラー　シャリーカ　ラフ。ラフルムルク　ワ　ラフルハム

[1] 訳者注：「サファーとマルワの丘」とは、全長約 400mの回廊を挟む 2 つの丘。「サファーの丘」から始めてその間を 3 往復半することは「サアイ」と呼ばれ、巡礼の諸義務行為の内の１つです。

ドゥ　ワ　フワ　アラー　クッリ　シャイイン　カディール。ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ワハダフ。アンジャザ　ワァダフ、ワ　ナサラ　アブダフ、ワ　ハザマルアハザーバ　ワハダフ。

こうして*サファー*の丘から始め、*カアバ*神殿が見えるところまで上ると*キブラ*の方向[①]を向き、*タウヒード*と*タクビール*の言葉[②]を唱え、言った。『唯一のアッラー以外に真に崇拝すべきものはなく、かれに並ぶ何ものもありません。主権はかれに属し讃美もかれに属します。かれは全てにおいて全能です。唯一のアッラー以外に真に崇拝すべきものはいません。かれは約束を履行し、そのしもべを勝利させ、（背信の）徒党を敗走させました。』

また*マルワ*の丘でも、*サファー*の丘でした通りに行った。」

---

① 訳者注：つまりカアバ神殿の方向。
② 訳者注：「タウヒード」の言葉とは「アッラーが唯一であり、かれに並ぶものは何もない」ということを示す言葉を念唱すること。最も一般的なのは「ラー　イラーハ　イッラッラー（アッラー以外に真に崇拝すべきものはなし）」という言葉。

119. *アラファ*[1]の日のドアー

٢٣٧-((لا إلهَ إلا اللهُ وَحْدَهُ لا شَرِيكَ لَهُ ، لَهُ المُلْكُ وَلَهُ الحَمْـدُ وَهُـوَ عَـلَى كُلِّ شَيْءٍ قَدِيرٌ)) .

ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ワハダフ　ラー　シャリーカ　ラフ。ラフルムルク　ワ　ラフルハムドゥ　ワ　フワ　アラー　クッリ　シャイイン　カディール。

「唯一のアッラー以外に真に崇拝すべきものはなく、かれに並ぶ何ものもありません。主権はかれに属し讃美もかれに属します。かれは全てにおいて全能です。」

120. *ムズダリファ*[2]におけるズィクル

238－「預言者は（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）*カスワー*（彼の愛用の駱駝の名前）に乗って*ムズダリファ*に着くと、キブラの方角を向いた（そしてドア

[1] 訳者注：「アラファ」とはヒジュラ暦12月の9日目、ハッジの巡礼者たちが赴くことを義務付けられているマッカ近郊の台地。この日この地でアッラーを念じ、タルビヤを唱え、祈り、犯した罪の赦しを乞う事は、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）の「ハッジはアラファである。」という言葉が示す通り、ハッジのメインイベント的意味合いを持っています。

[2] 訳者注：「ムズダリファ」とは、ヒジュラ暦12月9日の夜を過ごすことになっているマッカ近郊の場所。

ーをし、*タクビール*と*タハリール*と*タウヒード*の言葉[1]を唱えた)。そして空が明るくなるまでそのまま立ち続け、日が昇る前に出発した。」

121. ジャマラート[2]の投石の際のタクビール

239ー「3つの*ジャマラート*で小石を投げるたびに*タクビール*を唱える。そして1番目と2番目の*ジャマラート*への投石の後に立ち止まり、*キブラ*の方角を向いて両手を上げながらドアーする。*アカバ*(3番目の*ジャマラート*)の投石に関しても同様に*タクビール*しながら投石するが、その後は立ち止まらず立ち去る。」

122. 驚嘆や嬉しい時のドアー

٢٤٠-((سُبْحَانَ اللهِ)) .

スブハーナッラー。

「アッラーに称えあれ。」

٢٤١-((اللهُ أَكْبَرُ)) .

アッラーフ　アクバル。

---

[1] 訳者注:「タハリール」の言葉とは「タウヒード」の言葉と同義。163頁の脚注②参照のこと。

[2] 訳者注:マッカ近郊の巡礼者宿営地「ミナー」にある、大小中3本の投石塔。ヒジュラ暦12月10日に最大の柱に7個、そして11、12、13日には各柱に7個ずつの小石を投石することになっています。

「アッラーは偉大なり。」

123. 嬉しい事が起こった者がすること

242－「預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は彼に嬉しい事が起こった時には、祝福された崇高なるアッラーへの感謝のためにサジダ（平伏礼）をした。」

124. 体に痛みを感じた者が言うこと

٢٤٣–((بِسْمِ اللهِ)) ((أَعُوذُ بِاللهِ وَقُدْرَتِهِ مِنْ شَرِّ مَا أَجِدُ وَأُحَاذِرُ)) .

「体の痛みを感じたところに手を置き、こう言いなさい：

ビスミッラー（×3回）。

『アッラーの御名において。』

　そして次のように7回言いなさい：

アウーズ　ビッラーヒ　ワ　クドゥラティヒ　ミン　シャッリ　マー　アジドゥ　ワ　ウハーズィル。

『私はアッラーとかれの力において、私が出遭い、警戒するところの悪からのご加護を求めます。』」

125. 邪視（アイン）[1]による災難を恐れる者のドアー

244ー「あなた方の同胞、あるいは自分、あるいはその財産に羨望を感じた時には、彼のために祝福を祈りなさい。本当に邪視は真実であるから。」

126. 恐怖に見舞われた時に言うこと

٢٤٥–((لا إلهَ إلا اللهُ)) .

ラー　イラーハ　イッラッラー。

「アッラー以外に真に崇拝すべきものはありません。」

127. 屠殺時に言うこと

٢٤٦–((بِسْمِ اللهِ وَاللهُ أَكْبَرُ ، اللَّهُمَّ مِنْكَ وَلَكَ ، اللَّهُمَّ تَقَبَّلْ مِنِّي)) .

ビスミッラーヒ　ワッラーフ　アクバル。アッラーフンマ　ミンカ　ワ　ラク。アッラーフンマ　タカッバル　ミンニー。

「アッラーの御名において、アッラーは偉大なり。アッラーよ、これはあなたからであなたへのものです。アッラーよ、私から（この捧げ物を）受け入れて下さい。」

[1] 訳者注：邪視（アイン）とは、妬みや羨望などをもった他人の視線。本人の意図とは関係なく、それによって視線を受けた者に災難や悪事をもたらすことがあります。

128. 悪魔たちの策略を阻止するドアー

٢٤٧-((أَعُوذُ بِكَلِمَاتِ اللهِ التَّامَّاتِ الَّتِي لا يُجَاوِزُهُنَّ بَرٌّ وَلا فَاجِرٌ مِنْ شَرِّ مَا خَلَقَ ، وَبَرَأَ وَذَرَأَ ، وَمِنْ شَرِّ مَا يَنْزِلُ مِنَ السَّمَاءِ ، وَمِنْ شَرِّ مَا يَعْرُجُ فِيهَا ، وَمِنْ شَرِّ مَا ذَرَأَ فِي الأَرْضِ ، وَمِنْ شَرِّ مَا يَخْرُجُ مِنْهَا ، وَمِنْ شَرِّ فِتَنِ اللَّيْلِ وَالنَّهَارِ ، وَمِنْ شَرِّ كُلِّ طَارِقٍ إلا طَارِقاً يَطْرُقُ بِخَيْرٍ يَا رَحْمَٰنُ)) .

アウーズ　ビカリマーティッラーヒッターンマーティッラティー　ラー　ユジャーウィズフンナ　バッルン　ワ　ラー　ファージルン　ミン　シャッリマー　ハラカ、ワ　バラア　ワ　ザラア。ワ　ミン　シャッリ　マー　ヤンズィル　ミナッサマー。ワ　ミン　シャッリ　マー　ヤアルジュ　フィーハー。ワ　ミン　シャッリ　マー　ザラア　フィルアルドゥ。ワ　ミン　シャッリ　マー　ヤフルジュ　ミンハー。ワ　ミン　シャッリ　フィタニッライリ　ワンナハール。ワ　ミン　シャッリ　クッリ　ターリキン　イッラー　ターリカン　ヤトゥルク　ビハイリン　ヤー　ラハマーン。

「慈悲深きお方よ、私は善人であろうと悪人であろうと超えることの出来ないアッラーの完全なる御言葉のもとに、アッラーが創造した悪、天から下りてくるものに起因する悪、そこに上昇するものに起因

する悪、大地に創造したものに起因する悪、そこから出現するものに起因する悪、昼夜の災難の悪、良きものをもってドアをノックする者以外の全ての来訪者の悪からのご加護を求めます。」

129. 罪の赦しを乞い、悔悟すること

248－アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。「アッラーに誓って、本当に私は一日に 70 回以上アッラーにお赦しを求め、かれに悔悟します。」

249－預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。「人々よ、アッラーに悔悟しなさい。本当に私は一日に 100 回の悔悟を行います。」

٢٥٠-((أَسْتَغْفِرُ اللهَ العَظِيمَ الذِي لا إِلهَ إِلا هُوَ الحَيُّ القَيُّومُ وَأَتُوبُ إِلَيْهِ)).

預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。

アスタグフィルッラーハルアズィーマッラズィーラー　イラーハ　イッラー　フワルハイユルカイユーム　ワ　アトゥーブ　イライヒ。

「『私は永遠に生き、自存される、かれの他に真に崇拝すべきものが無いところの偉大なアッラーにお赦しを求め、彼に悔悟します。』と言った者は、例えそ

の者が敵に背を向けて逃げた者であっても、アッラーが彼の罪をお赦しになるであろう。」

251－預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。「主がしもべに最もお近付きになられるのは真夜中の終わりである。だからその時間にアッラーを念唱することができるのなら、そうしなさい。」

252－預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。「しもべが彼の主に最も近付くのは、彼が*サジダ*（平伏礼）している時である。だからその時にドアーを沢山しなさい。」

253－預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。「実に私の心は怠慢に襲われる[①]。そして私は一日 100 回アッラーに赦しを求めるのだ。」

130. *タスビーフ、タハミード*[②]*、タハリール、タクビール*の徳

٢٥٤-((سُبْحَانَ الله وَبِحَمْدِهِ)) .

[①] 訳者注：預言者ムハンマド（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は非常に多くのズィクルやイバーダ（諸々の崇拝行為）などを自らに課し、またそこにおいて常日頃から厳しく自己監視していました。そこでそれらを不注意などから怠ってしまった場合には、それを自らの基準において罪と見なしました。

[②] 訳者注：「タハミード」とは、「アルハムドゥリッラー（全ての賞賛はアッラーにこそあれ）」と念唱することです。

スブハーナッラーヒ　ワ　ビハムディヒ。（×100）

預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。「一日 100 回『アッラーよ、あなたに賞賛と讃美あれ。』と唱えた者は、例え彼の過ちが海の泡の数ほどあったとしても、それを赦されるであろう。」

٢٥٥-((لا إلهَ إلا اللهُ وَحْدَهُ لا شَرِيكَ لَهُ ، لَهُ المُلْكُ وَلَهُ الحَمْدُ وَهُوَ عَلَى كُلِّ شَيْءٍ قَدِيرٌ)) .

ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ワハダフ　ラー　シャリーカ　ラフ。ラフルムルク　ワ　ラフルハムドゥ　ワ　フワ　アラー　クッリ　シャイイン　カディール。（×10）

預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。「『唯一のアッラー以外に真に崇拝すべきものはなく、かれに並ぶ何ものもいません。主権はかれに属し讃美もかれに属します。かれは全てにおいて全能です。』と 10 回言った者は、4 人のイスマーイールの子ら[1]を解放したようなものだ。」

٢٥٦-((سُبْحَانَ اللهِ وَبِحَمْدِهِ سُبْحَانَ اللهِ العَظِيمِ)) .

スブハーナッラーヒ　ワ　ビ　ハムディヒ。スブハ

---

[1] 訳者注：イスマーイールの子孫であるアラブの 4 人の奴隷のこと。

ーナッラーヒルアズィーム。

預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。「舌には軽いが善行の秤においては重く、慈悲深きお方がお悦びになられる 2 つの言葉は、『アッラーを称え感謝し、偉大なるアッラーを称えます。』である。」

٢٥٧–((سَبْحَانَ الله ، وَالحَمْدُ لله ، وَلا إلهَ إلا اللهُ ، وَاللهُ أَكْبَرُ)) .

スブハーナッラー。ワルハムドゥリッラー。ワ　ラー　イラーハ　イッラッラー。ワッラーフ　アクバル。

預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。「『アッラーよ、あなたに賞賛と讃美あれ。アッラー以外に真に崇拝すべきものはなし。アッラーは偉大なり。』と言うことは、私にとって太陽の下にあるもの全てよりも愛すべきものだ。」

258ー預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。「『毎日千の善行を積むことの出来ない者がいようか？』するとそこに座っていたある者が訊ねた。『どうやって千もの善行を積むことが出来るのですか？』　預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。『100 回*タスビーフ*（「スブハーナッラー」

という言葉）を言えば千の善行が書き留められるか、あるいは千の過ちが放免される。』」

٢٥٩-((سُبْحَانَ الله العَظِيمِ وَبِحَمْدِهِ)) .

スブハーナッラーヒルアズィーミ　ワ　ビハムディヒ。

　預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。「『偉大なるアッラーを称えます。アッラーに賞賛あれ。』と言った者は、天国に彼のためのナツメヤシの木が植えられる。」

٢٦٠-((لا حَوْلَ وَلا قُوَّةَ إلا بِالله)) .

ラー　ハウラ　ワ　ラー　クウワタ　イッラー　ビッラー。

　預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。「『アブドゥッラー　ブン　カイス、お前に天国で最も素晴らしい財宝を教えてやろうか？』私は言った。『はい、アッラーの使徒よ。』預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。『至高至大のアッラーの他にいかなる威力も強大なるものもありません。』と唱えることだ。」

٢٦١-((سُبْحَانَ الله ، وَالحَمْدُ لله ، وَلا إلَهَ إلا اللهُ ، وَاللهُ أَكْبَرُ)) .

スブハーナッラー。ワルハムドゥリッラー。ワ　ラ

ー　イラーハ　イッラッラー。ワッラーフ　アクバル。

預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言った。「アッラーが最も好まれる言葉は 4 つあり、それらは『アッラーに称えあれ、全ての讃美はアッラーにあり、アッラー以外に真に崇拝すべきものは無し、アッラーは偉大なり』である。そしてそれらのどれから始めても害は無い。」

٢٦٢-((لا إلهَ إلا اللهُ وَحْدَهُ لا شَرِيكَ لَهُ ، اللهُ أَكْبَرُ كَبِيراً ، وَالحَمْدُ لله كَثِيراً، سُبْحَانَ الله رَبِّ العَالَمِينَ ، لا حَوْلَ وَلا قُوَّةَ إلا بِالله العَزِيزِ الحَكِيمِ)) .

ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ワハダフ　ラー　シャリーカ　ラフ。アッラーフ　アクバル　カビーラー。ワルハムドゥリッラーヒ　カスィーラー。スブハーナッラーヒ　ラッビルアーラミーン。ラー　ハウラ　ワ　ラー　クウワタ　イッラー　ビッラーヒルアズィーズィルハキーム。

「ベドウィンのある者がアッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）のもとにやって来て言った。『私が言うべき言葉を教えて下さい。』預言者は言った。『《彼に並ぶ者無き唯一のお方アッラー以外に真に崇拝すべきものは無い。アッラーは本当に偉大で

ある。アッラーに限りない感謝をします。全世界の主アッラーに称えあれ。至高至大のアッラーの他にいかなる威力も強大なるものもありません。》と言え。』

((اللَّهُمَّ اغْفِرْ لِي ، وَارْحَمْنِي ، وَاهْدِنِي وَارْزُقْنِي)) .

アッラーフンマグフィル　リー、ワルハムニー、ワハディニー、ワルズクニー。

その男は言った。『それらは私の主のための言葉です。私自身のためには何を言うべきでしょうか？』預言者は言った。『《アッラーよ、私を御赦し下さい、私にお慈悲をおかけ下さい、私をお導き下さい、私にお恵みを与えて下さい。》と言え。』」

٢٦٣-((اللَّهُمَّ اغْفِرْ لِي،وَارْحَمْنِي ، وَاهْدِنِي وَعَافِنِي وَارْزُقْنِي)) .

アッラーフンマグフィル　リー。ワルハムニー。ワハディニー。ワ　アーフィニー。ワルズクニー。

預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）はある者が入信すると、彼に礼拝を教え、それからこれらの言葉で祈願することを命じた。「アッラーよ、私を御赦し下さい、私に慈悲をおかけ下さい、私をお導き下さい、私をお守り下さい、私に恵みを与えて下さい。」

٢٦٤-((الحَمْدُ لله)) ، ((لا إلهَ إلا اللهُ)) .

アルハムドゥリッラー。

ラー　イラーハ　イッラッラー。

「最も良いドアーは『アッラーに称えあれ。』で、最も良いズィクルは『アッラー以外に真に崇拝すべきものは無し。』である。」

٢٦٥-((سُبْحَانَ الله ، وَالحَمْدُ لله ، وَلا إلـهَ إلا اللهُ ، وَالله أكْـبَرُ، وَلا حَـوْلَ وَلا قُوَّةَ إلا بِالله)) .

スブハーナッラー。ワルハムドゥリッラー。ワ　ラー　イラーハ　イッラッラー。ワッラーフ　アクバル。ワ　ラー　ハウラ　ワ　ラー　クウワタ　イッラー　ビッラー。

「来世に残る報奨高い行いとは、『アッラーに称えあれ。全ての賞賛はアッラーにあり。アッラー以外に真に崇拝すべきものは無し。アッラーは偉大なり。至高至大のアッラーの他にいかなる威力も強大なるものもなし。』という言葉である。」

131．預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）の*タスビーフ*の仕方

266－アブドゥッラー　ブン　アムル（彼らにアッラーのご満悦あれ）は言った。「私は預言者（彼にアッラ

ーからの祝福と平安あれ）が、彼の右手で*タスビーフ*を数える[1]のを見た。」

132. 善行と礼儀の集大成から

267－「夜の帳が下りたら、あなた方の子供たちを家に入れるのだ。シャイターンたちはその時に散開するのであるから。そして暫くたったら彼らを放っておくのだ。そして扉を閉め、アッラーの御名を唱えよ。シャイターンは閉じられた扉を開けることはないのだ。また水入れの袋を縛り、アッラーの御名を唱えよ。そして何かを上に置くだけでも良いからあなた方の器を覆い、アッラーの御名を唱えるのだ。そして明かりを消しなさい。」

私たちの預言者ムハンマドとその系譜、その教友全てにアッラーの祝福と平安がありますよう。

[1] 訳者注：本書169頁にあるような特定の回数のズィクルをする場合、右手の指を使って回数を数えるのが推奨された行為です。

目次

テーマとページ

始めに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

訳者序文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

ズィクルの徳・・・・・・・・・・・ ・・・・・・・11

1ー目覚めのズィクル・・・・・・・・・・・・・・15

2ー着衣時のドアー・・・・・・・・・・・・・・・22

3ー新しい服を着た時のドアー・・・・・・・・・・23

4ー新しい服を着た人へのドアー・・・・・・・・・23

5ー服を置いた時の言葉・・・・・・・・・・・・・24

6ートイレに入る時のドアー・・・・・・・・・・・24

7ートイレから出た時のドアー・・・・・・・・・・24

8ーウドゥーの前のズィクル・・・・・・・・・・・25

9－ウドゥーが終わった後のズィクル・・・・・・25

10－家を出る時のズィクル・・・・・・・・・・26

11－家に入る時のズィクル・・・・・・・・・・27

12－モスクへ行く時のドアー・・・・・・・・・27

13－モスクに入る時のドアー・・・・・・・・・30

14－モスクから出る時のドアー・・・・・・・・30

15－アザーンを聞いた時のズィクル・・・・・・31

16－イスティフターフ（礼拝開始）のドアー・・٣٤

17－ルクーウ（立礼）のドアー・・・・・・・・43

18－ルクーウから起き上がる時のドアー・・・・٤٤

19－サジダ（平伏礼）の時のドアー・・・・・・٤٦

20－2 回のサジダの間、座っている時のドアー・・٤٨

21－クルアーン読誦によるサジダの時のドア・・٤٩

22－タシャッフド（信仰告白）・・・・・・・ ・・・・٥٠

23－タシャッフド後の預言者（アッラーよ彼に平安を与えたまえ）への祈願・・・・・・・・・・・・・・・٥١

24－サラームの前の最後のタシャッフド後のドアー・٥٣

25－礼拝のサラーム後のズィクル・・・・・・・・・٦١

26－イスティハーラの礼拝のドアー・・・・・・・٦٨

27－朝・晩のズィクル・・・・・・・・・・・・・٧١

28－就寝時のズィクル・・・・・・・・・・・・・٨٨

29－夜に寝返りを打った時のドアー・・・・・・・١٠٠

30－睡眠時の恐怖や寂しさを感じた時のドアー・١٠٠

31－悪夢を見た時にすること・・・・・・・・・・١٠١

32－ウィトルの礼拝時のクヌートのドアー・・・・١٠١

33－ウィトルの礼拝のサラーム後のズィクル・・١٠٤

34－苦悩と悲しみの際のドアー・・・・・・・・・・١٠٥

35－心配を除去するドアー・・・・・・・・・・・・١٠٧

36－敵や暴君に会う時のドアー・・・・・・・・・・١٠٨

37－暴君の不正を恐れる者のドアー・・・・・・・١٠٩

38－敵に対するドアー・・・・・・・・・・・・・・١١٢

39－人々を恐れる時に言うドアー・・・・・・・・١١٢

40－信仰心に疑問が生じた者のドアー・・・・・١١٢

41－重い負債を抱えた時のドアー・・・・・・・・・١١٣

42－礼拝や読誦時の悪魔の囁きに対するドアー・١١٤

43－物事に困難を見出した者のドアー・・・・・١١٤

44－罪を犯した者が言い、行うこと・・・・・・・١١٥

45－悪魔とその囁きを放逐するドアー・・・・・١١٥

46－望まないことや止むを得ないことが起こった

時のドアー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・١١٥

47－出産祝いの言葉とその返事・・・・・・・・・١١٦

48－子供のための魔よけ・・・・・・・・・・・・١١٧

49－見舞い時の病人へのドアー・・・・・・・・・١١٧

50－病人を見舞うことの徳・・・・・・・・・・・١١٨

51－死期が迫った病人のドアー・・・・・・・・・١١٩

52－死に瀕した者への言葉・・・・・・・・・・・١٢٠

53－災難に見舞われた者のドアー・・・・・・・・١٢١

54－死人の目を閉じる時のドアー・・・・・・・・121

55－死人のために祈る時のドアー・・・・・・・・١٢٢

56－亡くなった子供のために祈る時のドアー・・١٢٦

57－弔問の際のドアー・・・・・・・・・・・・・١٢٨

58－遺体埋葬時のドアー・・・・・・・・・・・・・١٢٩

59－遺体埋葬後のドアー・・・・・・・・・・・・・١٢٩

60－墓地を訪問した際のドアー・・・・・・・・・・١٣٠

61－風が吹いた時のドアー・・・・・・・・・・・・١٣٠

62－雷鳴の時のドアー・・・・・・・・・・・・・・١٣١

63－雨乞いのドアーより・・・・・・・・・・・・・١٣٢

64－雨が降った時のドアー・・・・・・・・・・・・١٣٣

65－雨が降った後のドアー・・・・・・・・・・・・١٣٣

66－雨が止んで欲しい時のドアー・・・・・・・・١٣٣

67－三日月を見た時のドアー・・・・・・・・・・・١٣٤

68－イフタール（断食明けの食事時のドア ー・・١٣٤

69－食前のドアー・・・・・・・・・・・・・・・・・١٣٥

70－食後のドアー・・・・・・・・・・・・・・・・・١٣٦

71－食事を振る舞った者へのドアー・・・・・・・١٣٧

72－飲み物を与える者、それを行おうとする者へのドアー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・١٣٧

73－イフタールを施した者へのドアー・・・・・・١٣٨

74－サウム中に食事を出された場合のドアー・・١٣٨

75－喧嘩をけしかけられた時にサーイムが言うこと・١٣٨

76－植物に実が付き始めたのを見た時のドアー・١٣٩

77－くしゃみをした時のドアー・・・・・・・・・١٣٩

78－ムスリムでない者がくしゃみをし、アッラーを讃えた時に彼に言うこと・・・・・・・・・・・・・١٤٠

79－結婚する者へのドアー・・・・・・・・・・・・١٤٠

80－結婚する者、及び家畜を買う時のドアー・・١٤١

81－床入り前のドアー・・・・・・・・・・・・・・141

82－怒った時のドアー・・・・・・・・・・・・・・١٤٢

83－災難に遭った者を見た時のドアー・・・・・142

84－集まりにおいて言うドアー・・・・・・・・・١٤٣

85－集まりの解散に際してのドアー・・・・・・・١٤٣

86－「アッラーがあなたを赦して下さりますように」と言った者への言葉・・・・・・・・・・・・١٤٣

87－あなたに善いことをした者へのドアー・・・١٤٤

88－偽メシアからの護身・・・・・・・・・・・・١٤٤

89－「私はアッラーゆえにあなたを愛します」と言った者へのドアー・・・・・・・・・・・・・・・١٤٤

90－あなたに財を施した者へのドアー・・・・・١٤٤

91－借金返済時の債権者へのドアー・・・・・・・١٤٥

92－不信仰に恐怖を抱いた時のドア・・・・・・・١٤٥

93－「アッラーがあなたを祝福して下さいますよう」と言った者へのドアー・・・・・・・・・・・・١٤٦
94－ティヤラに対する嫌悪のドアー・・・・・・・١٤٦
95－乗り物に乗る時のドアー・・・・・・・・・・・١٤٦
96－旅立ちのドアー・・・・・・・・・・・・・・・・١٤٨
97－村や町に入る時のドアー・・・・・・・・・・・١٥٠
98－市場に入る時のドアー・・・・・・・・・・・・١٥١
99－乗り物の調子が悪い時のドアー・・・・・・・151
100－旅人の居住者へのドアー・・・・・・・・・・١٥٢
101－居住者の旅人へのドアー・・・・・・・・・152
102－旅の道中におけるタクビールとタスビーフ・١٥٣
103－サハル時（夜明け前）の旅人のドアー・・・153
104－旅において他の家や場所に泊まる時のドアー・١٥٤

105－旅から戻った時のズィクル・・・・・・・154

106－嬉しい事や嫌な事があった時に言うこと・١٥٥

107－預言者(彼にアッラーからの祝福と平安あれ)のために祈願することの徳・・・・・・・・・・・・155

108－サラーム（挨拶）を広めること・・・・・157

109－不信仰者が挨拶した時の返事・・・・・・158

110－ニワトリとロバの鳴き声を聞いた時のドアー・158

111－夜、犬の吠える声を聞いた時のドアー・・158

112－悪口を言ってしまった者へのドアー・・・158

113－誰か他のムスリムを褒める時に言うこと・159

114－誰かに誉められた時にムスリムが言うこと・159

115－ハッジ・ウムラ中のタルビヤの仕方・・・160

116－黒石のある柱に来た時のタクビール・・・・161

117－イエメン柱と黒石のある柱の間のドアー・161

118－サファーとマルワの丘に立った時のドアー・162

119－アラファの日のドアー・・・・・・・・・・164

120－ムズダリファにおけるズィクル・・・・・164

121－ジャマラートの投石の際のタクビール・・165

122－驚嘆や嬉しい時のドアー・・・・・・・・165

123－嬉しい事が起こった者がすること・・・・166

124－体に痛みを感じた者が言うこと・・・・・166

125－邪視による災難を恐れる者のドアー・・・・167

126－恐怖に見舞われた時に言うこと・・・・・167

127－屠殺時に言うこと・・・・・・・・・・・167

128－悪魔たちの策略を阻止するドアー・・・・168

129－罪の赦しを乞い、悔悟すること・・・・・169

130－タスビーフ、タハミード、タハリール、タク
ビールの徳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・170
131－預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）の
タスビーフの仕方・・・・・・・・・・・・・・・176
132－善行と礼儀の集大成から・・・・・・・・177
目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・179